RICOH



RICOH MP C6004/C5504/C4504/C3504/
C3004/C2504シリーズ

使用説明書
〈プリンター〉

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『はじめにお読みください』「安全上のご注意」をお読みください。

目次

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

プロパティ画面を開く....5
印刷設定画面を開く....6
［スタート］から開く....6
アプリケーションから開く....6
各メニューの紹介....7
かんたん設定を使用する....14
ヘルプを表示する....16

2. 印刷する

通常印刷する....17
用紙の両面に印刷する....19
両面印刷の種類....20
複数のページを集約して印刷する....21
集約印刷の種類....22
原稿に文字やイメージをスタンプする....23
スタンプの種類....24
1 ページを複数枚に分けて印刷する（拡大連写）....25
拡大連写の種類....26
手差しトレイから不定形サイズの用紙に印刷する....28
プリンタードライバーを使用して不定形サイズの用紙に印刷する....28
郵便はがきに印刷する....30
封筒に印刷する....31
操作部を使用して封筒を設定する....31
プリンタードライバーを使用して封筒に印刷する....31
スプール印刷を設定する....33
分類コードを登録する....34
分類コードを設定する....34
分類コードを入力して印刷する....35
複製できない文書を印刷する....37
不正コピー抑止地紋を設定する....38
不正コピーガードを設定する....39
おことわり....40
登録したフォームで印刷する（イメージオーバーレイ）....41

フォームデータの登録....41
登録したフォームを使用して印刷する....42
トナーを節約して印刷する....44
指定した色だけで印刷する....44
モノクロで印刷する....45
トナーセーブ機能を使用する....46
印刷終了後にプリンターのエミュレーションをもとに戻す....48
印刷を中止する....49
印刷開始前のとき....49
印刷中のとき....49
用紙サイズや用紙種類のエラーが表示されたとき....51
強制印刷する....51
印刷を中止する....52
印刷範囲....53

3. 製本や仕分けに便利な機能

製本印刷する....55
部単位で印刷する（ソート）....58
ソートの種類....58
ソートを設定するときの注意....59
印刷した用紙をステープラーでとじる....61
ステープルの位置....61
ステープルを設定するときの注意....63
印刷した用紙にパンチで穴をあける....66
パンチの位置....66
パンチを設定するときの注意....67
印刷した用紙を折る（RICOH MP C6004/C5504/C4504/C3504/C3004 シリーズ）....69
フィニッシャーを使用する....69
バナーページを印刷する....72
表紙に印刷する....74
章を分けて印刷する....76
合紙を挿入する....78

4. プリンターの動作を設定する

プリンタードライバーやコマンドの設定で印刷する....81

文書の取り忘れや取り違いを防止する 82
エラージョブの処理方法を設定する 83
エラージョブを自動的に強制印刷する 83
エラージョブの印刷を自動的にキャンセルする 83
エラージョブを自動的に蓄積する 84

5. 蓄積文書を印刷する

ハードディスクに文書を蓄積して印刷する 87
試し印刷をする 88
機密印刷をする 90
保留文書を印刷する 93
保存文書を印刷する 96
エラーで蓄積された文書を印刷する 99
ユーザー ID から印刷する 101
操作部で設定できる印刷設定の項目 102
保存文書にアクセス権を設定する 103
ドキュメントボックスに文書を蓄積して印刷する 104
ドキュメントボックスに文書を蓄積する 105
ドキュメントボックスに蓄積された文書の管理 105

6. 外部メディアを接続して印刷する

メディアスロットから直接印刷する（メディアプリント） 107
印刷できるファイル形式 107
メディアプリント機能で印刷する 108
メディアプリント画面 109
デジタルカメラから直接印刷する（PictBridge） 112
PictBridge 使用時の注意 112
PictBridge 機能で印刷する 112
PictBridge を終了する 113
対応機能一覧 113

7. OS X で印刷する

用紙の設定と印刷の設定 121
用紙の設定を表示する 121
印刷の設定を表示する 121
印刷の設定項目 122

印刷する..... 136
モノクロで印刷する.....136
印刷品質を調整して印刷する.....136
特殊な用紙に印刷する.....137
不定形サイズの用紙に印刷する（カスタム用紙サイズ）..... 137
部単位で印刷する（ソート）.....138
用紙の両面に印刷する.....139
ステープルする..... 139
パンチする.....139
紙折りする（RICOH MP C6004/C5504/C4504/C3504/C3004 シリーズ）.....140
蓄積文書を印刷する..... 141
試し印刷..... 142
機密印刷..... 142
保留印刷..... 143
プリンターに保存..... 144
保存して印刷.....144
ドキュメントボックス.....145

8. プリンター初期設定

テスト印刷..... 147
テスト印刷する..... 148
システム設定リストの見かた.....149
データ操作/管理.....151
システム設定.....153
システム設定（EM）.....163
PCL 設定.....165
PS 設定..... 169
PDF 設定.....173
XPS 設定.....175
インターフェース設定.....177

9. 他のアプリを使用する

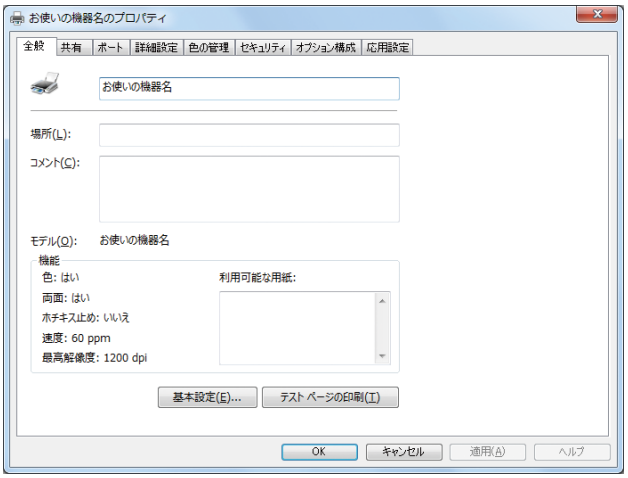
プリンター情報確認でプリンターの状況を確認する.....179
かんたん文書印刷を使用する..... 180
外部メディアからファイルを印刷する..... 182

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

RPCS プリンタードライバーの設定画面の開きかたについて、Windows 7 を例に説明します。オプションの PCL 6 プリンタードライバーと PostScript 3 プリンタードライバーも設定画面の開きかたは同じです。手順で説明している画面の表示はアプリケーションによって異なることがあります。

プロパティ画面を開く

[デバイスとプリンター] ウィンドウから、プリンタードライバーのプロパティ画面を表示させる方法を説明します。



重要

- **プリンターのプロパティの内容を変更するには「このプリンターの管理」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。**
- **プリンターのプロパティの設定はユーザーごとに変更できません。プリンターのプロパティの設定内容が、このプリンタードライバーを使用して印刷するすべてのユーザーの設定です。**

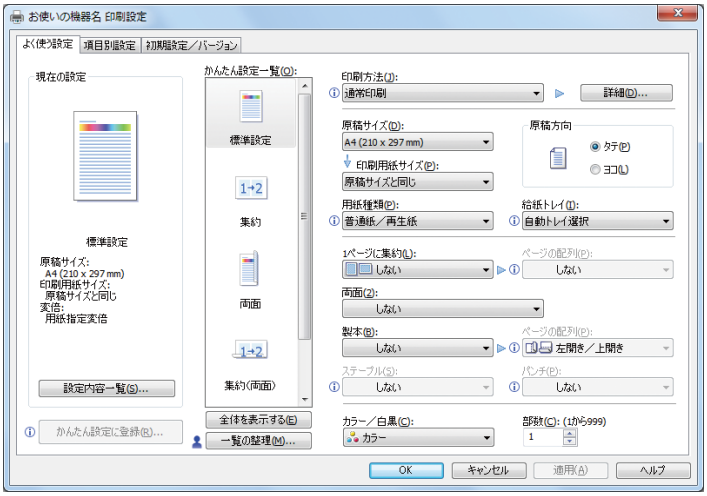
1. [スタート] ボタンをクリックし、[デバイスとプリンター] をクリックします。
2. 初期値を設定するプリンターのアイコンを右クリックします。
3. [プリンターのプロパティ] をクリックします。

印刷設定画面を開く

1

[スタート] から開く

[デバイスとプリンター] ウィンドウから、プリンタードライバーの印刷設定画面を表示させる方法を説明します。



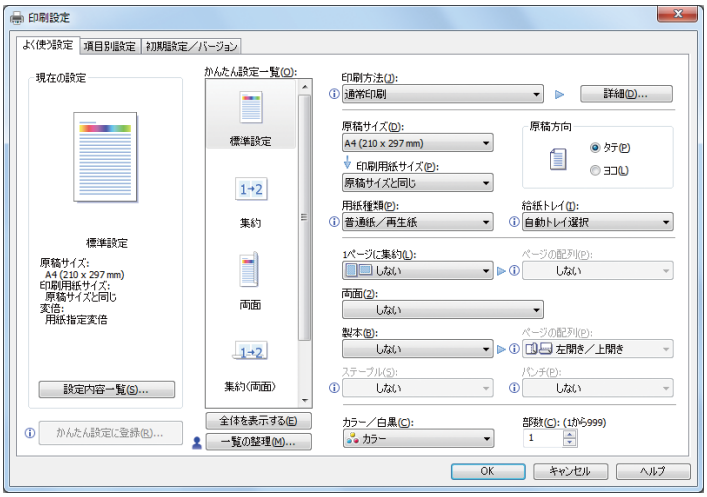
重要

- **プリントサーバーから配布されたドライバーを使用するときは、プリントサーバーで設定された［標準の設定］の内容が初期値として表示されます。**
- **印刷設定はユーザーごとに変更できません。印刷設定画面の設定内容が、このプリンタードライバーを使用して印刷するすべてのユーザーの初期値です。**

1. ［スタート］ボタンをクリックし、［デバイスとプリンター］をクリックします。
2. 初期値を設定するプリンターのアイコンを右クリックします。
3. ［印刷設定］をクリックします。

アプリケーションから開く

アプリケーションからプリンタードライバーの印刷設定画面を表示させる方法を説明します。印刷で使用するアプリケーションだけに有効な設定をするには、プリンタードライバーの印刷設定画面をアプリケーションから表示させて設定します。



アプリケーションから印刷設定画面を開くと、［デバイスとプリンター］ウィンドウから表示される印刷設定の内容が初期値として表示されます。アプリケーションから印刷するときは、必要な項目を変更して印刷します。

画面の表示はアプリケーションによって異なることがあります。

1. **使用しているアプリケーションのメニューボタンをクリックし、［印刷］をクリックします。**
2. **印刷で使用するプリンターを選択します。**
3. **［詳細設定］をクリックします。**

補足

- 実際の表示の方法はアプリケーションによって異なります。詳細は、アプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。

各メニューの紹介

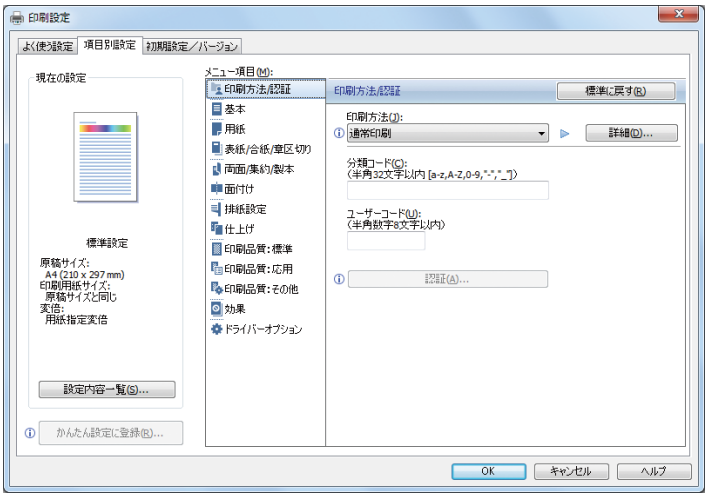
プリンタードライバーの［項目別設定］タブで設定できるメニューについて説明します。各メニューから設定できるその他の項目については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

重要

- **設定できる機能は使用する機種、オプションによって異なることがあります。オプションが必要な機能については、『本機をお使いになる方へ』「オプションが必要な機能一覧」を参照してください。**

印刷方法/認証メニュー

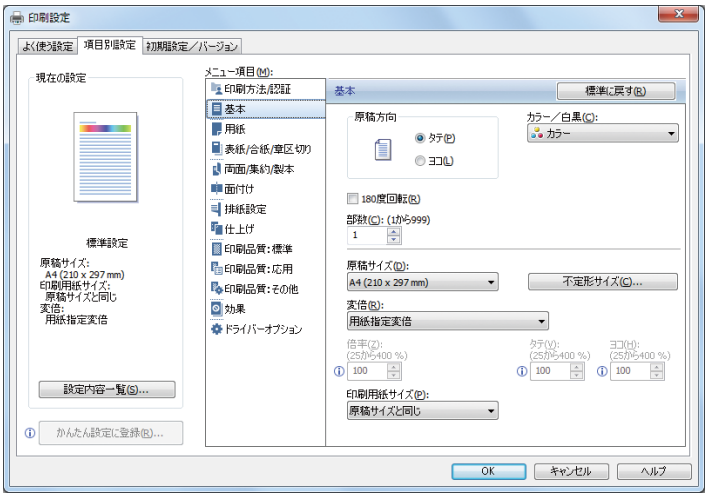
印刷方法や分類コード、認証を設定できます。



- 本機のハードディスクにデータを蓄積し、操作部を使用して蓄積したデータを印刷する方法は、P.87「ハードディスクに文書を蓄積して印刷する」を参照してください。
- 本機のドキュメントボックスにデータを蓄積し、操作部を使用して蓄積したデータを印刷する方法は、P.104「ドキュメントボックスに文書を蓄積して印刷する」を参照してください。
- 分類コードの設定については、P.34「分類コードを登録する」を参照してください。

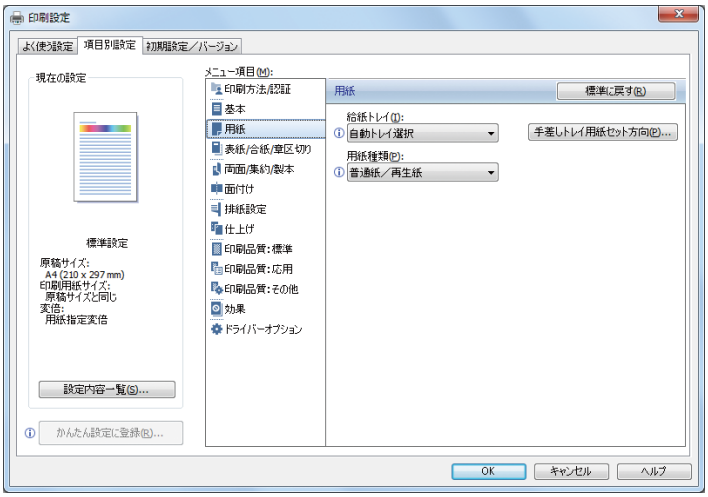
基本メニュー

原稿方向や原稿サイズ、印刷用紙サイズ、印刷の色などを設定できます。



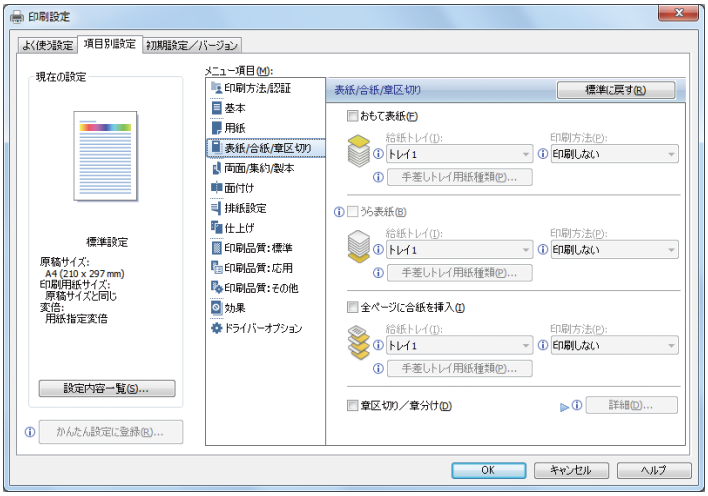
用紙メニュー

給紙トレイや用紙種類を設定できます。



表紙/合紙/章区切りメニュー

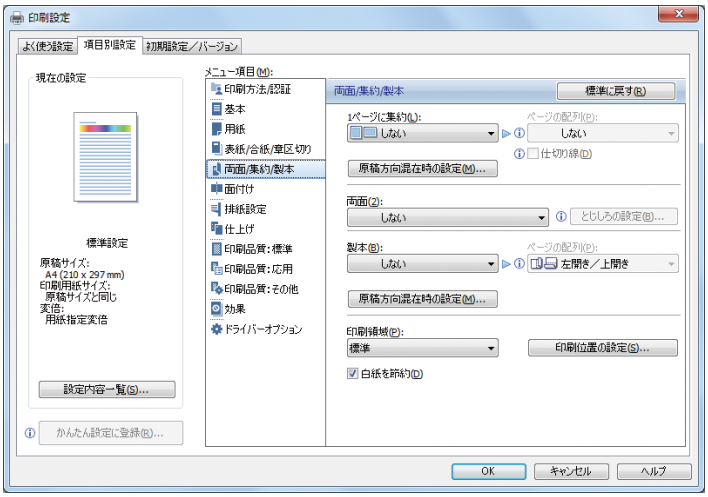
おもて表紙/うら表紙、合紙、章分けページを設定できます。



- おもて表紙/うら表紙については、P.74「表紙に印刷する」を参照してください。
- 合紙については、P.78「合紙を挿入する」を参照してください。
- 章分けページについては、P.76「章を分けて印刷する」を参照してください。

両面/集約/製本メニュー

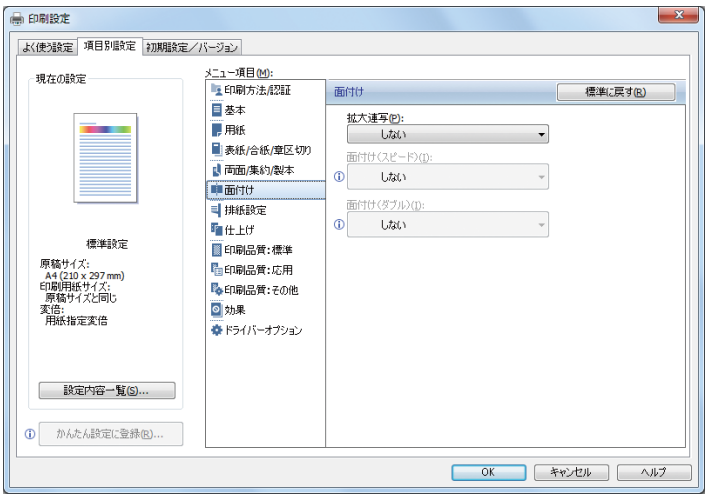
集約印刷や両面印刷、製本印刷などを設定できます。



- 集約印刷の設定については、P.21「複数のページを集約して印刷する」を参照してください。
- 両面印刷の設定については、P.19「用紙の両面に印刷する」を参照してください。
- 製本印刷については、P.55「製本印刷する」を参照してください。

面付けメニュー

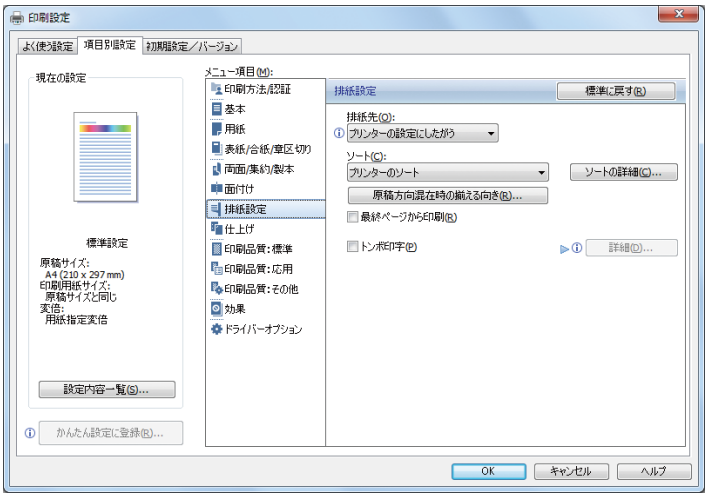
拡大連写を設定できます。



- 拡大連写については、P.25「1 ページを複数枚に分けて印刷する（拡大連写）」を参照してください。

排紙設定メニュー

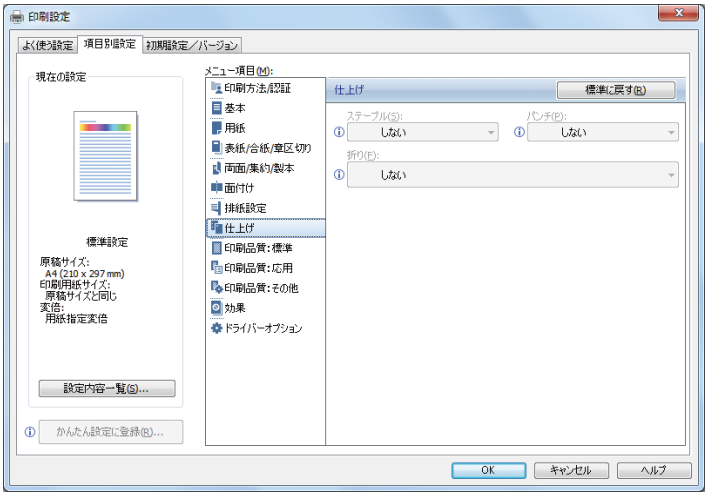
排紙先やソートを設定できます。オプションの PCL6 プリンタードライバーまたは PostScript 3 プリンタードライバーでは、バナーページも設定できます。



- ソートについては、P.58「部単位で印刷する（ソート）」を参照してください。
- バナーページについては、P.72「バナーページを印刷する」を参照してください。

仕上げメニュー

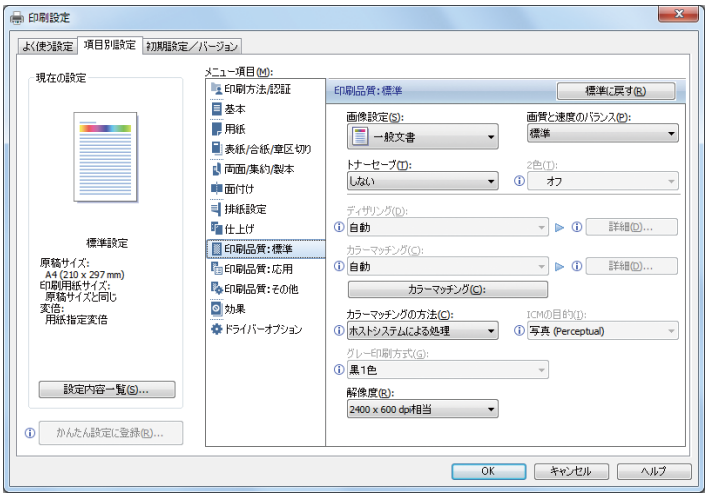
ステープル、パンチ、折りを設定できます。



- ステープルについては、P.61「印刷した用紙をステープラーでとじる」を参照してください。
- パンチについては、P.66「印刷した用紙にパンチで穴をあける」を参照してください。
- 折りについては、P.69「印刷した用紙を折る（RICOH MP C6004/C5504/C4504/C3504/C3004 シリーズ）」を参照してください。

印刷品質：標準メニュー

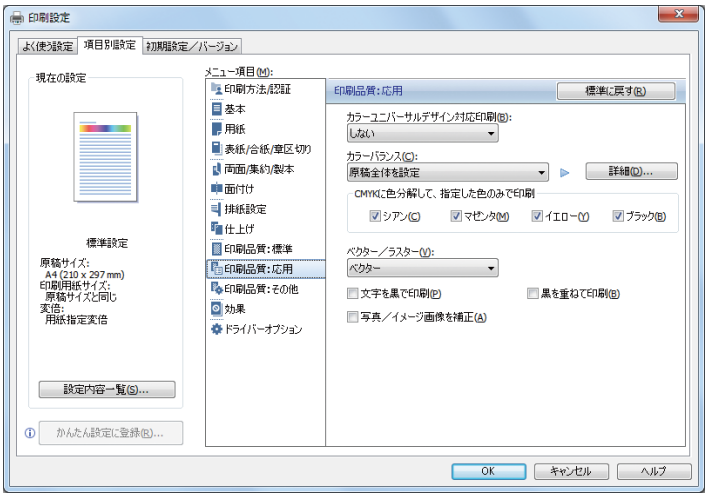
トナーセーブや解像度を設定できます。



- トナーセーブの設定については、P.44「トナーを節約して印刷する」を参照してください。

印刷品質：応用メニュー

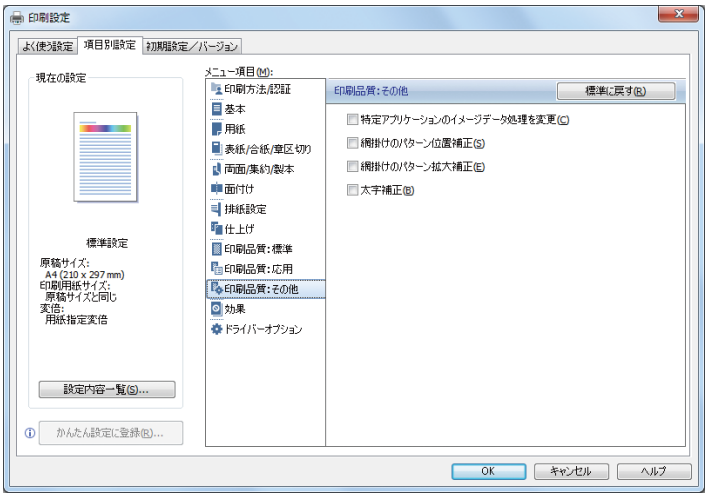
カラーユニバーサルデザイン対応印刷を設定したり、明度とコントラストを調整したり、ドキュメントデータの印刷形式をベクター／ラスターから設定できます。



- カラーユニバーサルデザイン対応印刷については、P.17「通常印刷する」を参照してください。

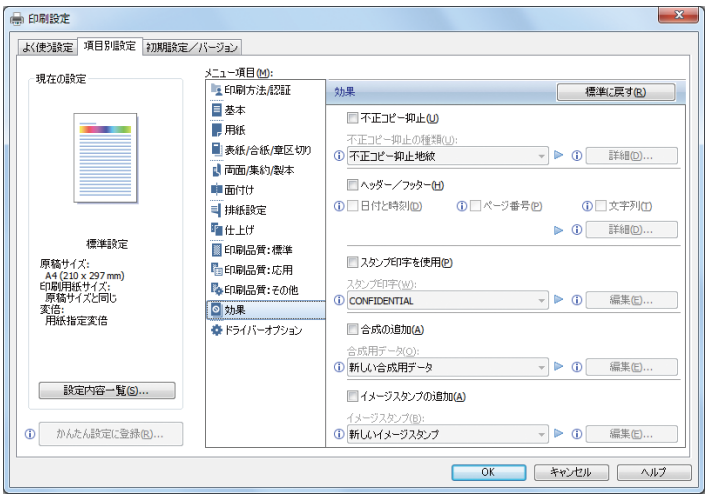
印刷品質：その他メニュー

網掛けのパターンや太字などを調整できます。



効果メニュー

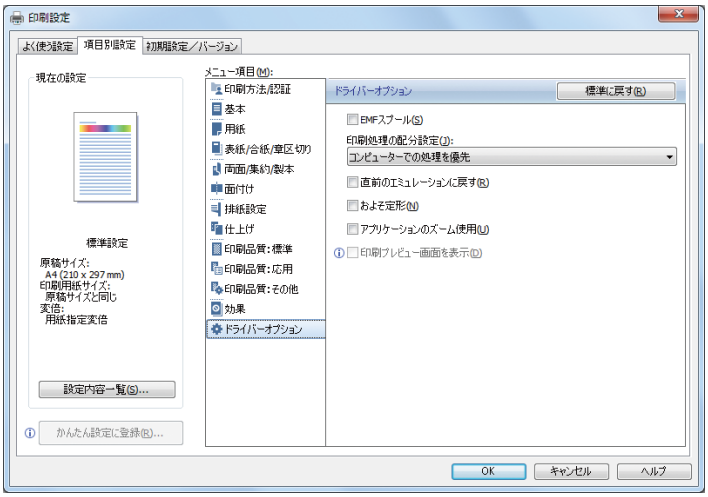
不正コピー抑止やスタンプ印字、イメージスタンプなどを設定できます。



- 不正コピー抑止の設定については、P.37「複製できない文書を印刷する」を参照してください。
- スタンプ印字とイメージスタンプの設定については、P.23「原稿に文字やイメージをスタンプする」を参照してください。

ドライバーオプションメニュー

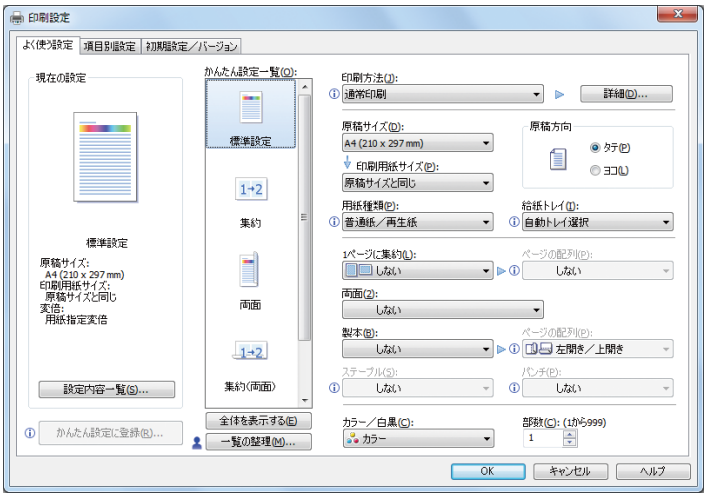
印刷の処理方法などを設定できます。



- エミュレーションを併用している環境で RPCS ドライバーから印刷したときに、自動で使用中のエミュレーションに戻す方法は、P.48「印刷終了後にプリンターのエミュレーションをもとに戻す」を参照してください。

かんたん設定を使用する

よく使用する印刷機能の一部は、［よく使う設定］タブの「かんたん設定一覧：」に登録されています。メニューから設定名を選択するだけで、印刷方法を指定できます。



「かんたん設定」を使用するには、「かんたん設定一覧：」から、適用する設定名をクリックします。設定名を選択するだけで登録されている設定内容が反映されるため、印刷するときに何個所も設定を変更したり、誤って設定して無駄な印刷をしたりすることを防止できます。

「かんたん設定」は任意に追加、変更、削除できます。また、複数のメンバーで同じかんたん設定を共有して使用できます。プリンタードライバーに関する特別な知識がなくても、登録した「かんたん設定」を使用するだけで、さまざまな機能を活用できます。

「かんたん設定」を登録するときは、以下の手順で操作します。

1. **印刷設定画面を開きます。**
2. **印刷の設定を必要に応じて指定します。**
3. **[かんたん設定に登録...] をクリックします。**
4. **設定の名前とコメントを入力して［OK］をクリックします。**
5. **[OK] をクリックします。**

   登録したかんたん設定は、工場出荷時から登録されている設定の下に追加されます。

補足

- 「かんたん設定」の変更や削除についてはプリンタードライバーのヘルプを参照してください。

ヘルプを表示する

ヘルプのトピックを表示する

プリンタードライバーの設定画面の［ヘルプ］ボタンをクリックすると、表示しているタブに対応する内容のトピックが表示されます。

表示項目の説明を表示する

プリンタードライバーの設定画面右上に？マークのボタンが表示されているときは、？マークのボタンをクリックすると、ポインターの横に？マークが表示されます。説明を見たい項目をクリックすると、対応する内容のトピックが表示されます。

2. 印刷する

RPCS プリンタードライバーを例に、印刷方法を説明します。特にことわりのないかぎり、オプションの PCL 6 プリンタードライバーと PostScript 3 プリンタードライバーも操作手順は同じです。手順で説明している画面の表示はアプリケーションによって異なることがあります。

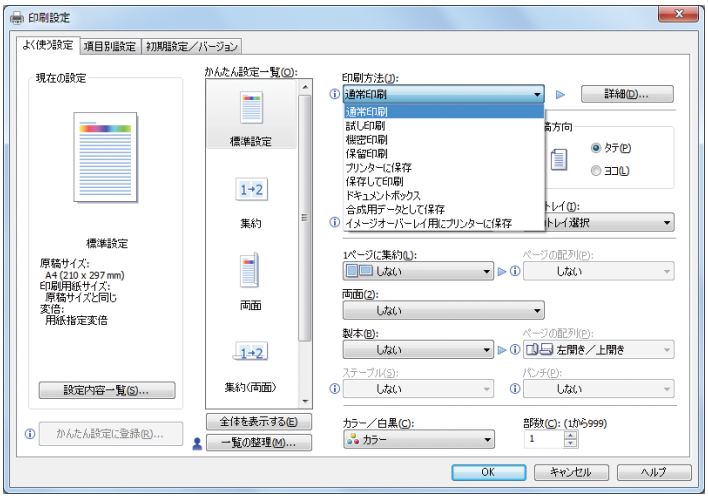
印刷した文書を放置すると、第三者に見られたり持ち去られたりすることがあります。印刷が終了したら、文書をすぐに回収してください。

通常印刷する

重要

- **本機がスリープモードのときに USB 2.0 経由で印刷すると、印刷できていても、印刷失敗のメッセージがパソコンに表示されることがあります。正しく印刷されているかどうかを確認してください。**

1. 使用しているアプリケーションのメニューボタンをクリックし、[印刷] をクリックします。
2. 印刷で使用するプリンターを選択します。
3. [詳細設定] をクリックします。
4. [よく使う設定] タブをクリックします。
5. 「印刷方法：」プルダウンメニューから [通常印刷] を選択します。



6. 「原稿サイズ：」プルダウンメニューから印刷する文書のサイズを選択します。
7. 「原稿方向」から文書の印刷方向を選択します。

8. 「用紙種類：」プルダウンメニューから給紙トレイにセットされている用紙種類を選択します。
9. 「給紙トレイ：」プルダウンメニューから用紙がセットされている給紙トレイを選択します。

   ［自動トレイ選択］を選択したときは、用紙サイズと用紙種類に応じて給紙トレイが自動的に選択されます。
10. 「カラー／白黒：」プルダウンメニューから印刷の色を選択します。
11. 複数の部数を印刷するときは、「部数：」ボックスに部数を入力します。
12. ［OK］をクリックします。
13. アプリケーションから印刷の指示をします。

補足

- 「カラー／白黒：」で［カラー］を選択しているときは、誰にでも見やすく配慮した色で印刷できます。この機能を使用するには、［項目別設定］タブの「メニュー項目：」で［印刷品質：応用］メニューをクリックし、「カラーユニバーサルデザイン対応印刷：」で［する］を選択します。操作部の［プリンター初期設定］で［グレー印刷方式（グレー認識広め）］を［黒 1 色］に設定しているとき、この機能は使用できません。

用紙の両面に印刷する

プリンタードライバーで用紙の両面に印刷する方法を説明します。

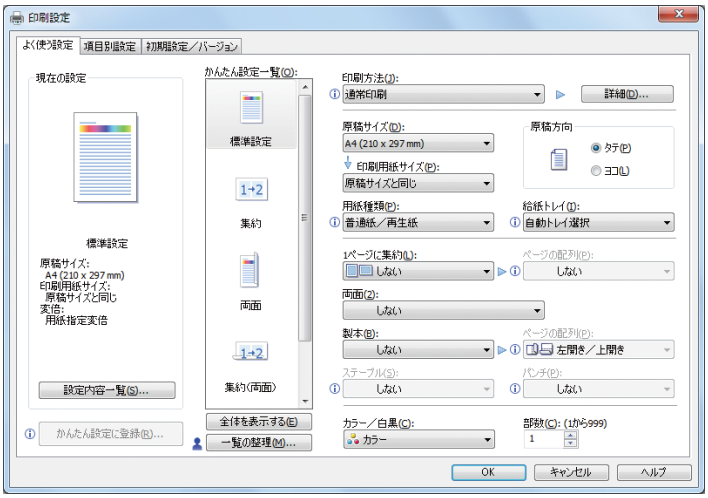
重要

- **両面印刷できる用紙種類は以下のとおりです。**
  - RICOH MP C6004/C5504/C4504/C3504/C3004 シリーズ

    普通紙 1（60～74g/m²）、普通紙 2（75～81g/m²）、再生紙、特殊紙 1、特殊紙 2、特殊紙 3、中厚口（82～105g/m²）、厚紙 1（106～169g/m²）、厚紙 2（170～220g/m²）、厚紙 3（221～256g/m²）、薄紙（52～59g/m²）、色紙、レターヘッド付き用紙
  - RICOH MP C2504 シリーズ

    普通紙 1（60～74g/m²）、普通紙 2（75～81g/m²）、再生紙、特殊紙 1、特殊紙 2、中厚口（82～105g/m²）、厚紙 1（106～169g/m²）、薄紙（52～59g/m²）、色紙、レターヘッド付き用紙

1. **使用しているアプリケーションのメニューボタンをクリックし、[印刷] をクリックします。**
2. **印刷で使用するプリンターを選択します。**
3. **[詳細設定] をクリックします。**
4. **[よく使う設定] タブをクリックします。**



[項目別設定] タブをクリックし、[両面/集約/製本] メニューをクリックすることもできます。

5. 「両面：」プルダウンメニューから用紙のとじかたを選択します。

とじしろを付けるときは、［項目別設定］タブの［両面/集約/製本］メニューで［とじしろの設定...］をクリックして、とじしろの幅を設定できます。

6. その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。

7. ［OK］をクリックします。

8. アプリケーションから印刷の指示をします。

補足

- 1 つの文書内に原稿サイズの異なるページがあるときは、そのページの前で改ページすることがあります。

両面印刷の種類

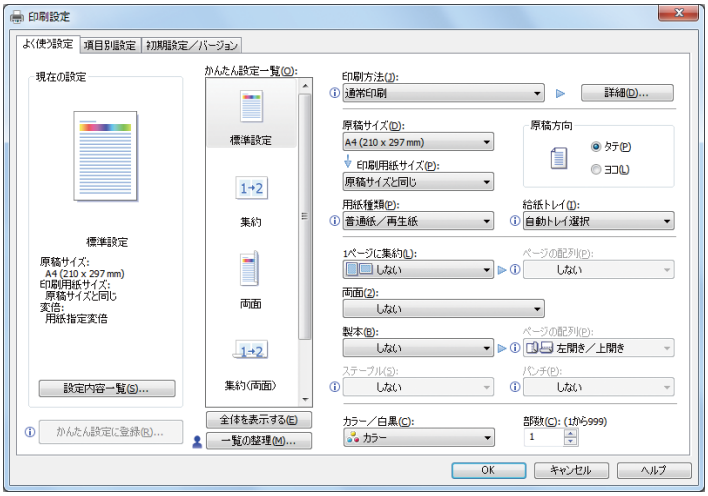
用紙の一辺でとじる形態で、用紙の開きかたを設定できます。

原稿方向	左開き	上開き	右開き
タテ			
ヨコ			

複数のページを集約して印刷する

プリンタードライバーで集約印刷する方法を説明します。集約を設定すると、複数のページを縮小して 1 ページにまとめて印刷できます。

1. **使用しているアプリケーションのメニューボタンをクリックし、[印刷] をクリックします。**
2. **印刷で使用するプリンターを選択します。**
3. **[詳細設定] をクリックします。**
4. **[よく使う設定] タブをクリックします。**



[項目別設定] タブをクリックし、[両面/集約/製本] メニューをクリックすることもできます。

5. **「1 ページに集約：」プルダウンメニューから集約の種類を選択し、「ページの配列：」プルダウンメニューからページの並べかたを選択します。**

   仕切り線が必要なときは、[項目別設定] タブの [両面/集約/製本] メニューで [仕切り線] チェックボックスにチェックを入れてください。

   原稿の方向が混在するときは、[項目別設定] タブの [両面/集約/製本] メニューで [原稿方向混在時の設定...] をクリックし、「印刷結果：」プルダウンメニューから処理のしかたを選択します。

6. **その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。**
7. **[OK] をクリックします。**
8. **アプリケーションから印刷の指示をします。**

補足

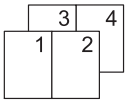
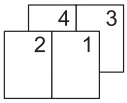
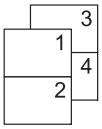
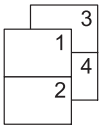
- 1 つの文書内に原稿方向の異なるページがあるときは、そのページの前で改ページします。
- 同じ機能を設定できるアプリケーションから印刷するときは、アプリケーション側では機能を設定しないでください。アプリケーション側の設定を有効にして印刷すると、意図しない印刷結果になることがあります。
- 集約印刷と製本印刷を組み合わせると、複数枚の原稿を 1 ページに集約してから冊子になるよう印刷できます。製本印刷については、P.55「製本印刷する」を参照してください。

集約印刷の種類

集約印刷で 1 ページにまとめることができるのは、2 ページ、4 ページ、9 ページ、16 ページです。4 ページ以上を 1 ページにまとめるときは、4 つのパターンからページの並べかたを選択できます。

ここでは 2 ページを 1 ページにまとめるときと、4 ページを 1 ページにまとめるときを例に説明します。

2 ページを 1 ページに集約

原稿方向	左から右／上から下	右から左／上から下
タテ		
ヨコ		

4 ページを 1 ページに集約

左上→右上→左下→右下	左上→左下→右上→右下	右上→左上→右下→左下	右上→右下→左上→左下
			

補足

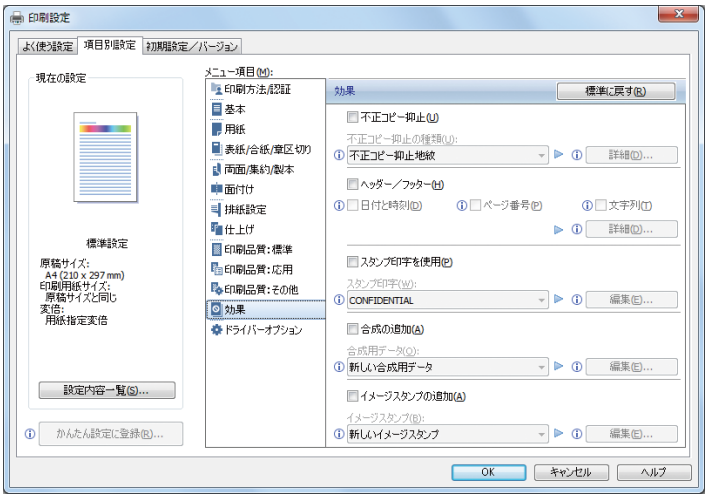
- オプションの PCL 6 プリンタードライバーまたは PostScript 3 プリンタードライバーでは 6 ページを 1 ページにまとめることもできます。

原稿に文字やイメージをスタンプする

プリンタードライバーでスタンプを設定すると、作成した文書に文字やイメージデータを重ねて印刷できます。

スタンプには、文字データを使用する「スタンプ印字」と、ビットマップファイル（.bmp）を使用する「イメージスタンプ」があります。スタンプ印字とイメージスタンプは同時に指定できません。イメージスタンプは RPCS プリンタードライバーで使用できます。

1. 使用しているアプリケーションのメニューボタンをクリックし、[印刷] をクリックします。
2. 印刷で使用するプリンターを選択します。
3. [詳細設定] をクリックします。
4. [項目別設定] タブをクリックします。
5. 「メニュー項目：」で［効果］メニューをクリックします。



6. スタンプ印字またはイメージスタンプを設定します。

   スタンプ印字を設定するときは、［スタンプ印字を使用］チェックボックスにチェックを入れ、「スタンプ印字：」プルダウンメニューから使用するスタンプ印字を選択します。

   イメージスタンプを設定するときは、［イメージスタンプの追加］チェックボックスにチェックを入れ、「イメージスタンプ：」プルダウンメニューから使用するイメージスタンプを選択します。

7. その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。
8. [OK] をクリックします。
9. アプリケーションから印刷の指示をします。

補足

- スタンプ印字は編集したり、新しく作成したりできます。詳細はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。
- イメージスタンプを設定するときは、印刷するイメージデータが必要です。詳細はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。

スタンプの種類

プリンタードライバーにはいくつかのスタンプ印字があらかじめ登録されています。使用できるスタンプ印字の種類は次のとおりです。

CONFIDENTIAL	マル秘	DRAFT	社外秘	COPY
				

1 ページを複数枚に分けて印刷する（拡大連写）

1 ページを複数枚の用紙に分けて拡大印刷し、それらを貼り合わせることで、ポスターのような大判の印刷物を作成できます。用紙の端から 15mm の部分がのりしろとして印刷されます。印刷された用紙を貼り合わせるときは、端から 15mm を重ねると、継ぎ目が目立たなくなります。

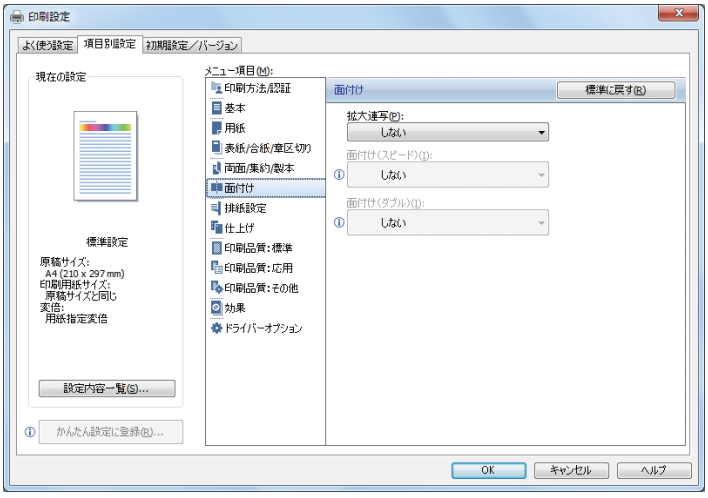
拡大連写で印刷した用紙の四辺には印刷されない領域ができます。

この機能は RPCS プリンタードライバーまたはオプションの PCL 6 プリンタードライバーで使用できます。

重要

- **拡大連写機能を使用するときは、両面機能または集約機能を無効にしてください。**
- **拡大率は、指定した用紙サイズと分割枚数に応じて決まります。**

1. 使用しているアプリケーションのメニューボタンをクリックし、[印刷] をクリックします。
2. 印刷で使用するプリンターを選択します。
3. [詳細設定] をクリックします。
4. [項目別設定] タブをクリックします。
5. 「メニュー項目：」で [面付け] メニューをクリックします。



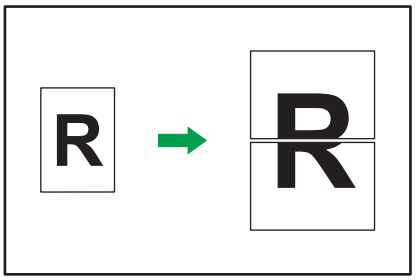
6. 「拡大連写：」プルダウンメニューから用紙の分けかたを選択します。
7. その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。
8. [OK] をクリックします。

9. アプリケーションから印刷の指示をします。

拡大連写の種類

拡大連写で設定できる用紙の分けかたは以下のとおりです。ここでは原稿の向きが⬜のときを例に説明します。

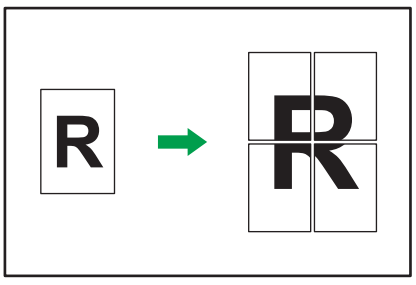
2 枚に分けて印刷



CKN103

上下 2 枚に分割します。

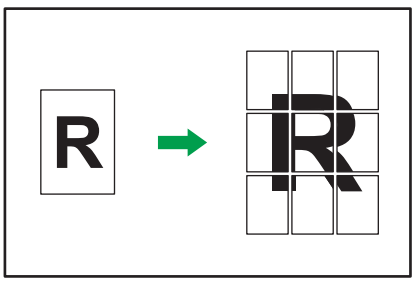
4 枚に分けて印刷



CKN104

縦 2 枚と横 2 枚に分割します。

9 枚に分けて印刷



CKN105

縦 3 枚と横 3 枚に分割します。

補足

- 拡大連写と折りは、同時に設定できません。
- 拡大連写で印刷するとき、画像によっては用紙の裏汚れなどの不具合が発生することがあります。

手差しトレイから不定形サイズの用紙に印刷する

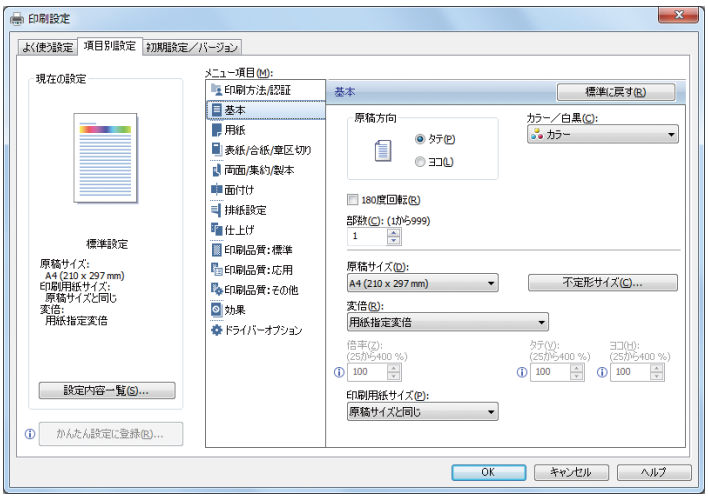
操作部とプリンタードライバーの両方で、正しく用紙設定をしてから印刷してください。

手差しトレイに不定形サイズの用紙をセットする方法は、『本機をお使いになる方へ』「用紙をセットする」を参照してください。

操作部を使用して不定形サイズを設定する方法は、『本機をお使いになる方へ』「不定形の用紙サイズを設定する」を参照してください。

プリンタードライバーを使用して不定形サイズの用紙に印刷する

1. 使用しているアプリケーションのメニューボタンをクリックし、[印刷]をクリックします。
2. 印刷で使用するプリンターを選択します。
3. [詳細設定]をクリックします。
4. [項目別設定]タブをクリックします。
5. 「メニュー項目：」で[基本]メニューをクリックします。



6. [不定形サイズ...]をクリックします。
7. 印刷する不定形サイズの「幅」と「長さ」の寸法を入力します。
8. [OK]をクリックします。
9. [よく使う設定]タブをクリックします。

   [項目別設定]タブをクリックし、[用紙]メニューをクリックすることもできます。

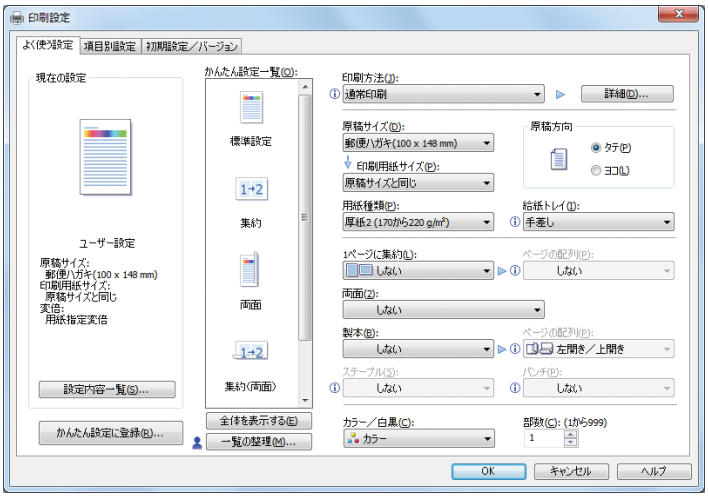
10.「給紙トレイ：」プルダウンメニューから、［手差し］を選択します。
11.「用紙種類：」プルダウンメニューから用紙種類を選択します。
12. 必要に応じて、その他の印刷条件を設定します。
13. ［OK］をクリックします。
14. アプリケーションから印刷の指示をします。

郵便はがきに印刷する

1. 手差しトレイに、郵便はがきをセットします。

   はがきのセット方法は、『本機をお使いになる方へ』「セットできる用紙サイズ、種類」を参照してください。

2. 使用しているアプリケーションのメニューボタンをクリックし、[印刷] をクリックします。
3. 印刷で使用するプリンターを選択します。
4. [詳細設定] をクリックします。
5. 「原稿サイズ：」プルダウンメニューから、[郵便ハガキ] を選択します。



   「用紙種類：」が［厚紙 2（170 から 220g/m^2)］、「給紙トレイ」が［手差し］に設定されていることを確認します。

6. 必要に応じて、その他の印刷条件を設定します。
7. [OK] をクリックします。
8. アプリケーションから印刷の指示をします。

封筒に印刷する

操作部とプリンタードライバーの両方で、正しく用紙設定をしてから印刷してください。

往復はがきなど、本機で自動検知されない定形サイズの用紙に印刷するときも手順は同じです。印刷する用紙に応じて「用紙サイズ」と「用紙種類」を設定してください。

操作部を使用して封筒を設定する

重要

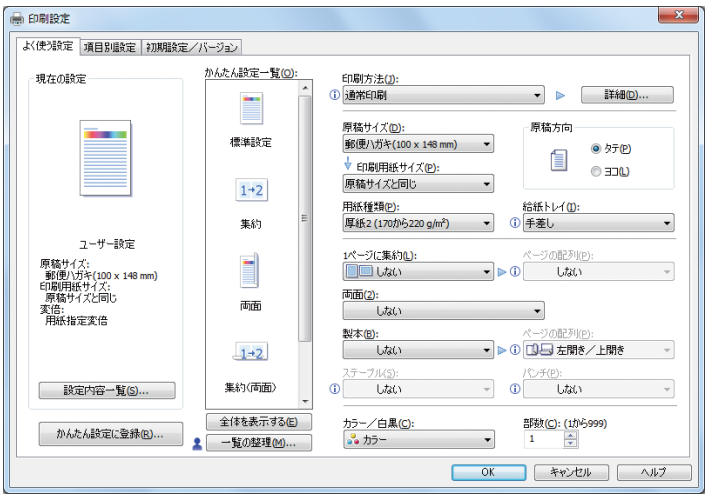
- **印刷が終了したら、本機の［用紙設定］の設定内容を元に戻してください。**

1. **給紙トレイに、封筒をセットします。**
   封筒のセット方法は、『本機をお使いになる方へ』「セットできる用紙サイズ、種類」を参照してください。
2. **画面中央下の［ホーム］（ ）を押します。**
3. **左にフリックし、［初期設定］アイコン（ ）を押します。**
4. **［用紙設定］を押します。**
5. **封筒をセットした給紙トレイの用紙サイズ設定を選択します。**
6. **封筒のサイズを選択します。**
   選択する項目が表示されないときは、［▼次へ］を押して画面を切り替えてください。
7. **［設定］を押します。**
8. **［▼次へ］を押します。**
9. **封筒をセットした給紙トレイの用紙種類設定を選択します。**
10. **用紙種類を選択します。**
    「用紙種類」から［封筒］を選択し、「用紙厚さ」から適当な紙厚を選択します。
11. **［設定］を押します。**
12. **画面右上の［初期設定］（ ）を押します。**
13. **画面中央下の［ホーム］（ ）を押します。**

プリンタードライバーを使用して封筒に印刷する

1. **使用しているアプリケーションのメニューボタンをクリックし、［印刷］をクリックします。**
2. **印刷で使用するプリンターを選択します。**

3. [詳細設定] をクリックします。
4. 「原稿サイズ：」プルダウンメニューから、封筒の用紙サイズを選択します。



5. 「給紙トレイ：」プルダウンメニューから、封筒をセットした給紙トレイを選択します。
6. 「用紙種類：」プルダウンメニューから［封筒］を選択します。
7. 必要に応じて、その他の印刷条件を設定します。
8. [OK] をクリックします。
9. アプリケーションから印刷の指示をします。

スプール印刷を設定する

スプール印刷とは、パソコンから転送される印刷ジョブを一時的に本機に蓄積して印刷する機能です。スプール印刷をすると、大容量のデータのとき、パソコンが早く印刷処理から開放されます。

重要

- **スプール印刷中は本機のハードディスクにアクセスするので、データインランプが点滅します。スプール印刷中に本機やパソコンの電源を切ると、ハードディスクが破損することがあります。スプール印刷中は本機やパソコンの電源を切らないでください。**
- **diprint、LPR、IPP、ftp、sftp、SMB（TCP/IP（IPv4））、WSD（Printer）のプロトコルで受信したデータだけスプール印刷できます。**

スプール印刷は Web Image Monitor または telnet で設定できます。Web Image Monitor については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「Web ブラウザーを使用する」または Web Image Monitor のヘルプを参照してください。telnet については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「telnet を使用する」を参照してください。

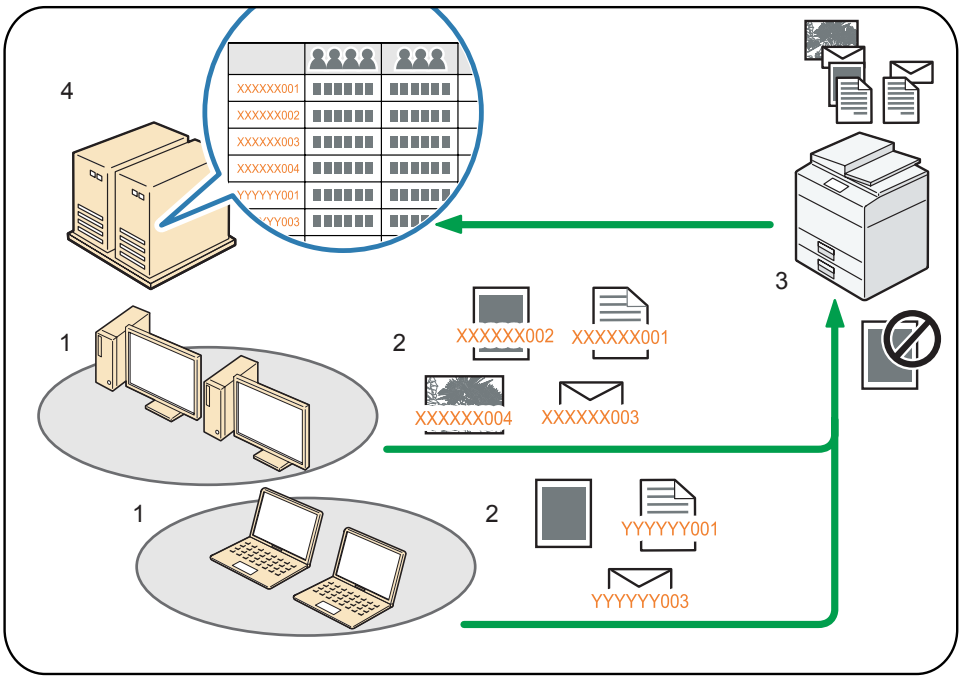
スプール印刷が設定されているときは、スプール中のジョブ一覧を本機の操作部の画面に表示できます。スプール中のジョブ一覧を表示するには、操作部中央下の［ホーム］（）を押し、ホーム画面の［プリンター］アイコンを押してから、［ジョブスプール一覧］を押します。スプールされているジョブの一覧が表示されます。

スプール中のジョブを削除するときは、削除する文書を押し、［消去］を押します。

分類コードを登録する

分類コードを登録しておくと、分類コードごとの印刷枚数が本機に記録されます。

この機能を使用して、たとえば使用目的や個人ごとに分類コードを設定しておくと、印刷枚数を使用目的や個人ごとに確認できます。勘定科目ごとの収集やクライアントごとの課金管理などに適しています。



CLD005

1. **管理する部や課、プロジェクトチーム、ユーザーなど**
2. **使用目的に応じて、分類コードをプリントジョブに入力します。**

   詳細は、P.35「分類コードを入力して印刷する」を参照してください。
3. **印刷します。**

   印刷時に分類コードの入力を必須とするか任意とするかを、Web Image Monitor で設定します。
   詳細は、P.34「分類コードを設定する」を参照してください。
4. **外部ログ管理システムで分類コードを収集し、管理します。**

分類コードを設定する

プリントジョブに分類コードを必須とするか任意とするかを、Web Image Monitor で設定します。

重要

- 分類コードを［必須］に設定したとき、分類コードが付与されていないプリントジョブは印刷できません。
- 分類コードを［必須］に設定したときでも、システム設定リストは印刷できます。
- 初期状態は［任意］に設定されています。

1. Web Image Monitor に管理者モードでログインします。

   ログイン方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「Web ブラウザーを使用する」を参照してください。

2. メニューエリアの［機器の管理］から［設定］をクリックします。
3. 「機器」カテゴリーの中の［ログ］をクリックします。
4. 「共通設定」カテゴリーの中の「分類コード」の［必須］か［任意］をクリックします。
5. ［OK］をクリックします。
6. ［ログアウト］をクリックします。
7. Web Image Monitor を終了します。

分類コードを入力して印刷する

分類コードが必須の環境で印刷するときは、プリントジョブに分類コードを指定して印刷します。

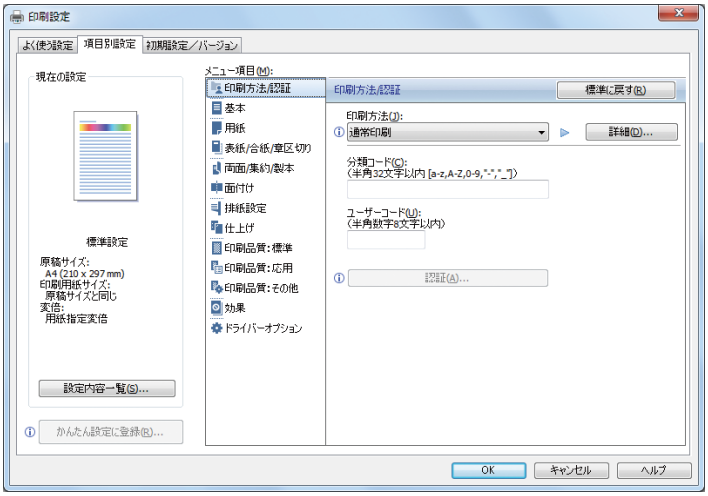
この機能は RPCS プリンタードライバーまたはオプションの PCL 6 プリンタードライバーで使用できます。

重要

- 入力した分類コードはプリンタードライバーに保存されます。
- 複数の分類コードを切り替えるときは、プリンタードライバーを別の名前で複数インストールし、それぞれに個別の分類コードを設定します。

1. 使用しているアプリケーションのメニューボタンをクリックし、［印刷］をクリックします。
2. 印刷で使用するプリンターを選択します。
3. ［詳細設定］をクリックします。
4. ［項目別設定］タブをクリックします。

5.「メニュー項目：」で［印刷方法/認証］メニューをクリックします。



6.「分類コード：」ボックスに分類コードを入力します。

7. その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。

8.［OK］をクリックします。

9. アプリケーションから印刷の指示をします。

補足

- 「印刷方法：」プルダウンメニューで［ドキュメントボックス］を選択したときは、分類コードを入力できません。

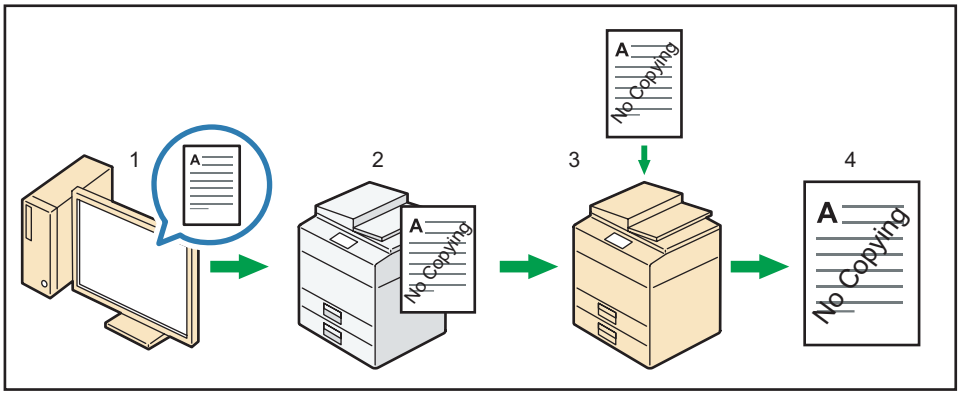
複製できない文書を印刷する

本機では、不正コピー抑止用の文字列とマスクパターンを埋め込んで印刷できます。不正コピー抑止には、「不正コピー抑止地紋」と「不正コピーガード」があります。

重要

- **不正コピー抑止は、必ずしも情報漏えいを防止するものではありません。**
- **トナーセーブ機能は不正コピー抑止と同時に使用できません。**

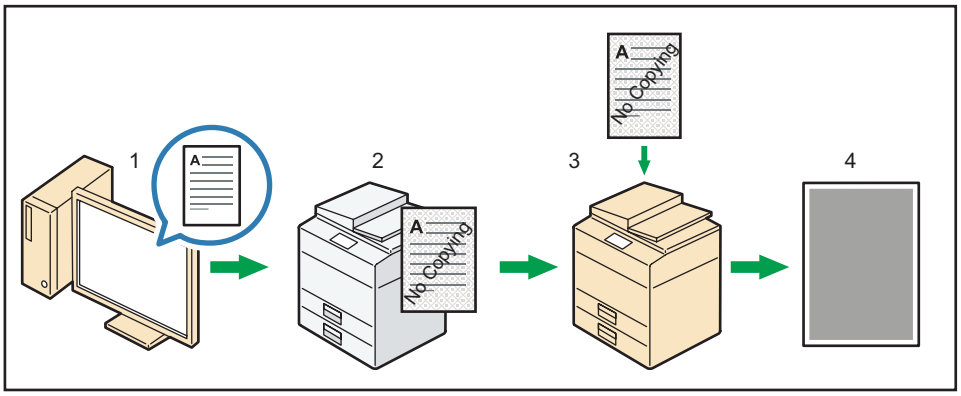
不正コピー抑止地紋を設定した文書を印刷すると



CYD012

1. 不正コピー抑止地紋を設定し、文書を印刷します。
2. 印刷した文書に、設定した不正コピー抑止文字列とマスクパターンが埋め込まれます。
3. 複写機または複合機を使用して、印刷した文書をコピーします。
4. コピーした文書に、不正コピー抑止文字列が浮き上がります。

不正コピーガードを設定した文書を印刷すると



CYD013

1. 不正コピーガードを設定し、文書を印刷します。

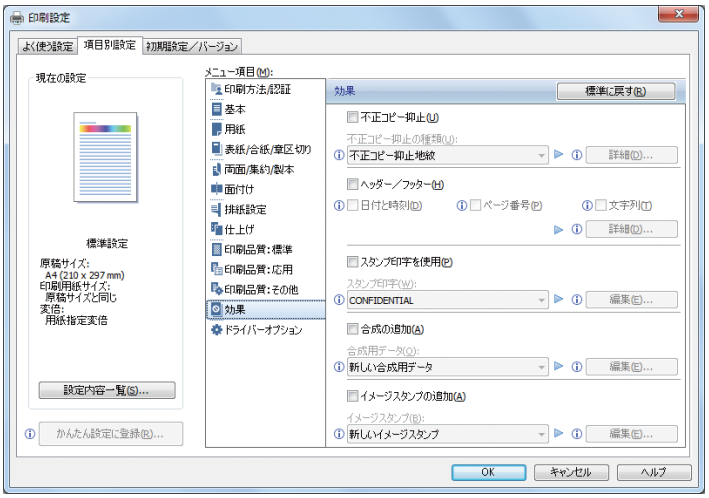
2. 印刷した文書に、不正コピーガード用の地紋と不正コピー抑止文字列が埋め込まれます。
3. 当社の複写機または複合機を使用して、印刷した文書をコピーします。
4. コピーした文書の文字や画像がグレー地に変換されます。

補足

- 不正コピー抑止はプリンタードライバー、Web Image Monitor または本機の操作部で設定できます。Web Image Monitor での設定については、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。操作部での設定については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「管理者用設定」を参照してください。

不正コピー抑止地紋を設定する

1. 使用しているアプリケーションのメニューボタンをクリックし、[印刷] をクリックします。
2. 印刷で使用するプリンターを選択します。
3. [詳細設定] をクリックします。
4. [項目別設定] タブをクリックします。
5. 「メニュー項目：」で [効果] メニューをクリックします。



6. [不正コピー抑止] チェックボックスにチェックを入れ、「不正コピー抑止の種類：」プルダウンメニューから [不正コピー抑止地紋] を選択します。
7. [詳細...] をクリックします。
8. 各項目の設定内容を任意に変更し、[OK] をクリックします。
9. その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。
10. [OK] をクリックします。

11. アプリケーションから印刷の指示を出します。

補足

- 印刷するデータに、部分的に地紋と文字列を埋め込むことはできません。
- 地紋効果は、コピーしたとき、読み取ったとき、ドキュメントボックスに蓄積したときの結果をすべて保証しているものではありません。また蓄積結果は、使用する機種とその設定条件により異なります。
- 地紋効果は、コピーするときの原稿種類設定により、画質の一部に濃淡が発生することがあります。そのようなときは、原稿の種類を［文字］または［写真］に切り替えてください。
- プリンタードライバーで設定できる項目については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

不正コピーガードを設定する

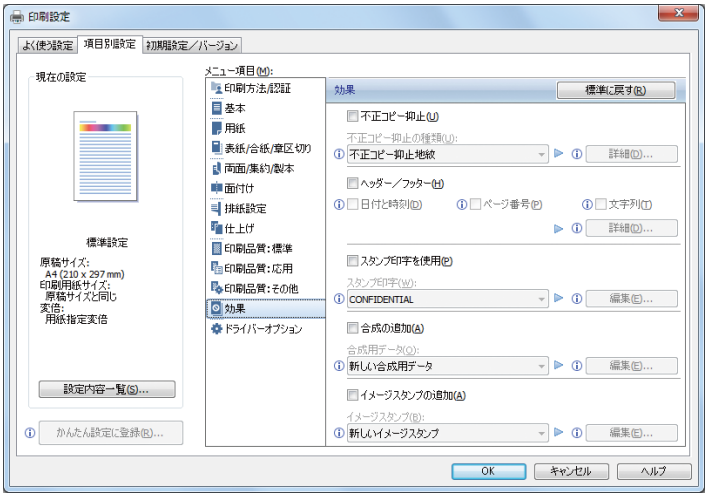
1. 使用しているアプリケーションのメニューボタンをクリックし、［印刷］をクリックします。

2. 印刷で使用するプリンターを選択します。

3. ［詳細設定］をクリックします。

4. ［項目別設定］タブをクリックします。

5. 「メニュー項目：」で［効果］メニューをクリックします。



6. ［不正コピー抑止］チェックボックスにチェックを入れ、「不正コピー抑止の種類：」プルダウンメニューから［不正コピーガード］を選択します。

7. ［詳細...］をクリックします。

8. 各項目の設定内容を任意に変更し、［OK］をクリックします。
9. その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。
10. ［OK］をクリックします。
11. アプリケーションから印刷の指示を出します。

補足

- 不正コピーガードでグレー地に印刷するには、本機側での設定もあわせて必要です。詳細は、『セキュリティーガイド』「不正コピー抑止／不正コピーガード機能」を参照してください。
- 印刷するデータに、部分的な地紋の埋め込みはできません。
- 普通紙または白色度 70%以上の再生紙で、B5 サイズ以上の用紙を使用してください。
- 両面印刷するとき、裏面の文字や模様が透けることで、機能が正常に動作しないことがあります。
- プリンタードライバーで設定できる項目については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

おことわり

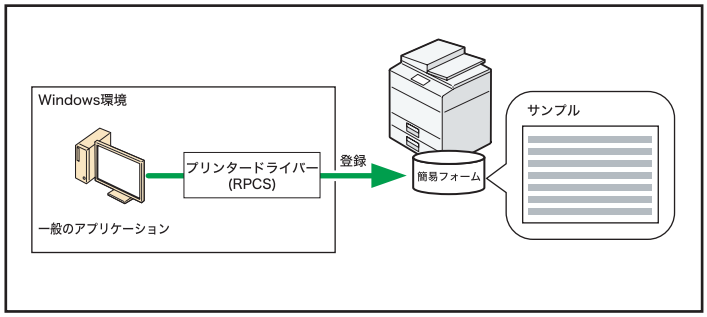
- 当社は、不正コピー抑止地紋による不正コピー抑止効果と不正コピーガード機能が、常時有効に機能することを保証するものではありません。使用する用紙ならびにコピー機の機種や設定条件などによっては、不正コピー抑止地紋による不正コピー抑止効果と不正コピーガード機能が有効に機能しないことがあります。この点をご理解のうえ、ご使用ください。
- 不正コピー抑止地紋と不正コピーガード機能を使用または使用できなかったことで生じた損害について、当社は一切その責任をおいかねます。あらかじめご了承ください。

登録したフォームで印刷する（イメージオーバーレイ）

本機に登録したフォームデータと印刷する原稿を合成して、1 枚の原稿として印刷できます。

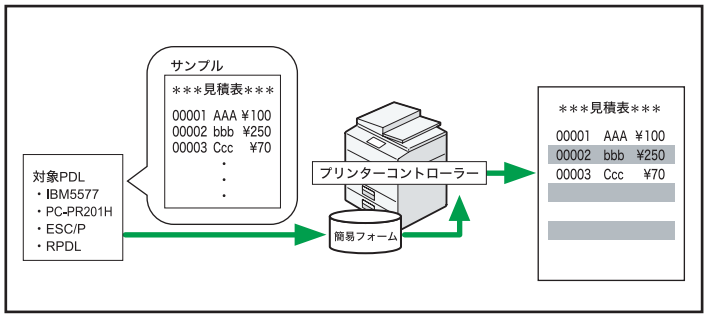
この機能は RPCS プリンタードライバーで使用できます。

市販の Windows 対応アプリケーションソフトを使用して作成したフォームデータを RPCS プリンタードライバーから本機に登録します。



CLC001

RPDL またはエミュレーションの R98、R55、R16 を使用してフォームを実行すると、印刷する原稿と登録しておいたフォームを合成して印刷できます。



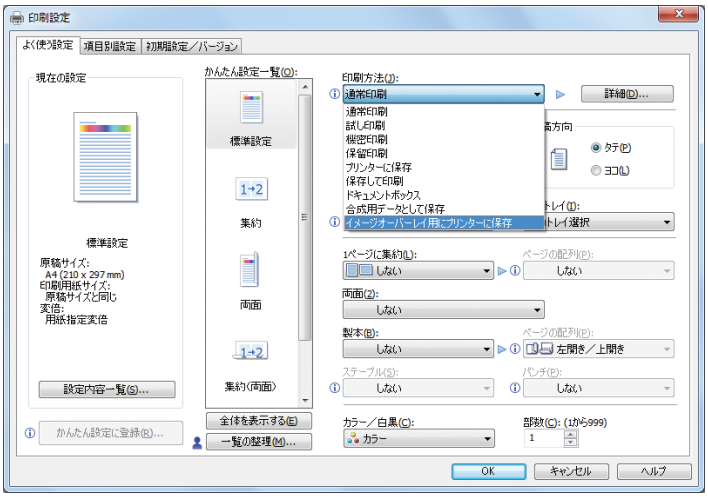
CLC002

フォームデータの登録

RPCS プリンタードライバーを使用して、作成したフォームデータを本機に登録します。

1. 使用しているアプリケーションのメニューボタンをクリックし、[印刷] をクリックします。
2. 印刷で使用するプリンターを選択します。
3. [詳細設定] をクリックします。

4. 「印刷方法：」プルダウンメニューから［イメージオーバーレイ用にプリンターに保存］を選択します。



5. [詳細...] をクリックします。

6. 必要に応じて項目を設定し、[OK] をクリックします。

7. [OK] をクリックします。

登録したフォームを使用して印刷する

基幹系業務アプリケーションやホスト端末エミュレーションの設定にコマンドを追加すると、イメージオーバーレイ印刷を使用できます。エミュレーションの RPDL、R16、R55、R98 が必要です。

IBM AS/400® Pcomm の PDT ファイルの設定例は以下のとおりです。

```
EJC EQU 1B 7E 01 00 00
INZ EQU 1B 7E 0E 00 01 06
RJ1 EQU @ P J L 20 S E T 20 F O R M E X E C U T E 20 = 20 O N
RJ2 EQU @ P J L 20 S E T 20 F O R M E X E C U T E N U M B E R 20 = 20 1
END_MACROS                                          /*イメージオーバーレイ呼び出し
/*****************************************************************************************/
/*                          Session Parameters                 */
/*****************************************************************************************/
MAXIMUM_PAGE_LENGTH=066
MA  IMUM_PRINT_POSITION=132
DEFAULT_CPI?=010
DEFAULT_LPI?=006
COMPRESS_LINE_SPACING?=NO
FORM_FEED_ANY_POSITION?=YES
HORIZONTAL_PEL=120
UNITS_OF_DRAW_LINE=
KANJI_CODE?=SHIFT_JIS
ZENKAKU_SPACE=
PAGE_LENGTH_TYPE?=6INCH
/*****************************************************************************************/
/*                          Control Codes                 */
/*****************************************************************************************/
START JOB=INZ SEL LL6 P10 RJ1 RJ2
END JOB=INZ
BACKSPACE=BAK
BELL=BELL
```

CQS909

トナーを節約して印刷する

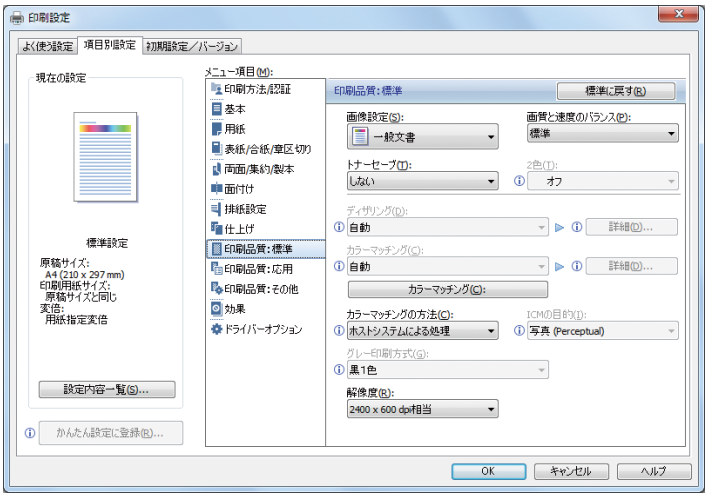
指定した色だけで印刷する

カラー印刷に使用されるシアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの 4 色から、指定した色だけで印刷ができます。

この機能は RPCS プリンタードライバーまたはオプションの PostScript 3 プリンタードライバーで使用できます。

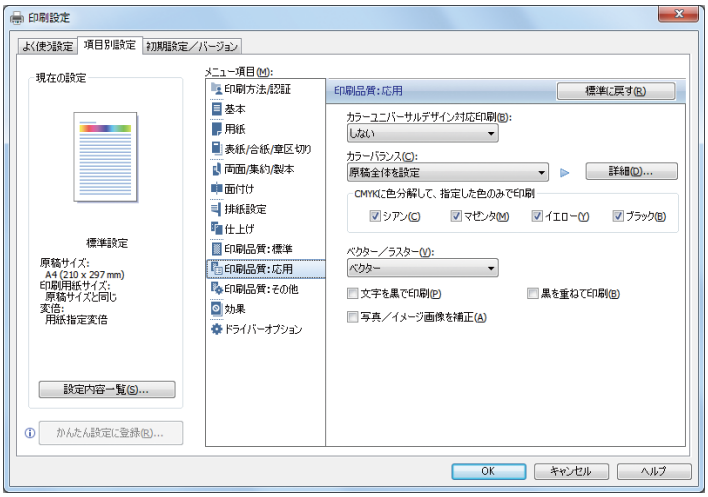
1. **使用しているアプリケーションのメニューボタンをクリックし、[印刷] をクリックします。**
2. **印刷で使用するプリンターを選択します。**
3. **[詳細設定] をクリックします。**
4. **[項目別設定] タブをクリックします。**
5. **印刷に使用する色の組み合わせを選択します。**

   ブラックとそれ以外の色の組み合わせで 2 色印刷するときは、「メニュー項目：」で [印刷品質：標準] メニューをクリックします。



「画像設定：」プルダウンメニューから［ユーザー設定］を選択し、「2 色：」プルダウンメニューから印刷に使用する色の組み合わせを選択します。

CMYK に色分解して、指定した色だけで印刷するときは、「メニュー項目：」で［印刷品質：応用］メニューをクリックします。



「CMYK に色分解して、指定した色のみで印刷」で使用しない色のチェックボックスのチェックを外します。

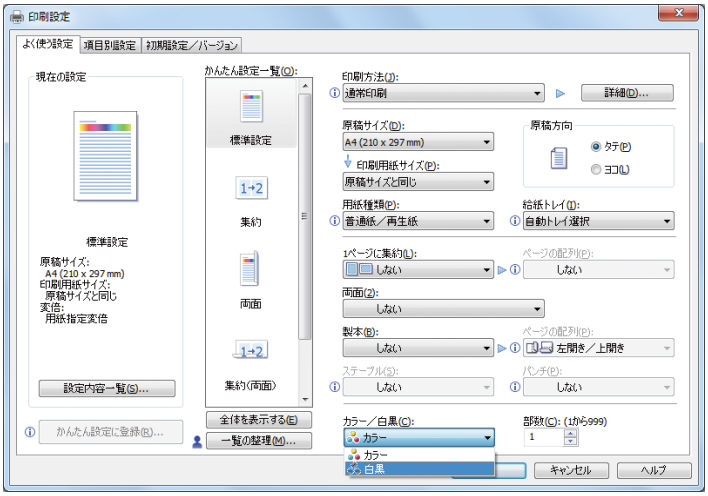
6. その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。
7. [OK] をクリックします。
8. アプリケーションから印刷の指示をします。

モノクロで印刷する

1. 使用しているアプリケーションのメニューボタンをクリックし、[印刷] をクリックします。
2. 印刷で使用するプリンターを選択します。
3. [詳細設定] をクリックします。
4. [よく使う設定] タブをクリックします。

   [項目別設定] タブをクリックし、[基本] メニューをクリックすることもできます。

5. 「カラー／白黒：」で［白黒］を指定します。



6. その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。
7. ［OK］をクリックします。
8. アプリケーションから印刷の指示を出します。

モノクロ印刷の注意

プリンタードライバーの［印刷品質：標準］メニューで、「画像設定：」プルダウンメニューから［写真（イメージデータ）］または［DTP］を選択したとき、アプリケーションによっては、文字以外のグレースケールや無彩色部分がカラーイメージとして認識され、CMYK4 色で印刷または課金されることがあります。確実に白黒で印刷するには、［写真（イメージデータ）］と［DTP］以外の設定を選択するか、［ユーザー設定］を選択して、「グレー印刷方式：」プルダウンメニューから［黒 1 色］を選択してください。詳細はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。

トナーセーブ機能を使用する

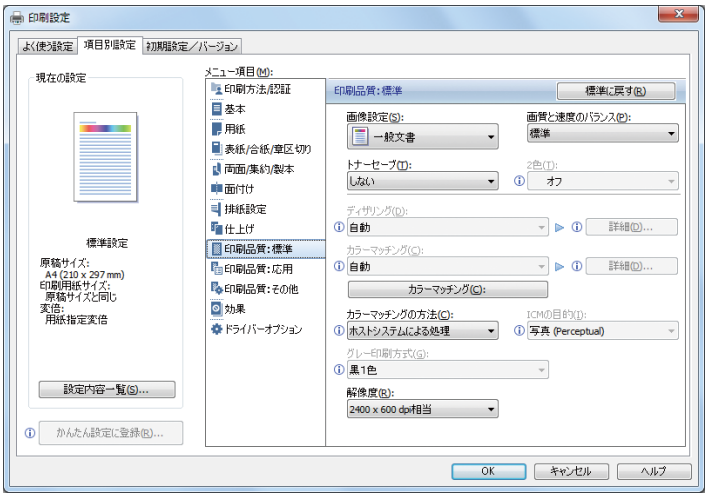
トナーセーブ機能を使用すると、通常よりも薄い色で印刷されるため、トナーを節約できます。

重要

- **トナーセーブ機能は不正コピー抑止と同時に使用できません。**

1. 使用しているアプリケーションのメニューボタンをクリックし、［印刷］をクリックします。
2. 印刷で使用するプリンターを選択します。

3. [詳細設定] をクリックします。
4. [項目別設定] タブをクリックします。
5. 「メニュー項目：」で［印刷品質：標準］メニューをクリックします。



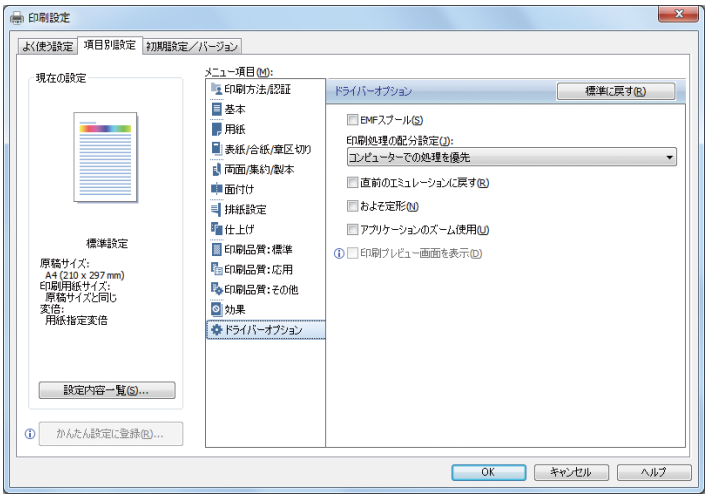
6. 「トナーセーブ：」プルダウンメニューから［する］を選択します。
7. その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。
8. [OK] をクリックします。
9. アプリケーションから印刷の指示を出します。

印刷終了後にプリンターのエミュレーションをもとに戻す

エミュレーションを併用している環境で、プリンタードライバーから印刷ジョブを送信したときに、自動で直前に使用していたエミュレーションに戻す機能です。

この機能は RPCS プリンタードライバーで使用できます。

1. 使用しているアプリケーションのメニューボタンをクリックし、[印刷] をクリックします。
2. 印刷で使用するプリンターを選択します。
3. [詳細設定] をクリックします。
4. [項目別設定] タブをクリックします。
5. 「メニュー項目：」で [ドライバーオプション] メニューをクリックします。



6. [直前のエミュレーションに戻す] チェックボックスにチェックを入れます。
7. [OK] をクリックします。
8. アプリケーションから印刷の指示をします。

印刷を中止する

本機とパソコンから印刷を中止します。中止する方法は印刷データの状態によって異なります。状況を確認し、以下の手順で操作します。

1. **印刷を中止するデータが、本機から印刷されているか確認します。**
   データが印刷されていなくてもデータインランプが点滅または点灯していれば、本機はデータを受信しています。
2. **印刷を中止します。**
   データの印刷状況によって、次のいずれかの手順で操作します。

印刷開始前のとき

1. Windows のタスクトレイのプリンターアイコンをダブルクリックします。
2. 印刷を中止する文書のドキュメント名をクリックして反転表示させます。
3. [ドキュメント] メニューの [キャンセル] をクリックします。

印刷中のとき

1. 画面中央下の [ホーム] ( ) を押します。
2. [プリンター] アイコンを押します。
3. [印刷取消] または [ストップ] を押します。



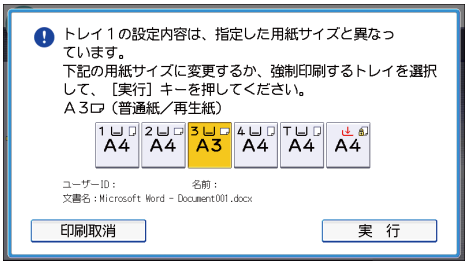
4. 印刷中のジョブを消去するときは [印刷中止]、本機に送信したすべてのジョブを消去するときは [全ジョブ取消] を押します。
5. [消去する] を押します。

補足

- 印刷を中止したデータが途中から再び印刷されるときは、［プリンター初期設定］の［インターフェース設定］タブの［インターフェース切替時間］を長くしてください。
- 大容量データの印刷を中止するときは、［印刷取消］または［ストップ］を押したあと、パソコン側からも印刷を中止することをお勧めします。

用紙サイズや用紙種類のエラーが表示されたとき

印刷時に指定した用紙サイズや用紙種類に一致するトレイがないときや、本機にセットした用紙がなくなったときは、本機の操作部に警告画面が表示されます。表示された内容に従って、印刷を継続するか中止するかを選択してください。



重要

- **以下の条件のとき、トレイを変更して強制印刷できません。**
  - **ステープル、パンチ、折りを設定しているとき。ただし、ステープル、パンチ、折りを解除すれば、強制印刷できます。**
  - **両面印刷ができないトレイを指定して、両面印刷を設定しているとき。ただし、両面印刷を解除すれば、強制印刷できます。**
  - **おもて表紙、うら表紙、合紙を設定しているとき**
  - **章分け、章区切りを設定しているとき**

補足

- ソート印刷の１部目で強制印刷を実行したとき、１部だけ指定した給紙トレイから印刷し、ソート印刷は解除されます。
- ソート印刷の２部目以降で強制印刷を実行したとき、実行中の部だけ印刷します。

強制印刷する

トレイを選んで強制印刷する方法を説明します。

1. **画面に表示されているトレイの中から、使用するトレイを押して選びます。**
   用紙を補給して印刷するときは、正しい用紙をセットしてからトレイを選んでください。
2. **［実行］を押します。**

補足

- エラースキップの設定がされているときは、設定時間経過後に、いずれかのトレイから印刷されます。エラースキップについては、P.84「エラージョブを自動的に蓄積する」を参照してください。

印刷を中止する

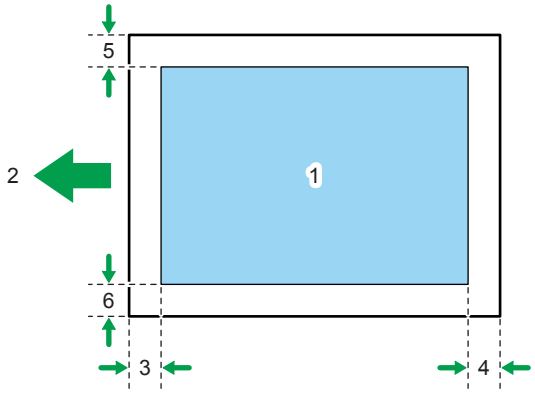
1. [印刷取消] を押します。
2. 印刷中のジョブを消去するときは [印刷中止]、本機に送信したすべてのジョブを消去するときは [全ジョブ取消] を押します。
3. [消去する] を押します。

補足

- 印刷を中止したデータが途中から再び印刷されるときは、[プリンター初期設定] の [インターフェース設定] タブの [インターフェース切替時間] を長くしてください。
- 大容量データの印刷を中止するときは、[印刷取消] を押したあと、パソコン側からも印刷を中止することをお勧めします。

印刷範囲

本機の推奨印刷範囲は以下の図のとおりです。



CLD001

1. 印刷範囲
2. 給紙方向
3. 先端：約 4.2mm
4. 後端：約 4.2mm
5. 右：約 4.2mm
6. 左：約 4.2mm

補足

- 印刷範囲は、用紙サイズやプリンタードライバーの設定によって異なることがあります。
- プリンタードライバーや印刷条件の設定によっては推奨印刷範囲外に印刷できますが、思いどおりの印刷結果が得られない、または用紙が正しく送られないことがあります。
- 縁なし印刷には対応していません。
- 給紙方向に対し、垂直方向の最大印刷幅は 305mm です。オプションの画像領域拡張キットを装着すると、最大印刷幅を 316mm まで拡大できます。印刷は給紙方向の左上から開始するため、最大印刷幅を超えるサイズの画像は、画像の右側と下側が切れて印刷されます。

3. 製本や仕分けに便利な機能

表紙用の用紙への印刷、合紙の挿入、ステープル、パンチ、折り、ソートといった便利な印刷機能について説明します。

製本印刷する

プリンタードライバーで用紙の中央でとじて印刷する方法を説明します。

製本印刷は［よく使う設定］タブの「製本：」プルダウンメニューまたは［項目別設定］タブの［両面/集約/製本］メニューで設定できます。印刷方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

重要

- **製本印刷できる用紙種類は以下のとおりです。**
  - RICOH MP C6004/C5504/C4504/C3504/C3004 シリーズ

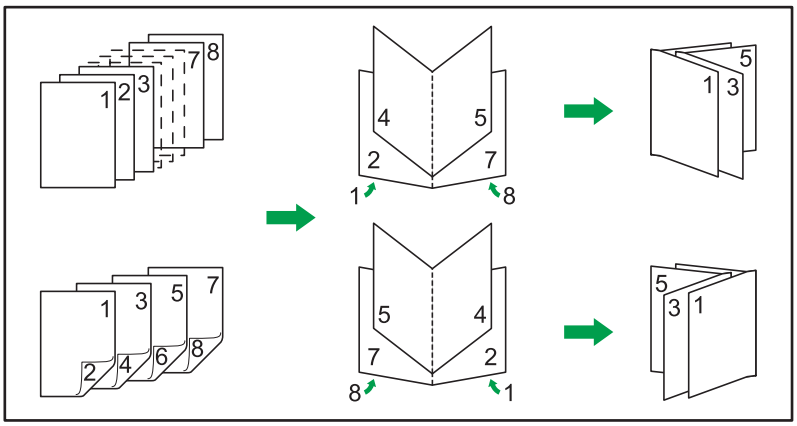
    普通紙 1（60～74g/m^2）、普通紙 2（75～81g/m^2）、再生紙、特殊紙 1、特殊紙 2、特殊紙 3、中厚口（82～105g/m^2）、厚紙 1（106～169g/m^2）、厚紙 2（170～220g/m^2）、厚紙 3（221～256g/m^2）、薄紙（52～59g/m^2）、色紙、レターヘッド付き用紙
  - RICOH MP C2504 シリーズ

    普通紙 1（60～74g/m^2）、普通紙 2（75～81g/m^2）、再生紙、特殊紙 1、特殊紙 2、中厚口（82～105g/m^2）、厚紙 1（106～169g/m^2）、薄紙（52～59g/m^2）、色紙、レターヘッド付き用紙

製本印刷の種類

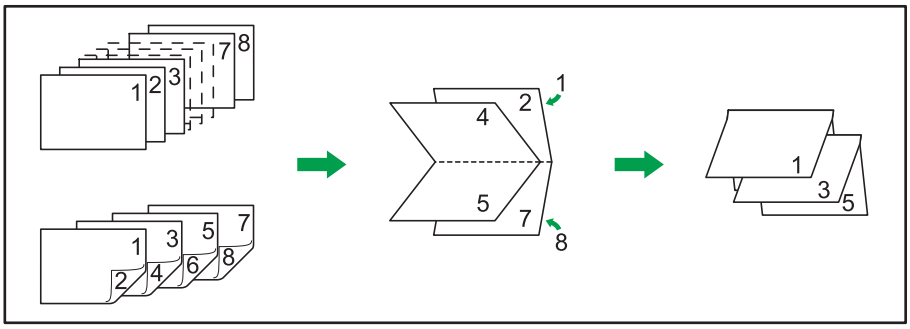
用紙の中央でとじる形態で、用紙の開きかたを設定できます。

週刊誌（左開き）/週刊誌（右開き）



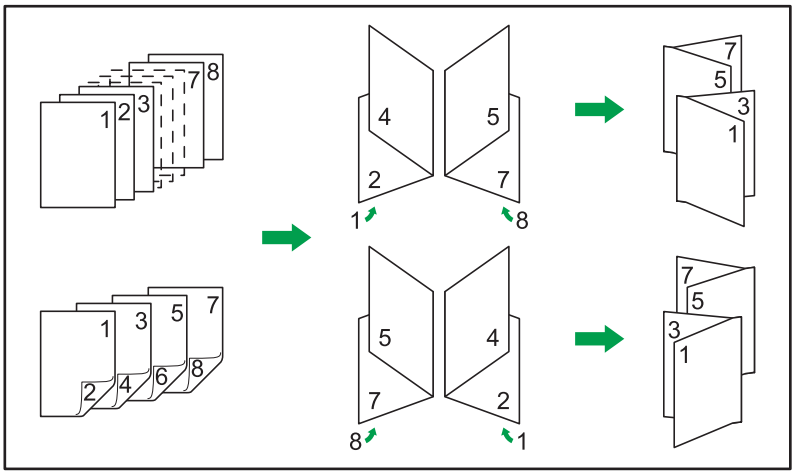
CKN049

週刊誌（上開き）



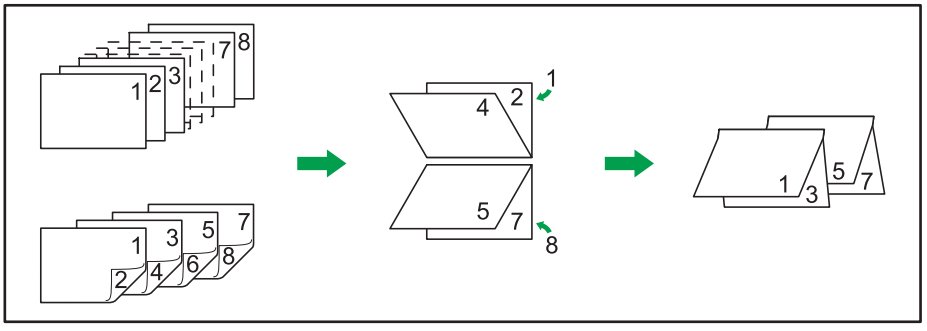
CKN120

ミニ本（左開き）/ミニ本（右開き）



CKN049

ミニ本（上開き）



CKN119

補足

- 「製本：」プルダウンメニューの横に注意アイコン（ⓘ）が表示されているときは、製本印刷を設定できません。注意アイコン（ⓘ）をクリックし、設定できない原因を確認してください。

- 原稿方向が［タテ］のときに、左開きと右開きを指定できます。
- 原稿方向が［ヨコ］のときに、上開きを指定できます。
- 1 つの文書内に原稿サイズの異なるページがあるとき、そのページの前で改ページすることがあります。
- 製本印刷と集約印刷を組み合わせると、複数枚の原稿を 1 ページに集約してから冊子になるよう印刷できます。集約印刷については、P.21「複数のページを集約して印刷する」を参照してください。
- オプションの PostScript 3 プリンタードライバーで製本印刷するとき、短辺の長さが長辺の半分以下の不定形サイズを指定すると、ジョブリセットされます。

部単位で印刷する（ソート）

会議資料など複数部数の文書を印刷するとき、ページ順に仕分けして印刷できます。パソコンから送信されてきたデータをメモリーに読み込み、ソートします。

ソートは［項目別設定］タブの［排紙設定］メニューで設定できます。印刷方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

重要

- **この機能を使用するために必要なオプションについては、『本機をお使いになる方へ』「オプションが必要な機能一覧」を参照してください。**
- **最大 2,000 ページまでの文書を 999 部までソートできます。**
- **エラーが発生した印刷ジョブを［エラースキップ］により強制印刷したときは、ソートが解除されます。［エラースキップ］については、P.83「エラージョブを自動的に強制印刷する」を参照してください。**
- **本機とパソコンが双方向通信していないときは、プリンターのプロパティから必ずオプションの設定をしてください。オプションが正しく設定されていないとき、フィニッシャーまたはシフトトレイを接続しているのにシフトソートの設定ができないことがあります。オプションの設定方法は、『ドライバーインストールガイド』「オプション構成や用紙の設定をする」を参照してください。**

ソートの種類

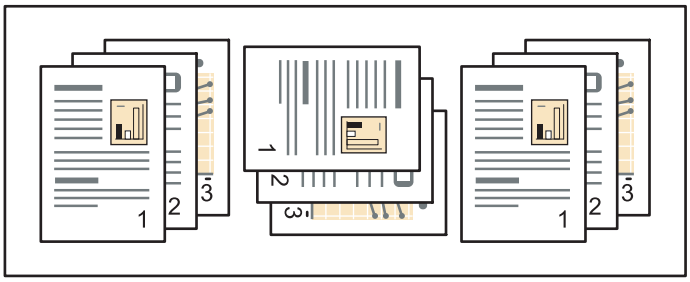
ソート



CKN0109

1 部ずつそろえて印刷します。

回転ソート



1 部ずつ交互に向きを変更して印刷します。

同じ用紙サイズで、同じ用紙種の用紙を異なる方向（）にセットした 2 段の給紙トレイが必要です。

シフトソート



シフトソートするには、オプションのフィニッシャーまたはシフトトレイが必要です。

印刷が排出されるたびに、1 部ごとにずらして排出するので、部の区切りがわかります。

ソートを設定するときの注意

ソートが解除される条件について説明します。

回転ソートが解除されるとき

以下の条件で回転ソートが解除され、シフトソートになります。

- ステープルが指定されたとき
- パンチが指定されたとき
- 折りが指定されたとき
- 用紙サイズが混在しているとき
- 給紙トレイが指定されたとき
- おもて表紙/うら表紙が指定されたとき
- 合紙が指定されたとき

- 章分けページが指定されたとき
- 不定形サイズが指定されたとき
- 排紙先にシフト機能があるとき

シフトソートが解除されるとき

- 排紙先にシフト機能がないとき
- 印刷結果が 1 枚のとき

補足

- 「ソート：」プルダウンメニューの横に注意アイコン（ⓘ）が表示されているときは、ソートを設定できません。注意アイコン（ⓘ）をクリックし、設定できない原因を確認してください。
- プリンタードライバーでソートまたは回転の設定をするときに、［アプリケーションのソート］を指定していると、意図しない印刷結果になることがあります。［プリンターのソート］を指定して印刷してください。
- 各オプションのソート、回転ソート、シフトソートできる用紙のサイズと枚数については、『本機をお使いになる方へ』「仕様一覧」を参照してください。

印刷した用紙をステープラーでとじる

フィニッシャーを本機に取り付けると、印刷物を 1 部ずつステープラーでとじられます。

ステープルは［よく使う設定］タブの「ステープル：」プルダウンメニューまたは［項目別設定］タブの［仕上げ］メニューで設定できます。印刷方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

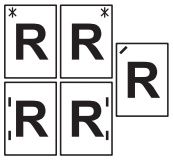
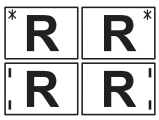
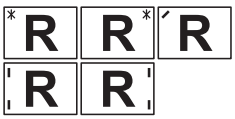
重要

- **この機能を使用するために必要なオプションについては、『本機をお使いになる方へ』「オプションが必要な機能一覧」を参照してください。**
- **本機とパソコンが双方向通信していないときは、プリンターのプロパティから必ずオプションの設定をしてください。オプションが正しく設定されていないとき、フィニッシャーを接続しているのにステープルを設定できないことがあります。オプションの設定方法は、『ドライバーインストールガイド』「オプション構成や用紙の設定をする」を参照してください。**
- **ステープルをするときは、プリンタードライバーで原稿サイズと原稿方向を必ず設定してください。**
- **ステープルできる用紙のサイズや枚数については、『本機をお使いになる方へ』「仕様一覧」を参照してください。**
- **印刷方向と用紙のセット方向によって、指定できるステープル位置は異なります。**

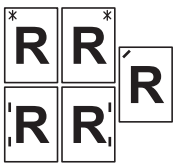
ステープルの位置

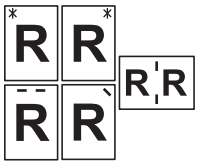
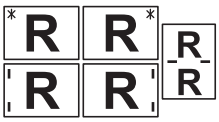
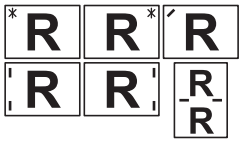
印刷方向と用紙のセット方向によって、指定できるステープル位置は異なります。ステープルできる位置は次のとおりです。

フィニッシャー

本機の用紙方向	印刷データの方向	仕上がり		
		500 枚胴内フィニッシャー/1000 枚フィニッシャー（針ありステープル）	3000 枚フィニッシャー	針なしとじフィニッシャー/1000 枚フィニッシャー（針なしステープル）
	タテ			
	ヨコ			
	タテ			
	ヨコ			

中とじフィニッシャー

本機の用紙方向	印刷データの方向	仕上がり	
		1000 枚中とじフィニッシャー	2000 枚中とじフィニッシャー
	タテ		
	ヨコ		

本機の用紙方向	印刷データの方向	仕上がり	
		1000 枚中とじフィニッシャー	2000 枚中とじフィニッシャー
	タテ		
	ヨコ		

補足

- 使用している機種によって装着できるフィニッシャーが異なります。装着できるフィニッシャーについては、『本機をお使いになる方へ』「外部に取り付けるオプション」を参照してください。
- 集約や両面を組み合わせた印刷をするときは、意図しない位置にステープルされることがあります。ステープルの設定をしたあと、プリンタードライバーのプレビューアイコンに表示されているステープル位置を確認してください。

ステープルを設定するときの注意

印刷物のページ数がステープルできる枚数を超えているときは、印刷を継続するか、印刷を中止するか選択できます。印刷を継続するときは、ステープルは解除されます。詳細は、P.153「システム設定」を参照してください。

ステープルできる枚数については、『本機をお使いになる方へ』「仕様一覧」を参照してください。

ステープルが解除されるとき

以下の条件で、ステープルが解除されることがあります。ソートが同時に指定されているときは、ソートされます。

- ソートできる条件を満たしていないとき
- ステープル機能があるフィニッシャーが装着されていないとき
- ステープルできる個所以外のステープル位置を指定したとき*1
- 両面印刷時に、両面とじ方向とステープル印刷のとじ位置に矛盾があるとき*1
- ステープルできない用紙サイズ、用紙種類が選択されたとき*2
- 混在できない用紙サイズを組み合わせて印刷したとき*2

- レポート印刷をしているとき
- レターヘッド紙を使用する場合に、画像の向きとステープル印刷のとじ位置に矛盾があるとき*1
- 給紙トレイに指定したトレイが、操作部の［プリンター初期設定］にある［トレイ設定選択］で［ドライバー/コマンド優先］に設定されているとき*2
- パンチと同時に指定するときに、ステープル位置とパンチ位置に矛盾があるとき
- 合紙を設定しているとき*2

*1 中とじステープルは該当しません。

*2 中とじステープルではジョブリセットされます。

ステープル（中とじ含む）と組み合わせるとジョブリセットされる機能

- 二つ折り機能があるフィニッシャーで設定する二つ折り

中とじステープルと組み合わせるとジョブリセットされる機能

- パンチ

補足

- 「ステープル：」プルダウンメニューの横に注意アイコン（ⓘ）が表示されているときは、ステープルを設定できません。注意アイコン（ⓘ）をクリックし、設定できない原因を確認してください。
- エラースキップを無効にしたときにステープルの針がなくなると、メッセージが表示されます。ステープルを解除すると、印刷が継続されます。
- フィニッシャーを装着しているときは、ステープルまたはシフトソートを選択すると、排紙先の設定に関係なく「フィニッシャー・シフトトレイ」に排紙されます。
- 本機でレターヘッド紙を使用するとき、指定された位置にステープルできないことがあります。
- 両面印刷を指定したときは、ステープル位置ととじ方向を合わせてください。
- 使用するアプリケーションによっては印刷時の設定が有効にならず、意図しない印刷結果になることがあります。
- プリンタードライバーでステープルを設定するときに、[アプリケーションのソート]を指定していると、意図しない印刷結果になることがあります。[プリンターのソート]を指定して印刷してください。
- 紙づまりが発生したとき、紙づまりの位置によって、エラー対処後の印刷再開動作は異なります。
  - フィニッシャーで紙づまりが発生したとき：紙づまりの位置によって、印刷中のデータの先頭ページまたは紙づまりが発生したページから印刷を再開します。
  - 本機側で紙づまりが発生したとき：印刷中のデータの紙づまりが発生したページから印刷を再開します。
- ［データ管理/操作］タブの［針なし/針ありステープル表示］を［針なしのみ選択可］に設定していると、ドライバーでの設定にかかわらず、左上または右上の針なしス

テープルで印刷します。ドライバーで針なしステープルを選択していないのに、針なしステープルで印刷されるときは、[針なし/針ありステープル表示]を[針なし/針あり選択可]に設定してください。詳しくは、P.151「データ操作/管理」を参照してください。

印刷した用紙にパンチで穴をあける

2 穴パンチユニットを装着したフィニッシャーを本機に取り付けると、印刷物にパンチ穴をあけられます。

パンチは［よく使う設定］タブの「パンチ：」プルダウンメニューまたは［項目別設定］タブの［仕上げ］メニューで設定できます。印刷方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

重要

- **この機能を使用するために必要なオプションについては、『本機をお使いになる方へ』「オプションが必要な機能一覧」を参照してください。**
- **本機とパソコンが双方向通信していないときは、必ずプリンタードライバーでオプションの設定をしてください。オプションが正しく設定されていないとき、パンチできるオプションを接続しているのにパンチを設定できないことがあります。オプションの設定方法は、『ドライバーインストールガイド』「オプション構成や用紙の設定をする」を参照してください。**
- **パンチをするときは、プリンタードライバーで原稿サイズと原稿方向を必ず設定してください。**

補足

- パンチできる用紙のサイズや紙厚については、『本機をお使いになる方へ』「仕様一覧」を参照してください。

パンチの位置

印刷方向、用紙セット方向によって、指定できるパンチ位置が異なります。パンチできる位置は次のとおりです。

本機の用紙方向	印刷データの方向	仕上がり
	タテ	
	ヨコ	
	タテ	
	ヨコ	

補足

- 印刷 1 枚ごとにパンチ穴をあけるため、パンチ穴の位置に多少のばらつきが生じます。

パンチを設定するときの注意

パンチが解除されるとき

以下の条件でパンチが解除されることがあります。

- パンチ機能があるフィニッシャーが装着されていないとき
- パンチできない用紙サイズや用紙種類が選択されたとき
- 両面印刷時に両面とじ方向とパンチ位置に矛盾があるとき
- レターヘッド紙を使用する場合に、画像の向きとパンチ位置に矛盾があるとき
- ステープルと同時に指定する場合に、ステープル位置とパンチ位置に矛盾があるとき
- 給紙トレイに指定したトレイが、操作部の［プリンター初期設定］にある［トレイ設定選択］で［ドライバー/コマンド優先］に設定されているとき

補足

- 「パンチ：」プルダウンメニューの横に注意アイコン（ⓘ）が表示されているときは、パンチを設定できません。注意アイコン（ⓘ）をクリックし、設定できない原因を確認してください。
- エラースキップを無効にしたときにパンチくずがいっぱいになると、メッセージが表示されます。パンチを解除すると、印刷が継続されます。
- 本機でレターヘッド紙を使用するとき、指定された位置へパンチができないことがあります。
- 両面印刷を指定したときは、パンチ位置ととじ方向を合わせてください。
- ステープルと同時に指定するときは、ステープルと同じ側にパンチを指定してください。
- 使用するアプリケーションによっては印刷時の設定が有効にならず、意図しない印刷結果になることがあります。
- プリンタードライバーでパンチを設定するときに、［アプリケーションのソート］を指定していると、意図しない印刷結果になることがあります。［プリンターのソート］を指定して印刷してください。
- 紙づまりが発生したとき、紙づまりの位置によって、エラー対処後の印刷再開動作は異なります。
  - フィニッシャーで紙づまりが発生したとき：紙づまりの位置によって、印刷中のデータの先頭ページまたは紙づまりが発生したページから印刷を再開します。

- 本機側で紙づまりが発生したとき：印刷中のデータの紙づまりが発生したページから印刷を再開します。

印刷した用紙を折る（RICOH MP C6004/C5504/C4504/C3504/C3004 シリーズ）

二つ折り機能があるフィニッシャーを本機に取り付けると、印刷物に折りを設定できます。

折りは［項目別設定］タブの［仕上げ］メニューで設定できます。印刷方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

重要

- **この機能を使用するために必要なオプションについては、『本機をお使いになる方へ』「オプションが必要な機能一覧」を参照してください。**
- **本機とパソコンが双方向通信していないときは、必ずプリンタードライバーでオプションの設定をしてください。オプションが正しく設定されていないとき、二つ折り機能があるフィニッシャーを接続しているのに二つ折りを設定できないことがあります。オプションの設定方法は、『ドライバーインストールガイド』「オプション構成や用紙の設定をする」を参照してください。**

補足

- 二つ折りを設定すると、自動的にソートが有効になります。

フィニッシャーを使用する

二つ折り機能があるフィニッシャーを本機に取り付けると、印刷物に折りを設定できます。

二つ折りの位置と結果

プリンタードライバーで二つ折りの位置を指定します。

[二つ折り: 外側印字（フィニッシャー中とじトレイ）] を選択すると、用紙の印字面を外側にして半分に折り、フィニッシャー・中とじトレイに 1 枚ずつ排紙します。

[二つ折り: 重ね折り（フィニッシャー中とじトレイ）] を選択すると、用紙の印字面を外側にして半分に折り、フィニッシャー・中とじトレイに重ねて排紙します。

重要

- **二つ折りを設定できる用紙種類は以下のとおりです。**
  - **1000 枚中とじフィニッシャー装着時**

    普通紙 1（60～74g/m^2）、普通紙 2（75～81g/m^2）、再生紙、中厚口（82～105g/m^2）、薄紙（52～59g/m^2）、色紙
  - **2000 枚中とじフィニッシャー装着時**

普通紙 1 (60～74g/m²)、普通紙 2 (75～81g/m²)、再生紙、中厚口 (82～105g/m²)、厚紙 1 (106～169g/m²)、厚紙 2 (170～220g/m²)、色紙

仕上がりは、用紙サイズによって異なります。以下の表は、A3 の用紙を折るときの例です。詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

印刷データの方向	仕上がり		
	内側印字	外側印字	重ね折り
 タテ	-		
 ヨコ	-		

補足

- 使用している機種によって装着できるフィニッシャーが異なります。装着できるフィニッシャーについては、『本機をお使いになる方へ』「外部に取り付けるオプション」を参照してください。
- 二つ折りを設定できる用紙サイズや紙厚については、『本機をお使いになる方へ』「仕様一覧」を参照してください。

二つ折りを設定するときの注意

[二つ折り: 重ね折り（フィニッシャー中とじトレイ)] を設定したとき、印刷物のページ数が重ね折りできる枚数を超えているときは、重ね折りできる枚数で一度折ってから、残りの枚数を別に折ります。重ね折りできる枚数は、5 枚までです。

二つ折りを設定するとジョブリセットされる条件

以下の条件で二つ折りを設定すると、ジョブリセットされます。

- 強制印刷をしたとき
- [エラースキップ] を設定しているとき
- 給紙トレイに指定したトレイが、操作部の [プリンター初期設定] にある [トレイ設定選択] で [ドライバー／コマンド優先] に設定されているとき
- 合紙を設定しているとき
- ステープルを設定しているとき
- パンチを設定しているとき
- レポート印刷をしているとき
- 二つ折りを設定できない用紙サイズ、用紙種類が選択されたとき

- [二つ折り: 重ね折り（フィニッシャー中とじトレイ）] を設定したとき、束となる用紙のサイズが異なるとき
- ソートできる条件を満たしていないとき
- 二つ折り機能があるフィニッシャーが故障しているとき
- 二つ折り機能があるフィニッシャーが装着されていないとき

補足

- 「折り：」プルダウンメニューの横に注意アイコン（ⓘ）が表示されているときは、折りを設定できません。注意アイコン（ⓘ）をクリックし、設定できない原因を確認してください。

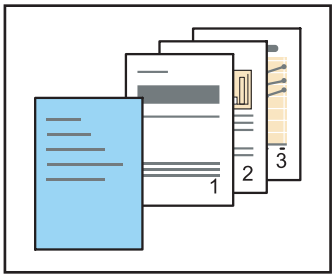
バナーページを印刷する

プリンタードライバーで指定した給紙トレイからバナーページを印刷します。バナーページを印刷ジョブの前に挿入し、文書の取り違いを防止します。

バナーページにはユーザー名、ジョブ名、ホスト名、ジョブの印刷日時が印刷されます。

この機能はオプションの PCL 6 プリンタードライバーまたは PostScript 3 プリンタードライバーで使用できます。

バナーページは［項目別設定］タブの［排紙設定］メニューで設定できます。印刷方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。



CLD004

補足

- プリンタードライバーの「印刷方法：」で［通常印刷］を指定したときだけ有効です。
- バナーページに印刷されるジョブの印刷日時は、ジョブ履歴の日時と差異が発生することがあります。また、エラーなどで印刷が中止され、再開までに時間があいたときも、バナーページに印刷される印刷日時と実際の印刷日時に差異が発生することがあります。
- 印刷を中止するときは、バナーページと印刷ジョブそれぞれに印刷中止の操作をしてください。
- 印刷後は、バナーページと印刷ジョブそれぞれのジョブ履歴が記録されます。
- 印刷の設定によっては、バナーページが印刷ジョブと異なる用紙サイズや用紙種類で印刷されることがあります。
- 印刷の設定によっては、バナーページが印刷ジョブと異なる排紙先に印刷されることがあります。
- バナーページの印刷文字列に半角英数字以外が使用されていると、文字化けすることがあります。
- 使用するアプリケーションによっては、複数部数を印刷するときに、部数分のバナーページが印刷されることがあります。
- 使用するアプリケーションによっては、1 つの印刷ジョブに向きやサイズの異なるページが混在するとき、向きやサイズが切り替わるページの前にバナーページが挿入されることがあります。

- 使用するアプリケーションによっては、1 つの印刷ジョブの中に複数のジョブがあると、ジョブごとにバナーページが挿入されることがあります。

表紙に印刷する

表紙用の用紙に印刷します。または、1 ページ目の前に表紙用の用紙を、最後のページにうら表紙用の用紙を挿入します。

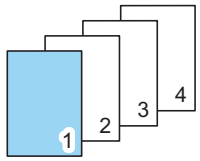
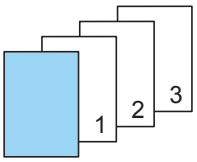
この機能は RPCS プリンタードライバーまたはオプションの PCL 6 プリンタードライバーで使用できます。

おもて表紙/うら表紙は［項目別設定］タブの［表紙/合紙/章区切り］メニューで設定できます。印刷方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

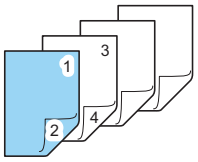
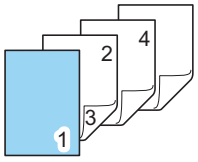
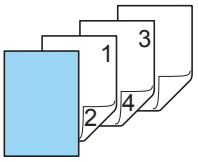
おもて表紙

原稿の 1 ページ目を、表紙用の用紙に印刷します。

片面印刷

表紙用の用紙に印刷するとき	表紙用の用紙に印刷しないとき
	

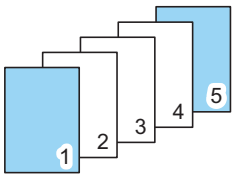
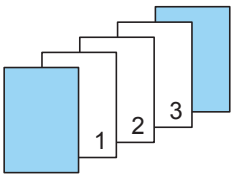
両面印刷

表紙用の用紙の両面に印刷するとき	表紙用の用紙の片面に印刷するとき	表紙用の用紙に印刷しないとき
		

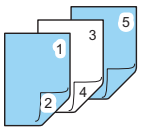
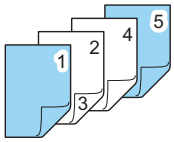
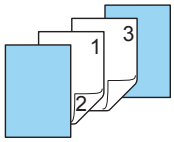
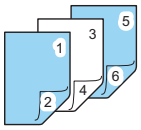
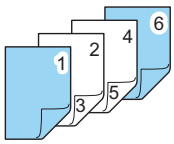
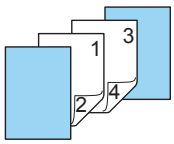
おもて表紙/うら表紙

1 ページ目の原稿と最終ページの原稿を表紙用の用紙に印刷します。うら表紙は、おもて表紙が設定されているときに指定できます。

片面印刷

表紙用の用紙の片面に印刷するとき	表紙用の用紙に印刷しないとき
	

両面印刷

	表紙用の用紙の両面に印刷するとき	表紙用の用紙の片面に印刷するとき	表紙用の用紙に印刷しないとき
奇数ページ			
偶数ページ			

補足

- おもて表紙/うら表紙は印刷する用紙と同じサイズのものを同じ方向にセットします。
- おもて表紙/うら表紙をトレイにセットしたあとは、当該の用紙サイズを設定してください。
- おもて表紙/うら表紙は合紙と同時に指定できません。
- 表紙の両面に印刷するときは、[両面：] プルダウンメニューで両面印刷を指定してください。両面印刷については、P.19「用紙の両面に印刷する」を参照してください。

章を分けて印刷する

指定したページの前に用紙を挿入します。または、指定したページを常に 1 ページ目と同じ面に印刷します。

この機能は RPCS プリンタードライバーまたはオプションの PCL 6 プリンタードライバーで使用できます。

章分けページは［項目別設定］タブの［表紙/合紙/章区切り］メニューで設定できます。印刷方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

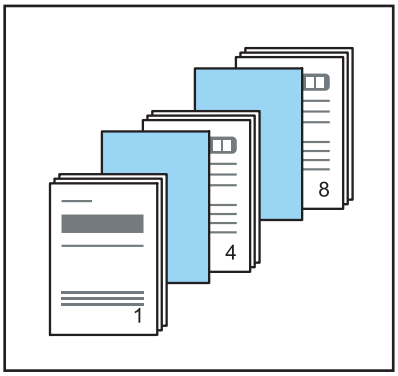
重要

- **章区切り紙用の用紙と本文印刷用の用紙は、異なるトレイにセットしてください。**

章を区切って印刷する

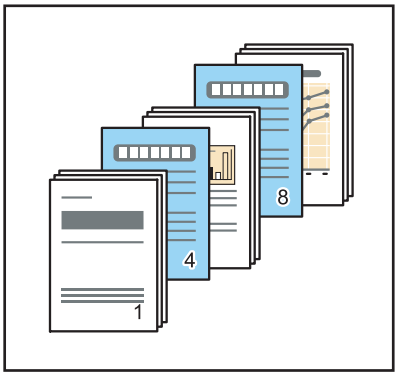
指定したページの前に用紙を挿入します。

章区切り紙に印刷しないとき



CKN113

章区切り紙に印刷するとき

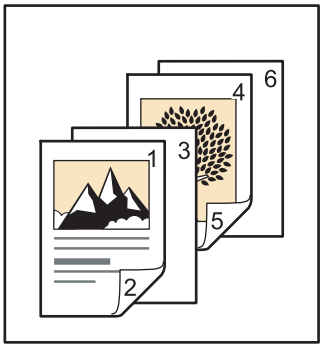


CKN112

章区切り紙は両面印刷も指定できます。

指定したページを 1 ページ目と同じ面に印刷する

両面印刷時だけ有効な機能です。



CKN114

補足

- 集約印刷と同時に指定できます。
- ページ（章）はプリンタードライバーから 20 個所まで指定できます。

合紙を挿入する

ページごとに合紙を挿入します。

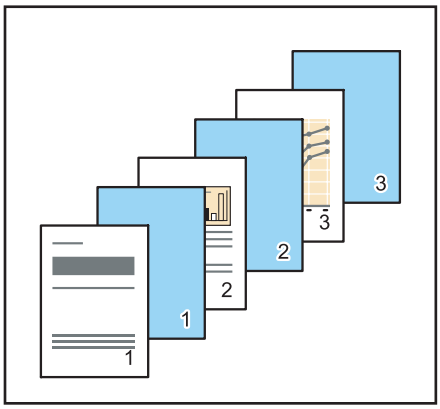
この機能は RPCS プリンタードライバーまたはオプションの PCL 6 プリンタードライバーで使用できます。

合紙は［項目別設定］タブの［表紙/合紙/章区切り］メニューで設定できます。印刷方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

重要

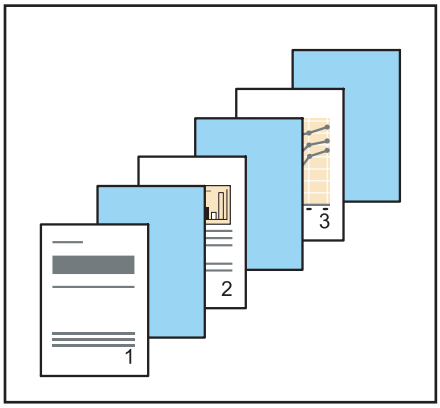
- **合紙用の用紙と本文印刷用の用紙は、異なるトレイにセットしてください。**
- **合紙用の用紙と本文印刷用の用紙は、同じサイズで同じ方向にセットしてください。**

合紙に印刷するとき



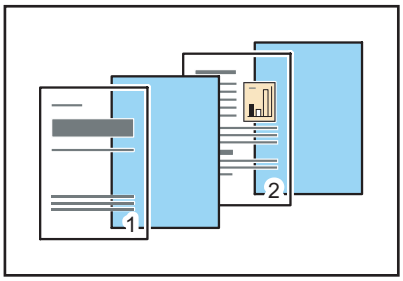
CVN005

合紙に印刷しないとき



CVN006

合紙を挿入すると、OHP フィルムの付着を防止できます。



CYD014

補足

- 表紙が指定されているときは、合紙の挿入はできません。
- 合紙を設定すると、両面印刷、製本印刷、ソート、中とじ以外のステープルは解除されます。
- 合紙と中とじステープルは同時に指定できません。
- 合紙と二つ折りは同時に指定できません。

4. プリンターの動作を設定する

操作部での、プリンターの動作の設定方法を説明します。印刷する前に設定しておくと便利な機能です。

プリンタードライバーやコマンドの設定で印刷する

本機が印刷データを受信したときに、プリンタードライバーやコマンドの設定を優先させるか、操作部の設定を優先させるか給紙トレイごとに指定できます。

操作部の設定が優先されている場合に、プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙設定と操作部の用紙設定が一致しないときは、エラーになります。

［トレイ設定選択］で［ドライバー/コマンド優先］を選択すると、本機の［用紙設定］の設定にかかわらず、プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙サイズ、用紙種類、用紙方向を適用して印刷できます。

1. 画面中央下の［ホーム］（）を押します。
2. 左にフリックし、［初期設定］アイコン（）を押します。
3. ［本体初期設定］を押します。
4. ［プリンター初期設定］を押します。
5. ［システム設定］タブを押します。
6. ［トレイ設定選択］が表示されるまで、［▼次へ］を押します。
7. ［トレイ設定選択］を押します。
8. 設定する給紙トレイを選択します。
9. ［ドライバー/コマンド優先］を押します。
10. ［設定］を押します。
11. 画面右上の［初期設定］（）を押します。
12. 画面中央下の［ホーム］（）を押します。

補足

- 設定項目については、P.153「システム設定」を参照してください。
- 手差しトレイで［ドライバー/コマンド優先］を選択したときは、本体の用紙設定で設定した用紙方向が適用されます。［用紙設定］で［自動検知］を選択するか、［用紙設定］で指定した用紙方向と手差しトレイの用紙セット方向を合わせてください。プリンタードライバーまたはコマンドで不定形サイズを指定したときは、プリンタードライバーまたはコマンドで指定した用紙方向が適用されます。

文書の取り忘れや取り違いを防止する

印刷をともなう文書を送信したときに、印刷をしないで本機に強制的に自動蓄積するか印刷を取り消すかを設定します。本機に自動蓄積したときは、文書の種類にかかわらず操作部から印刷するので、文書の取り忘れや取り違いを防止できます。

印刷をともなう文書には、通常印刷文書、試し印刷文書、保存文書があります。それぞれプリンタードライバーの「印刷方法：」メニューから指定できます。詳細は、P.87「ハードディスクに文書を蓄積して印刷する」を参照してください。

1. 画面中央下の［ホーム］（）を押します。
2. 左にフリックし、［初期設定］アイコン（）を押します。
3. ［本体初期設定］を押します。
4. ［プリンター初期設定］を押します。
5. ［システム設定］タブを押します。
6. ［印刷をともなうジョブの制限］が表示されるまで、［▼次へ］を押します。
7. ［印刷をともなうジョブの制限］を押します。
8. ［自動蓄積］または［印刷取消］を選択します。
9. ［設定］を押します。
10. 画面右上の［初期設定］（）を押します。
11. 画面中央下の［ホーム］（）を押します。

補足

- 設定項目については、P.153「システム設定」を参照してください。
- ［自動蓄積］を選択したときは、指定した文書の種類によって蓄積の方法が異なります。
  - プリンタードライバーで［通常印刷］を指定した文書は、保留印刷文書として蓄積されます。保留印刷文書の印刷については、P.94「操作部を使用して保留印刷文書を印刷する」を参照してください。
  - プリンタードライバーで［試し印刷］を指定した文書は、確認用の 1 ページ目も含めて試し印刷文書として蓄積されます。試し印刷文書の印刷については、P.88「2 部目以降を印刷する」を参照してください。
  - プリンタードライバーで［保存して印刷］を指定した文書は、保存文書として蓄積されます。保存文書の印刷については、P.97「操作部を使用して保存文書を印刷する」を参照してください。
- ［印刷取消］を選択したときは、印刷を取り消します。印刷を取り消された文書は、エラー履歴で確認できます。

エラージョブの処理方法を設定する

エラージョブを自動的に強制印刷する

プリンタードライバーから指示した給紙トレイに、条件の合う用紙サイズや用紙種類がセットされていないとき、用紙がセットされている給紙トレイから自動的に強制印刷し、本機をエラーから開放します。強制印刷できない機能を指定して印刷したときは、印刷を中止します。

1. 画面中央下の［ホーム］（）を押します。
2. 左にフリックし、［初期設定］アイコン（）を押します。
3. ［本体初期設定］を押します。
4. ［プリンター初期設定］を押します。
5. ［システム設定］タブを押します。
6. ［エラースキップ］を押します。
7. 強制印刷または印刷を中止するまでの時間を指定します。
8. ［設定］を押します。
9. 画面右上の［初期設定］（）を押します。
10. 画面中央下の［ホーム］（）を押します。

補足

- 設定項目については、P.153「システム設定」を参照してください。

エラージョブの印刷を自動的にキャンセルする

印刷エラーが発生したときに、印刷エラーが発生したジョブと、エラーが発生する前に本機が受信していたジョブの印刷を自動的に中止するかしないかを設定します。

重要

- **印刷に使用するプリンター言語が RPCS、PCL、PostScript 3、PDF、XPS のとき、この機能は有効です。**
- **以下の条件のとき、この機能は無効になります。**
  - **RHPP または RGate を使用して印刷したとき**
  - **スプール印刷が有効に設定されているとき**
  - **USB 接続など、ジョブの区切りが検知できないプロトコルを使用して印刷したとき**

- メディアプリント、蓄積文書印刷、レポート印刷、拡張機能からの印刷でエラーが発生したとき

1. 画面中央下の［ホーム］（）を押します。
2. 左にフリックし、［初期設定］アイコン（）を押します。
3. ［本体初期設定］を押します。
4. ［プリンター初期設定］を押します。
5. ［システム設定］タブを押します。
6. ［エラー発生時のジョブ自動取消］を押します。
7. ［する］を選択します。
8. ［設定］を押します。
9. 画面右上の［初期設定］（）を押します。
10. 画面中央下の［ホーム］（）を押します。

補足

- 設定項目については、P.153「システム設定」を参照してください。

エラージョブを自動的に蓄積する

エラーで印刷が中止された文書を自動的に本機に蓄積します。エラーが発生したときに、そのまま次の文書の印刷を継続できます。通常印刷文書、試し印刷文書、保存文書でこの機能を使用できます。それぞれプリンタードライバーの「印刷方法：」メニューから指定できます。詳細は、P.87「ハードディスクに文書を蓄積して印刷する」を参照してください。

本機に蓄積された文書は、操作部を使用して印刷を再開できます。詳細は、P.99「エラーで蓄積された文書を印刷する」を参照してください。

重要

- **以下のような印刷設定に関するエラーで印刷が中止されたときに、文書が自動的に蓄積されます。**
  - **印刷時に指定した用紙サイズまたは用紙種類の用紙がなくなったとき**
  - **印刷時に指定した給紙トレイが本機にセットされていないとき**
  - **プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙サイズまたは用紙種類が本機のどの給紙トレイとも一致しないとき**
  - **ステープルの針がなくなったとき**
  - **ステープルくずが満杯になったとき**
  - **パンチくずが満杯になったとき**

- **総ページ数が 2,000 ページまでの文書を 200 件まで自動で蓄積できます。**

1. **画面中央下の［ホーム］（）を押します。**
2. **左にフリックし、［初期設定］アイコン（）を押します。**
3. **［本体初期設定］を押します。**
4. **［プリンター初期設定］を押します。**
5. **［システム設定］タブを押します。**
6. **［エラージョブ蓄積・追い越し］を押します。**
7. **［する］を押します。**
8. **必要に応じて、本機がエラーを検知するページ数を変更します。**
9. **［設定］または［#］を押します。**
10. **画面右上の［初期設定］（）を押します。**
11. **画面中央下の［ホーム］（）を押します。**

補足

- 設定項目については、P.153「システム設定」を参照してください。
- 指定した文書の種類によって蓄積の方法が異なります。
  - プリンタードライバーで［通常印刷］を指定した文書は、保留印刷文書として蓄積されます。保留印刷文書の印刷については、P.94「操作部を使用して保留印刷文書を印刷する」を参照してください。
  - プリンタードライバーで［試し印刷］を指定した文書は、確認用の 1 ページ目も含めて試し印刷文書として蓄積されます。試し印刷文書の印刷については、P.88「2 部目以降を印刷する」を参照してください。
  - プリンタードライバーで［保存して印刷］を指定した文書は、保存文書として蓄積されます。保存文書の印刷については、P.97「操作部を使用して保存文書を印刷する」を参照してください。

5. 蓄積文書を印刷する

本機に蓄積された文書の印刷と管理の方法を説明します。文書の蓄積方法は、RPCS プリンタードライバーを使用したときを例に説明します。特にことわりのないかぎり、オプションの PCL 6 プリンタードライバーと PostScript 3 プリンタードライバーも操作手順は同じです。手順で説明している画面の表示はアプリケーションによって異なることがあります。

ハードディスクに文書を蓄積して印刷する

あらかじめプリンタードライバーからの印刷指示で本機のハードディスクにデータを蓄積し、操作部を使用して蓄積したデータを印刷または削除できます。

重要

- **以下の条件のとき、文書は本機に蓄積されません。蓄積されなかった文書は、エラー履歴で確認できます。**
  - **本機に蓄積した文書データの合計が 100 件に達したとき（印刷データによっては、この文書数よりも少なくなることがあります。）**
  - **1 文書の総ページ数が 2,000 ページを超えたとき**
  - **送信した文書データと本機に蓄積されている文書データとの合計が 9,000 ページを超えたとき（印刷データによっては、この文書数よりも少なくなることがあります。）**

この機能で使用できる印刷方法の種類は以下のとおりです。

- 試し印刷

  複数部数印刷するときなど、最初に 1 部だけ印刷し、その結果を確認したあとに操作部を使用して残り部数を印刷できます。いったん本機にデータを蓄積し、操作部を使用して蓄積したデータを印刷できます。内容や印刷の指定を間違えたときなどに大量のミスプリントを防止できます。設定については、P.88「試し印刷をする」を参照してください。

- 機密印刷

  ネットワークでプリンターを共有していて、他人に見られたくない文書を印刷するときなどに有効な機能です。機密印刷を使用すると、本機の操作部からパスワードを入力しないと印刷できなくなるので、他人に見られる心配がありません。設定については、P.90「機密印刷をする」を参照してください。

- 保留印刷

  本機に文書を一時的に蓄積し、必要に応じて印刷できます。複数の文書をまとめて印刷するときなどに有効です。また、文書の印刷時刻を指定できます。指定した時刻になると、自動的に印刷されます。設定については、P.93「保留文書を印刷する」を参照してください。

- 保存文書

本機に文書を蓄積し、必要に応じて印刷できます。印刷終了後も文書が消去されないので、繰り返し印刷するときなどに有効です。設定については、P.96「保存文書を印刷する」を参照してください。

補足

- 本機の主電源スイッチを切っても、蓄積された印刷文書は消去されずに残りますが、［一時置き文書自動消去設定］や［保存文書自動消去設定］が優先されます。文書の自動消去設定については、P.151「データ操作/管理」を参照してください。

試し印刷をする

1 部目を印刷する

1. 使用しているアプリケーションのメニューボタンをクリックし、［印刷］をクリックします。
2. 印刷で使用するプリンターを選択します。
3. ［詳細設定］をクリックします。
4. 「印刷方法：」プルダウンメニューから［試し印刷］を選択します。
5. ［詳細...］をクリックします。
6. 「ユーザー ID の入力：」にユーザー ID を入力します。
7. ［OK］をクリックします。
8. 必要に応じて、その他の印刷条件を設定します。
9. ［OK］をクリックします。
10. アプリケーションから印刷の指示をします。

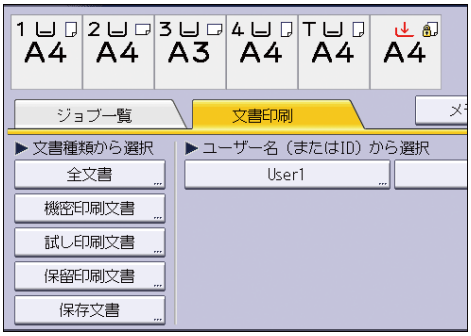
2 部目以降を印刷する

重要

- **印刷が終了すると、蓄積されていた文書は消去されます。**

1. 画面中央下の［ホーム］（）を押します。
2. ［プリンター］アイコンを押します。

3. [文書印刷] タブを押します。



4. [試し印刷文書] を押します。

5. 印刷する文書を選択します。

   文書を選択してから、[全ジョブ選択] を押すと、すべての試し印刷文書を選択できます。

6. 必要に応じて [プレビュー] を押し、文書の印刷イメージを確認します。

   プレビュー画面では、最初のページだけ表示されます。複数の文書を選択しているときは、プレビューを表示できません。

   プレビュー画面を閉じるときは、[閉じる] を押します。

7. [印刷継続] を押します。

8. 文書の印刷設定を変更するときは、[印刷詳細設定] を押して設定します。

   設定できる項目については、P.102「操作部で設定できる印刷設定の項目」を参照してください。

9. 印刷部数を変更するときはテンキーで部数を入力し、[印刷継続] を押します。

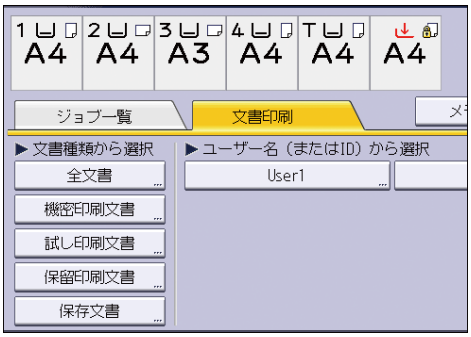
補足

- 複数の文書を選択して部数を変更すると、選択したすべての文書が変更した部数で印刷されます。部数を変更しないときは、各文書を蓄積するときに指定した部数で印刷されます。
- 2 部目以降の印刷中に印刷を中止するときは、プリンター画面で [印刷取消] または [ストップ] を押します。印刷を中止すると、本機に蓄積した文書は消去されます。
- 試し印刷文書は、Web Image Monitor でも印刷できます。詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

試し印刷文書を消去する

試し印刷の内容を確認し、2 部目以降を印刷しないときは、本機に蓄積されている文書を消去します。

1. 画面中央下の［ホーム］（）を押します。
2. ［プリンター］アイコンを押します。
3. ［文書印刷］タブを押します。



4. ［試し印刷文書］を押します。
5. 消去する文書を選択します。

   文書を選択してから、［全ジョブ選択］を押すと、すべての試し印刷文書を選択できます。
6. ［消去］を押します。
7. ［消去する］を押します。

補足

- 試し印刷文書は、Web Image Monitor でも消去できます。詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

機密印刷をする

機密印刷文書を本機に蓄積する

1. 使用しているアプリケーションのメニューボタンをクリックし、［印刷］をクリックします。
2. 印刷で使用するプリンターを選択します。
3. ［詳細設定］をクリックします。
4. 「印刷方法：」プルダウンメニューから［機密印刷］を選択します。
5. ［詳細...］をクリックします。
6. 「ユーザー ID の入力：」にユーザー ID を入力し、「パスワード：」にパスワードを入力します。

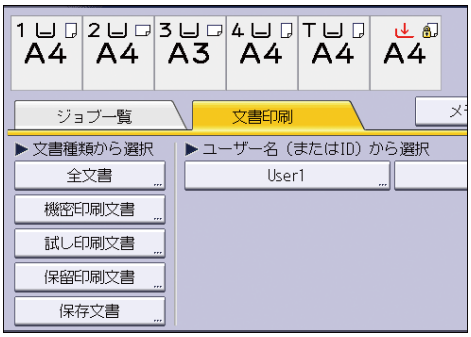
7. [OK] をクリックします。
8. 必要に応じて、その他の印刷条件を設定します。
9. [OK] をクリックします。
10. アプリケーションから印刷の指示をします。

操作部を使用して機密印刷文書を印刷する

重要

- 印刷が終了すると、蓄積されていた文書は消去されます。

1. 画面中央下の［ホーム］（）を押します。
2. ［プリンター］アイコンを押します。
3. ［文書印刷］タブを押します。



4. ［機密印刷文書］を押します。
5. 印刷する文書を選択します。

   文書を選択してから、［全ジョブ選択］を押すと、すべての機密印刷文書を選択できます。
6. 必要に応じて［プレビュー］を押し、文書の印刷イメージを確認します。

   テンキーでパスワードを入力し、［実行］を押します。

   プレビュー画面では、最初のページだけ表示されます。複数の文書を選択しているときは、プレビューを表示できません。

   プレビュー画面を閉じるときは、［閉じる］を押します。
7. ［印刷継続］を押します。
8. テンキーでパスワードを入力し、［実行］を押します。
9. 文書の印刷設定を変更するときは、［印刷詳細設定］を押して設定します。

   設定できる項目については、P.102「操作部で設定できる印刷設定の項目」を参照してください。

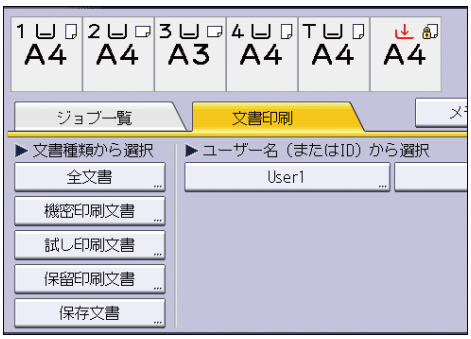
10. 印刷部数を変更するときはテンキーで部数を入力し、［印刷継続］を押します。

補足

- 複数の文書を選択したときは、パスワードが一致した文書が印刷の対象です。確認画面には、印刷される文書数が表示されます。
- 複数の文書を選択して部数を変更すると、選択したすべての文書が変更した部数で印刷されます。部数を変更しないときは、各文書を蓄積するときに指定した部数で印刷されます。
- 印刷開始後に印刷を中止するときは、プリンター画面で［印刷取消］または［ストップ］を押します。印刷を中止すると、本機に蓄積した文書は消去されます。
- 機密印刷文書は、Web Image Monitor でも印刷できます。詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

機密印刷文書を消去する

1. 画面中央下の［ホーム］（）を押します。
2. ［プリンター］アイコンを押します。
3. ［文書印刷］タブを押します。



4. ［機密印刷文書］を押します。
5. 消去する文書を選択します。

   文書を選択してから、［全ジョブ選択］を押すと、すべての機密印刷文書を選択できます。
6. ［消去］を押します。
7. テンキーでパスワードを入力し、［実行］を押します。
8. ［消去する］を押します。

補足

- 複数の文書を選択したときは、パスワードが一致した文書が消去の対象です。確認画面には、消去される文書数が表示されます。
- 機密印刷文書は、Web Image Monitor でも消去できます。詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

保留文書を印刷する

保留印刷文書を本機に蓄積する

1. 使用しているアプリケーションのメニューボタンをクリックし、[印刷] をクリックします。
2. 印刷で使用するプリンターを選択します。
3. [詳細設定] をクリックします。
4. 「印刷方法：」プルダウンメニューから [保留印刷] を選択します。
5. [詳細...] をクリックします。
6. 「ユーザー ID の入力：」にユーザー ID を入力します。

   必要に応じて、ファイル名も設定できます。
7. 文書の印刷時刻を指定するときは、[印刷時刻指定] チェックボックスにチェックを付け、時刻を指定します。

   指定できる印刷時刻は 24 時間形式です。
8. [OK] をクリックします。
9. 必要に応じて、その他の印刷条件を設定します。
10. [OK] をクリックします。
11. アプリケーションから印刷の指示をします。

補足

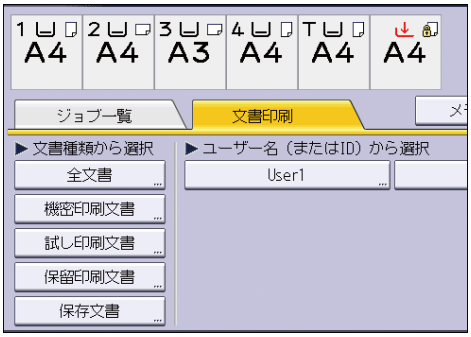
- 指定した印刷時刻と本機のシステム時計の時刻とに数分の差しかないときは、すぐに印刷されることがあります。
- 本機の主電源スイッチが切れているときは、指定した時刻に文書が印刷されません。指定時刻を過ぎた文書を印刷するときは、あらかじめ操作部の [プリンター初期設定] にある [主電源 Off 時の未処理文書] を [主電源 On で印刷する] に設定してください。詳細は、P.153「システム設定」を参照してください。
- 操作部の画面にエラーメッセージが表示されているときは、指定した時刻であっても文書が印刷されません。

操作部を使用して保留印刷文書を印刷する

重要

- **印刷が終了すると、蓄積されていた文書は消去されます。**

1. **画面中央下の［ホーム］（）を押します。**
2. **［プリンター］アイコンを押します。**
3. **［文書印刷］タブを押します。**



4. **［保留印刷文書］を押します。**
5. **印刷する文書を選択します。**

   文書を選択してから、［全ジョブ選択］を押すと、すべての保留印刷文書を選択できます。

6. **必要に応じて［プレビュー］を押し、文書の印刷イメージを確認します。**

   プレビュー画面では、最初のページだけ表示されます。複数の文書を選択しているときは、プレビューを表示できません。

   プレビュー画面を閉じるときは、［閉じる］を押します。

7. **［印刷継続］を押します。**
8. **文書の印刷設定を変更するときは、［印刷詳細設定］を押して設定します。**

   設定できる項目については、P.102「操作部で設定できる印刷設定の項目」を参照してください。

9. **印刷部数を変更するときはテンキーで部数を入力し、［印刷継続］を押します。**

補足

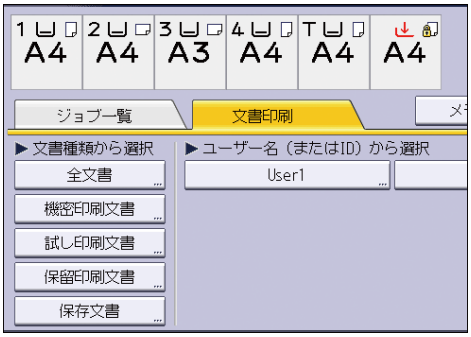
- 複数の文書を選択して部数を変更すると、選択したすべての文書が変更した部数で印刷されます。部数を変更しないときは、各文書を蓄積するときに指定した部数で印刷されます。
- 印刷時刻が指定された保留印刷文書を指定時刻になる前に印刷するときは、操作部を使用して印刷します。

- 印刷開始後に印刷を中止するときは、プリンター画面で［印刷取消］または［ストップ］を押します。印刷を中止すると、本機に蓄積した文書は消去されます。
- 保留印刷文書は、Web Image Monitor でも印刷できます。詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

保留印刷文書の指定時刻を変更する

本機に蓄積された保留印刷文書の指定時刻は、操作部を使用して変更できます。保留印刷文書の指定時刻を設定したり解除したりできます。

1. 画面中央下の［ホーム］（）を押します。
2. ［プリンター］アイコンを押します。
3. ［文書印刷］タブを押します。



4. ［保留印刷文書］を押します。
5. 印刷時刻を変更する保留印刷文書を選択します。
6. ［印刷時刻指定］を押します。
7. テンキーで印刷時刻を入力します。

   印刷時刻の指定を解除するときは、［解除］を押します。
8. ［OK］または［#］を押します。

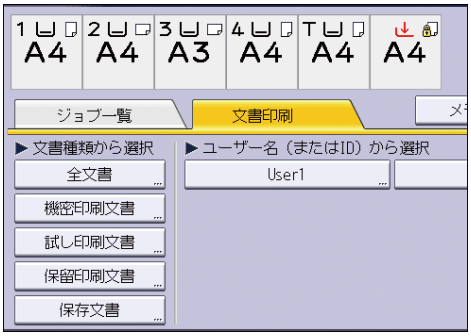
補足

- 保留印刷文書の印刷時刻は、Web Image Monitor でも変更、追加、消去できます。詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

保留印刷文書を消去する

1. 画面中央下の［ホーム］（）を押します。
2. ［プリンター］アイコンを押します。

3. [文書印刷] タブを押します。



4. [保留印刷文書] を押します。
5. 消去する文書を選択します。

   文書を選択してから、[全ジョブ選択] を押すと、すべての保留印刷文書を選択できます。
6. [消去] を押します。
7. [消去する] を押します。

補足

- 保留印刷文書は、Web Image Monitor でも消去できます。詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

保存文書を印刷する

保存文書を本機に蓄積する

1. 使用しているアプリケーションのメニューボタンをクリックし、[印刷] をクリックします。
2. 印刷で使用するプリンターを選択します。
3. [詳細設定] をクリックします。
4. 「印刷方法：」プルダウンメニューから保存文書の印刷方法を選択します。

   保存文書では 4 つの印刷方法を選択できます。

   [プリンターに保存（共有）] と [保存して印刷（共有）] を使用するときは、あらかじめ認証を有効にします。この機能は RPCS プリンタードライバーまたはオプションの PCL 6 プリンタードライバーで使用できます。詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

   - プリンターに保存

本機に文書を蓄積し、あとから操作部を使用して印刷します。

- 保存して印刷

  本機に文書を蓄積するのと同時に印刷します。

- プリンターに保存（共有）

  本機に文書を蓄積し、あとから操作部を使用して印刷します。文書作成者のほかに、印刷権限を持つユーザーが印刷できます。

- 保存して印刷（共有）

  本機に文書を蓄積するのと同時に印刷します。文書作成者のほかに、印刷権限を持つユーザーが印刷できます。

5. [詳細...] をクリックします。
6. 「ユーザー ID の入力：」にユーザー ID を入力します。

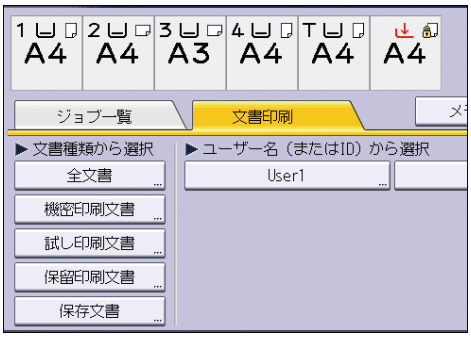
   必要に応じて、ファイル名とパスワードも設定できます。
7. [OK] をクリックします。
8. 必要に応じて、その他の印刷条件を設定します。
9. [OK] をクリックします。
10. アプリケーションから印刷の指示をします。

操作部を使用して保存文書を印刷する

重要

- **印刷が終了しても、蓄積した保存文書は消去されません。文書を消去する方法は、P.98「保存文書を消去する」を参照してください。**

1. 画面中央下の［ホーム］（）を押します。
2. ［プリンター］アイコンを押します。
3. ［文書印刷］タブを押します。



4. ［保存文書］を押します。

5. 印刷する文書を選択します。

文書を選択してから、[全ジョブ選択]を押すと、すべての保存文書を選択できます。

6. 必要に応じて［プレビュー］を押し、文書の印刷イメージを確認します。

文書にパスワードが設定されているときは、パスワード入力の画面が表示されます。パスワードを入力します。

プレビュー画面では、最初のページだけ表示されます。複数の文書を選択しているときは、プレビューを表示できません。

プレビュー画面を閉じるときは、[閉じる]を押します。

7. [印刷継続]を押します。

文書にパスワードが設定されているときは、パスワード入力の画面が表示されます。パスワードを入力します。

複数の文書を選択し、パスワード付きの文書が含まれていたときは、パスワードが一致した文書と、パスワードが設定されていない文書が印刷の対象です。確認画面には、印刷される文書数が表示されます。

8. 文書の印刷設定を変更するときは、［印刷詳細設定］を押して設定します。

設定できる項目については、P.102「操作部で設定できる印刷設定の項目」を参照してください。

9. 印刷部数を変更するときはテンキーで部数を入力し、［印刷継続］を押します。

補足

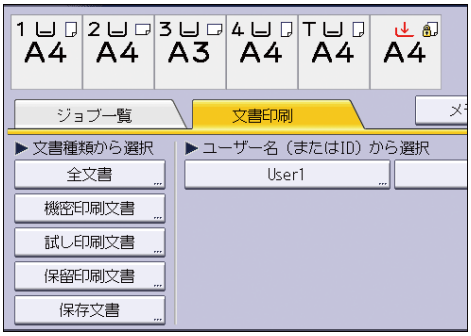
- 複数の文書を選択して部数を変更すると、選択したすべての文書が変更した部数で印刷されます。部数を変更しないときは、各文書を蓄積するときに指定した部数で印刷されます。
- 印刷開始後に印刷を中止するときは、プリンター画面で［印刷取消］または［ストップ］を押します。[印刷取消]を押しても、蓄積した保存文書は消去されません。
- 保存文書は、Web Image Monitor でも印刷できます。詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

保存文書を消去する

1. 画面中央下の［ホーム］（ ）を押します。

2. [プリンター]アイコンを押します。

3. [文書印刷] タブを押します。



4. [保存文書] を押します。

5. 消去する文書を選択します。

   文書を選択してから、[全ジョブ選択] を押すと、すべての保存文書を選択できます。

6. [消去] を押します。

   文書にパスワードが設定されているときは、パスワード入力の画面が表示されます。パスワードを入力します。

   複数の文書を選択し、パスワード付きの文書が含まれていたときは、パスワードが一致した文書と、パスワードが設定されていない文書が消去の対象です。確認画面には、消去される文書数が表示されます。

7. [消去する] を押します。

補足

- 保存文書は、Web Image Monitor でも消去できます。詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

エラーで蓄積された文書を印刷する

操作部の［プリンター初期設定］にある［エラージョブ蓄積・追い越し］により、文書が本機に蓄積されたときは、操作部を使用して印刷します。

［エラージョブ蓄積・追い越し］については、P.84「エラージョブを自動的に蓄積する」を参照してください。

1. 画面中央下の［ホーム］（）を押します。
2. [プリンター] アイコンを押します。

3. [文書印刷] タブを押します。



4. 印刷する文書種類を選択します。

5. 印刷する文書を選択します。

文書を選択してから、[全ジョブ選択] を押すと、同じ種類の文書をすべて選択できます。

6. 必要に応じて [プレビュー] を押し、文書の印刷イメージを確認します。

文書にパスワードが設定されているときは、パスワード入力の画面が表示されます。パスワードを入力します。

プレビュー画面では、最初のページだけ表示されます。複数の文書を選択しているときは、プレビューを表示できません。

プレビュー画面を閉じるときは、[閉じる] を押します。

7. [印刷継続] を押します。

文書にパスワードが設定されているときは、パスワード入力の画面が表示されます。パスワードを入力します。

複数の文書を選択した場合に、パスワード付きの文書が含まれていたときは、パスワードが一致した文書とパスワードが設定されていない文書が印刷の対象です。確認画面には、印刷される文書数が表示されます。

8. 印刷部数を変更するときはテンキーで部数を入力し、[印刷継続] を押します。

補足

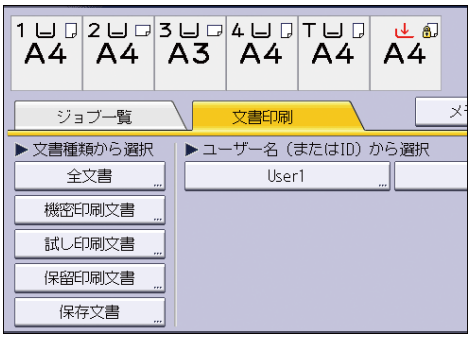
- 複数の文書を選択して部数を変更すると、選択したすべての文書が変更した部数で印刷されます。部数を変更しないときは、各文書を蓄積するときに指定した部数で印刷されます。
- 印刷開始後に印刷を中止するときは、プリンター画面で [印刷取消] または [ストップ] を押します。
- 本機に蓄積された文書は、Web Image Monitor でも印刷を再開できます。詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

ユーザー ID から印刷する

重要

- **印刷が終了すると、試し印刷文書、機密印刷文書、保留印刷文書は消去されます。保存文書は、消去されません。保存文書を消去する方法は P.98「保存文書を消去する」を参照してください。**

1. **画面中央下の［ホーム］（）を押します。**
2. **［プリンター］アイコンを押します。**
3. **［文書印刷］タブを押します。**



4. **印刷するユーザー ID を選択します。**

   複数のユーザー ID を同時に選択できません。

5. **印刷する文書を選択します。**

   文書を選択してから、［全ジョブ選択］を押すと、同じ種類の文書をすべて選択できます。

6. **必要に応じて［プレビュー］を押し、文書の印刷イメージを確認します。**

   文書にパスワードが設定されているときは、パスワード入力の画面が表示されます。パスワードを入力します。

   プレビュー画面では、最初のページだけ表示されます。複数の文書を選択しているときは、プレビューを表示できません。

   プレビュー画面を閉じるときは、［閉じる］を押します。

7. **［印刷継続］を押します。**

   文書にパスワードが設定されているときは、パスワード入力の画面が表示されます。パスワードを入力します。

   複数の文書を選択した場合に、パスワード付きの文書が含まれていたときは、パスワードが一致した文書とパスワードが設定されていない文書が印刷の対象です。確認画面には、印刷される文書数が表示されます。

8. 文書の印刷設定を変更するときは、［印刷詳細設定］を押して設定します。

設定できる項目については、P.102「操作部で設定できる印刷設定の項目」を参照してください。

9. 印刷部数を変更するときはテンキーで部数を入力し、［印刷継続］を押します。

補足

- 複数の文書を選択して部数を変更すると、選択したすべての文書が変更した部数で印刷されます。部数を変更しないときは、各文書を蓄積するときに指定した部数で印刷されます。
- 印刷開始後に印刷を中止するときは、プリンター画面で［印刷取消］または［ストップ］を押します。

操作部で設定できる印刷設定の項目

本機に蓄積した文書は、操作部の印刷詳細設定画面で印刷の設定を変更できます。設定できる項目は以下のとおりです。

- 給紙トレイ

  印刷に使用する給紙トレイを選択します。

- カラー選択

  プリンタードライバーでカラー印刷を指示した文書を、カラーで印刷するか白黒で印刷するかを選択します。

- 部数

  テンキーを押して、印刷部数を指定します（1～999）。

編集タブ

- 両面

  両面印刷をするときに、とじ方向を選択します。

仕上げタブ

- ソート/スタック

  2 部以上印刷するときに、1 部ごとに印刷（ソート）するかページごとに印刷するかを選択します。

- ステープル/パンチ

  オプションのフィニッシャーを装着しているときに、ステープルやパンチを設定できます。自動用紙選択で印刷するときは、意図しない位置にステープルやパンチされることがあります。

詳細タブ

- トナーセーブ

通常よりも薄く印刷し、トナーを節約するかしないかを選択します。この設定を有効にすると、印刷品質が低下することがあります。

- 180 度回転

  用紙の向きに対し、画像の向きを 180 度回転して印刷するかしないかを設定します。

補足

- ［印刷をともなうジョブの制限］または［エラージョブ蓄積・追い越し］で、自動的に蓄積された文書は、印刷詳細設定画面で設定を変更できません。［印刷をともなうジョブの制限］については、P.82「文書の取り忘れや取り違いを防止する」を参照してください。［エラージョブ蓄積・追い越し］については、P.84「エラージョブを自動的に蓄積する」を参照してください。

保存文書にアクセス権を設定する

プリンタードライバーからの印刷指示で本機に蓄積された保存文書のアクセス権は、Web Image Monitor から設定できます。

1. **Web Image Monitor に管理者モードでログインします。**

   ログイン方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「Web ブラウザーを使用する」を参照してください。

2. **メニューエリアの［文書操作］から［プリンター文書印刷］をクリックします。**
3. **アクセス権を変更する保存文書の［詳細情報］（）アイコンをクリックします。**
4. **「アクセス権」の［変更］をクリックします。**

   パスワードの確認画面が表示されたときは、パスワードを入力します。

5. **ユーザーのアクセス権を選択します。**

   アクセス権は、［閲覧］、［編集］、［編集/削除］、［フルコントロール］のいずれかを選択します。

   全ユーザーに設定するときは、「公開」にある「すべてのユーザー」の中からアクセス権を選択します。

6. **［OK］をクリックします。**
7. **［ログアウト］をクリックします。**
8. **Web Image Monitor を終了します。**

補足

- 選択できるアクセス権については、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

ドキュメントボックスに文書を蓄積して印刷する

ドキュメントボックスを使用するとパソコンで作成した原稿を本機のハードディスクに蓄積し、本機の操作だけで必要なときに必要な条件で印刷できます。

重要

- **ドキュメントボックスにデータを送っているときは、途中でキャンセルしないでください。正しくキャンセルされないことがあります。誤ってキャンセルしたときは、送信したデータを本機の操作部で消去してください。ドキュメントボックスに蓄積した文書を消去する方法は、『コピー/ドキュメントボックス』「蓄積した文書を消去する」または Web Image Monitor のヘルプを参照してください。**
- **ドキュメントボックスに蓄積できる文書数は 3,000 件までです。蓄積文書が 3,000 件に達すると新しい文書が蓄積されなくなります。ただし、蓄積文書数が 3,000 件に達しないときでも、以下の条件のとき、新しい文書は蓄積されません。**
  - **1 文書の総ページ数が 2,000 ページを超えるとき**
  - **送信した印刷データと本機に蓄積されている文書との合計が 9,000 ページを超えるとき（印刷データによっては、この文書数よりも少なくなることがあります。）**
  - **ハードディスクの容量がなくなったとき**
- **工場出荷時の設定では、ドキュメントボックスに蓄積された文書は、蓄積してから 3 日（72 時間）後に消去されます。ドキュメントボックスに文書を蓄積したあとも原稿を保管することをお勧めします。**

パソコンで作成したデータをドキュメントボックスに送ります。ユーザー ID などの設定は、使用する OS やプリンタードライバーによって異なります。

以下のプリンタードライバーを使用できます。

Windows

- RPCS（標準）
- PCL 6、PostScript 3（オプション）

OS X

- PostScript 3（オプション）

補足

- 不要になった文書はできるだけ消去してください。ドキュメントボックスに蓄積した文書を消去する方法は、『コピー/ドキュメントボックス』「蓄積した文書を消去する」または Web Image Monitor のヘルプを参照してください。
- OS X での設定については、P.145「ドキュメントボックス」を参照してください。

ドキュメントボックスに文書を蓄積する

重要

- **ドキュメントボックス以外の機能でハードディスクを使用しているときは、規定の文書数に達する前に蓄積できなくなることがあります。**

1. 使用しているアプリケーションのメニューボタンをクリックし、[印刷] をクリックします。
2. 印刷で使用するプリンターを選択します。
3. [詳細設定] をクリックします。
4. 「印刷方法：」プルダウンメニューから [ドキュメントボックス] を選択します。
5. [詳細...] をクリックします。
6. 必要に応じてユーザー ID、ファイル名、パスワードを入力します。

   RPCS プリンタードライバーまたはオプションの PCL 6 プリンタードライバーを使用するときは、ユーザー名も入力できます。
7. 「フォルダー番号：」ボックスで文書を蓄積するフォルダーの番号を指定します。

   「フォルダー番号：」ボックスで 0 を指定したときは、共有フォルダーに保存されます。
8. フォルダーにパスワードが設定されているときは、「フォルダーパスワード：」ボックスにパスワードを入力します。
9. [OK] をクリックします。
10. 必要に応じて、その他の印刷条件を設定します。
11. [OK] をクリックします。
12. アプリケーションから印刷の指示をします。

補足

- ドキュメントボックスに蓄積した文書は操作部を使用して印刷します。詳細は、『コピー/ドキュメントボックス』「蓄積した文書を印刷する」を参照してください。

ドキュメントボックスに蓄積された文書の管理

Ridoc Desk Navigator や Web Image Monitor を使用すると、本機のドキュメントボックスに蓄積されている文書をパソコンから確認できます。

補足

- Ridoc Desk Navigator の操作方法は、Ridoc Desk Navigator のヘルプを参照してください。
- Web Image Monitor の操作方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「Web ブラウザーを使用する」または Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

6. 外部メディアを接続して印刷する

本機に接続した外部メディアやデジタルカメラから直接印刷する機能について説明します。

メディアスロットから直接印刷する（メディアプリント）

⚠注意



- SD カード、USB メモリーは、子供の手に触れないようにしてください。もし子供が誤って SD カード、USB メモリーを飲み込んだときは、直ちに医師の診断を受けてください。

外部メディア（USB メモリーまたは SD カード）を本機に接続して、外部メディアの文書を直接印刷できます。

JPEG、TIFF、PDF、または XPS 形式の文書を印刷できます。

コンピューターを使用しないで、簡単に印刷できる便利な機能です。

本機能は、メディアプリント＆スキャン機能でも使用できます。メディアプリント＆スキャン機能の使いかたについては、P.182「外部メディアからファイルを印刷する」を参照してください。

補足

- PDF ファイルのサイズが大きいときは、直接印刷できないことがあります。
- PDF ダイレクト印刷中に PDF ファイルの送信が取り消されるときは、Acrobat Reader などの PDF ビューワーからプリンタードライバーを使用し、印刷してください。

印刷できるファイル形式

JPEG 形式

- Exif バージョン 1.0 以降の JPEG ファイルに対応しています。

TIFF 形式

- 以下の形式の TIFF ファイルに対応しています：無圧縮の TIFF ファイル、または MH、MR、MMR 形式で圧縮された TIFF ファイル。

PDF 形式

- Adobe 純正の PDF に対応しています。
- PDF バージョン 1.7（Acrobat 8.0 互換）までの PDF ファイルに対応しています。

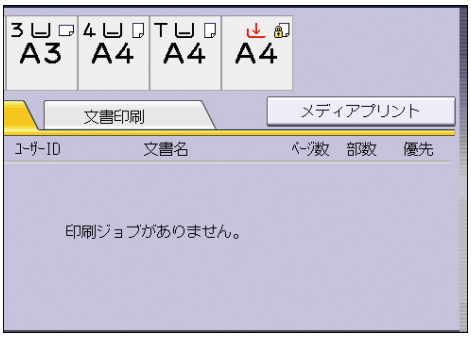
- PDF バージョン 1.5 の固有機能である Crypt Filter や、8 コンポーネントを超える DeviceN のカラースペースには対応していません。
- PDF バージョン 1.6 の固有機能であるウォーターマーク注釈や、バージョン 1.6 で機能拡張されたオプショナルコンテンツには対応していません。
- PDF バージョン 1.7 の固有機能である AcroForm を使用している PDF ファイルには対応していません。

XPS 形式

- すべての形式の XPS ファイルに対応しています。

メディアプリント機能で印刷する

1. **画面中央下の［ホーム］（）を押します。**
2. **［プリンター］アイコンを押します。**
3. **［メディアプリント］を押します。**



4. **外部メディアをメディアスロットに差し込みます。**

   外部メディアの取り付けかたについては、『本機をお使いになる方へ』「外部メディアを取り付ける/取り外す」を参照してください。

5. **メディアの一覧から、印刷する文書が保存されている外部メディアを選択します。**
6. **印刷する文書を選択します。**

   同じフォルダーに保存されている同じファイル形式の文書は、複数同時に選択できます。

7. **必要に応じて［印刷詳細設定］を押し、印刷の設定をします。**

   機能によっては同時に設定できないことがあります。

   設定が完了したら［OK］を押します。

8. **必要に応じて［プレビュー］を押し、文書の印刷イメージを確認します。**

   パスワードで保護された PDF を印刷するときは、パスワードを入力します。

プレビュー画面では、最初のページだけ表示されます。複数の文書を選択しているときは、プレビューを表示できません。

プレビュー画面を閉じるときは、［閉じる］を押します。

9. ［印刷開始］または［スタート］を押して、印刷を開始します。

パスワードで保護された PDF を印刷するときは、パスワードを入力します。

10. 印刷が終了したら、［メディア選択画面へ戻る］を押します。

11. 外部メディアを取り外します。

外部メディアの取り外しかたについては、『本機をお使いになる方へ』「外部メディアを取り付ける/取り外す」を参照してください。

補足

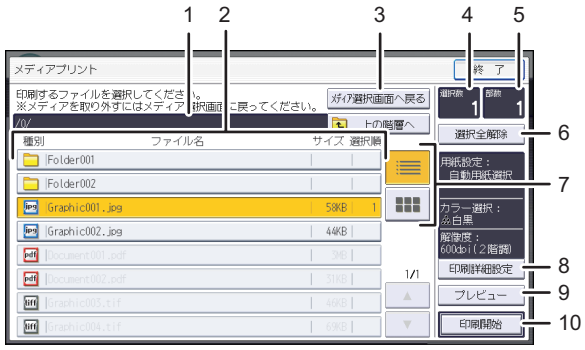
- セキュリティーの設定によっては、［メディアプリント］が画面に表示されないことがあります。詳細は、『セキュリティーガイド』「メディアスロットへのアクセスを制限する」を参照してください。
- 異なるファイル形式の文書は、同時に選択できません。
- ファイルサイズが 1GB を超える文書は印刷できません。
- サイズの合計が 1GB 以内であれば、最大 999 の文書を同時に選択できます。
- 白黒に見える文書でも、カラーで印刷されることがあります。確実に白黒で印刷するときは、白黒印刷を指定してから印刷してください。
- JPEG 形式の文書を選択しているときは、用紙サイズの自動選択ができません。
- JPEG 形式または TIFF 形式のファイルを選択しているときは製本印刷できません。
- 外部メディアを複数の領域（パーティション）に分割しているときは、先頭のパーティションのデータが読み込まれます。
- メディアスロットに SD カードを差している間は、メディアアクセスランプが点灯または点滅します。
- メディアアクセスランプが点滅している間は、SD カードを取り外さないでください。

メディアプリント画面

メディアプリント画面では、外部メディアに保存されている文書をリスト表示かサムネール表示で確認できます。

補足

- メディアプリント画面の表示方法は、P.108「メディアプリント機能で印刷する」の手順 1〜3 を参照してください。



CVN009

1. **現在のフォルダー**

   表示されているフォルダーの場所を表示します。上の階層のフォルダーに戻るときは、[上の階層へ] を押します。

2. **文書/フォルダー一覧**

   印刷する文書やフォルダーを選択します。必要に応じて、[▲] [▼] で画面をスクロールします。文書の数によって、最大 999 ページ分の画面をスクロールできます。

   文書の形式、名前、サイズを表示します。複数の文書を選択しているときは、選択された順番も表示します。

3. **[メディア選択画面へ戻る]**

   メディア選択画面に表示を切り替えます。

4. **選択数**

   選択した文書の数を表示します（1～999）。

5. **部数**

   テンキーを押して、印刷部数を指定します（1～999）。

6. **[選択全解除]**

   文書の選択をすべて解除します。

7. **リスト/サムネール**

   一覧画面をリスト表示とサムネール表示で切り替えます。

8. **[印刷詳細設定]**

   印刷の詳細設定をします。

9. **[プレビュー]**

   選択した文書の 1 ページ目の印刷イメージを表示します。イメージ画像を拡大、縮小表示したり、表示位置を移動したりできます。

10. **[印刷開始]**

    選択した文書を印刷します。

補足

- 本機は、合計 7992 までの外部メディア内のファイルやフォルダーを表示できます。
- 外部メディア内のファイル名とフォルダー名には、255 バイトまで使用できます。255 バイトを超えると文字化けすることがあります。本機が正しく表示できない文字は、ファイル名に使用できません。
- Exif 規格と DCF 規格準拠の JPEG 形式のファイルはサムネールを表示できます。その他のファイルはアイコンが表示されます。
- 印刷できる用紙サイズについては、『本機をお使いになる方へ』「セットできる用紙サイズ、種類」を参照してください。
- 不定形サイズの PDF ファイルは印刷できないことがあります。
- 印刷設定は、ファイルの選択をすべて解除するまで保持されます。

デジタルカメラから直接印刷する（PictBridge）

本機と PictBridge 対応のデジタルカメラを USB ケーブルで接続し、デジタルカメラから操作すると、撮影した画像を直接印刷できます。

重要

- **この機能を使用するために必要なオプションについては、『本機をお使いになる方へ』「オプションが必要な機能一覧」を参照してください。**

PictBridge 使用時の注意

- 使用するデジタルカメラが、PictBridge 対応であることを確認してください。
- 本機との接続には、デジタルカメラに付属の USB ケーブルを使用してください。
- データの送信中に USB ケーブルを抜かないでください。正しく印刷されないことがあります。
- 1 回の印刷で送信できる画像枚数は 999 枚までです。1,000 枚以上の枚数を送信したときはデジタルカメラ側にエラーを返し、印刷を中止します。
- 1 回の印刷で指定できる部数はデジタルカメラの仕様に依存します。詳細は、デジタルカメラの使用説明書を参照してください。
- 印刷条件はデジタルカメラ側で設定するため、使用するデジタルカメラによって設定できる項目が異なります。詳細は、デジタルカメラの使用説明書を参照してください。

PictBridge 機能で印刷する

1. **本機の電源と使用するデジタルカメラの電源が入っていることを確認します。**
2. **本機の USB ホストインターフェースに USB ケーブルを接続し、デジタルカメラと接続します。**

   USB ホストインターフェースで接続するときは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「USB ホストインターフェースに接続する（RICOH MP C3504/C3004/C2504 シリーズ）」または「USB ホストインターフェースに接続する（RICOH MP C6004/C5504/C4504 シリーズ）」を参照してください。
3. **デジタルカメラから、印刷する画像の選択と印刷条件の設定をします。**
4. **デジタルカメラで設定した内容を本機に送信し、印刷します。**

補足

- 使用するデジタルカメラによっては、PictBridge を使用するために手動で設定が必要です。詳細は、デジタルカメラの使用説明書を参照してください。
- 印刷条件はデジタルカメラ側で設定するため、使用するデジタルカメラによって設定できる項目が異なります。詳細は、デジタルカメラの使用説明書を参照してください。

PictBridge を終了する

重要

- **データの送信中に USB ケーブルを抜かないでください。正しく印刷されないことがあります。**

1. **本機の操作部が［印刷できます］の状態になっていることを確認します。**
2. **本機に接続されている USB ケーブルを抜きます。**

対応機能一覧

本機に対応している PictBridge の印刷機能を紹介します。

使用できる設定項目は以下のとおりです。

- 単一画像印刷
- 任意選択画像印刷
- インデックス印刷
- 全画像印刷
- トリミング
- 日付/ファイル名印刷
- 用紙サイズ
- 画像印刷サイズ
- 集約
- 両面印刷
- 印刷品質
- カラーマッチング
- 紙種
- 帳票印刷
- トナーセーブ

- カメラメモ出力

補足

- 本機では以下の設定項目には対応していません。
  - DPOF 印刷
  - フチなし印刷
- 使用するデジタルカメラによって印刷の機能名や設定できる項目が異なることがあります。詳細は、デジタルカメラの使用説明書を参照してください。

インデックス印刷

画像のインデックスを作成します。

A3

横コマ数×縦コマ数	用紙の向き
12×16	タテ

A4

横コマ数×縦コマ数	用紙の向き
8×12	タテ
12×8	ヨコ

A5

横コマ数×縦コマ数	用紙の向き
5×8	タテ
8×5	ヨコ

$8^{1}/_{2}$×11

横コマ数×縦コマ数	用紙の向き
8×10	タテ
10×8	ヨコ

B4

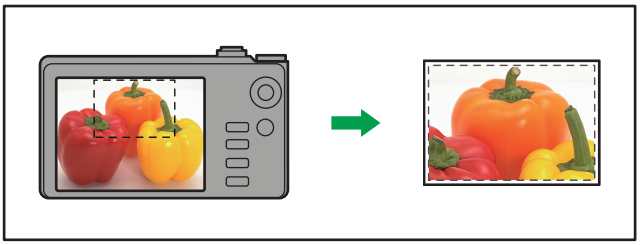
横コマ数×縦コマ数	用紙の向き
10×14	タテ

補足

- インデックス印刷は、指定されたサイズの用紙がトレイにセットされている向きによって印刷結果が異なります。
- 使用するデジタルカメラによっては、改ページが入ることがあります。
- 各用紙サイズでのコマ数は固定です。
- 本機の用紙サイズや用紙種類の設定については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「用紙設定」を参照してください。

トリミング

デジタルカメラで指定されたトリミング領域だけを印刷します。

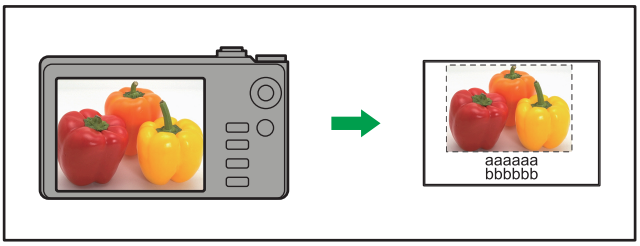


CKN097

点線はトリミング領域を表しています。

日付/ファイル名印刷

画像の下に日付やファイル名を付けて印刷します。



CKN098

「aaaaaa」はファイル名を、「bbbbbb」は日付を表しています。

用紙サイズ

デジタルカメラより指定された用紙サイズを使用して印刷します。

用紙サイズ	サイズ
2L（5×7）	178×127mm

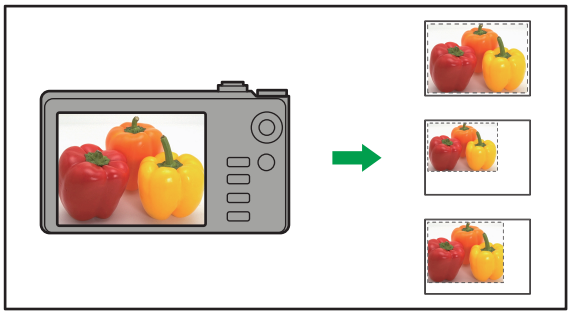
用紙サイズ	サイズ
郵便はがき	148×100mm
100×150mm	150×100mm
4×6	152.4×101.6mm
8×10	254×203.2mm
$8^1/_2$×11	279.4×216mm
11×17	431.8×279.4mm
A3	420×297mm
A4	297×210mm
A5	210×148mm
A6	148×105mm
B4	364×257mm
B5	257×182mm
B6	182×128mm

補足

- 2L（5×7）、100×150mm、4×6、8×10 については不定形サイズを指定してください。
- 本機の用紙サイズの設定については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「用紙設定」を参照してください。

画像印刷サイズ

デジタルカメラで指定された画像サイズになるように、用紙に印刷します。



CKN099

点線はカメラで指定された画像サイズを表しています。

画像印刷サイズで指定できるサイズは下表のとおりです。

固定サイズ

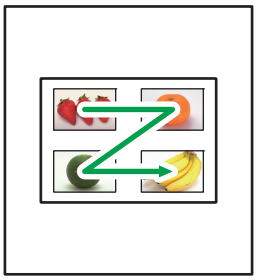
- 3.25×2.5
- 5×3.5
- 6×4
- 7×5
- 10×8
- 254×178mm
- 110×74mm
- 89×55mm
- 148×100mm
- 8×6cm
- 10×7cm
- 13×9cm
- 15×10cm
- 18×13cm
- 21×15cm
- 24×18cm

補足

- 指定された固定サイズが用紙サイズよりも大きいときはエラーになります。

集約

指定された用紙に、複数の画像を印刷します。



CKN100

1 枚に印刷できる画像数（コマ数）は下表のとおりです。

用紙サイズ	指定できるコマ数
2L（5×7）	2、4、8、9
郵便はがき	2、4

用紙サイズ	指定できるコマ数
100×150mm	2、4
4×6	2、4、8、9
8×10	2、4、8、9、16、25、32
$8^{1}/_{2}$×11	2、4、8、9、16、25、32
11×17	2、4、8、9、16、25、32、36、49、64
A3	2、4、8、9、16、25、32、36、49、64
A4	2、4、8、9、16、25、32
A5	2、4、8、9、16
A6	2、4、8
B4	2、4、8、9、16、25、32、36、49
B5	2、4、8、9、16、25
B6	2、4、8、9

また、指定できるコマ数のコマの並びかたは以下のとおりです。

コマ数	縦方向コマ数×横方向コマ数	用紙の方向
2	2×1	タテ
4	2×2	ヨコ
8	4×2	タテ
9	3×3	ヨコ
16	4×4	ヨコ
25	5×5	ヨコ
32	8×4	タテ
36	6×6	ヨコ
49	7×7	ヨコ
64	8×8	ヨコ

補足

- 使用するデジタルカメラによっては、途中で改ページが入ることがあります。
- 印刷する画像枚数の組み合わせによっては、指定どおりに印刷できないことがあります。

両面印刷

用紙の両面に印刷するかどうかを指定できます。

補足

- 印刷結果は左開きです。開き方向は変更できません。
- 用紙種類や給紙トレイによっては両面印刷できないことがあります。

印刷品質

選択された印刷品質で画像を印刷します。

本機では［Default］または［Normal］が選択されたときは 600dpi×600dpi（2bit）、［Fine］のときは 600dpi×600dpi（4bit）で印刷します。

カラーマッチング

画像の色合いを最適化し、印刷します。

［Default］または［OFF］が選択されたときは、階調優先によるカラーマッチング処理をします。［ON］が選択されたときは、鮮やかさ優先によるカラーマッチング処理をします。

紙種

本機のトレイにセットされている用紙種類を設定しておくと、デジタルカメラにその情報が通知され、用紙種類を確認してから印刷できます。

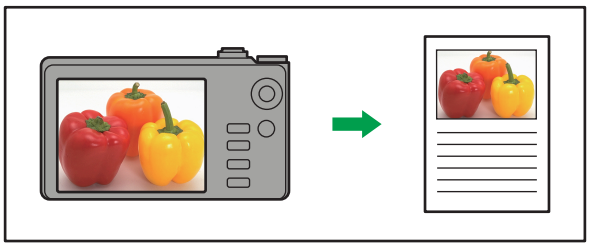
デジタルカメラに通知される用紙種類	プリンターにセットされている用紙種類
Default	すべての用紙種類
Plain Paper	普通紙、再生紙
Photo Paper	HG 普通紙、インクジェットはがき
Fast Photo Paper	光沢紙

補足

- HG 普通紙、インクジェットはがき、光沢紙の用紙種類は、本機で使用できません。
- 本機の用紙種類の設定については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「用紙設定」を参照してください。

帳票印刷

定められたレイアウトフォーマットを使用した画像を印刷します。



CKN101

補足

- 本機の用紙種類の設定については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「用紙設定」を参照してください。

トナーセーブ

デジタルカメラより印刷濃度を指定すると、トナーを節約して印刷できます。

デジタルカメラからの指定	印刷濃度
Default/OFF	100%
やや薄い	75%
薄い	50%

カメラメモ出力

印刷する画像にテキストデータが添付されているときに、そのテキストデータを印刷します。

7. OS X で印刷する

OS X を使用して、プリンタードライバーから印刷する方法を説明します。

用紙の設定と印刷の設定

用紙に関する設定や印刷に関する設定をするために、ダイアログを表示する方法を説明します。

本書では、OS X 10.7 を例に説明しています。

用紙の設定を表示する

1. 印刷するファイルを開きます。
2. [ファイル] メニューから [ページ設定...] をクリックします。
3. [対象プリンタ：] で使用する機種を選択します。
4. 用紙サイズや用紙の向きを設定します。



5. 設定が完了したら [OK] をクリックします。

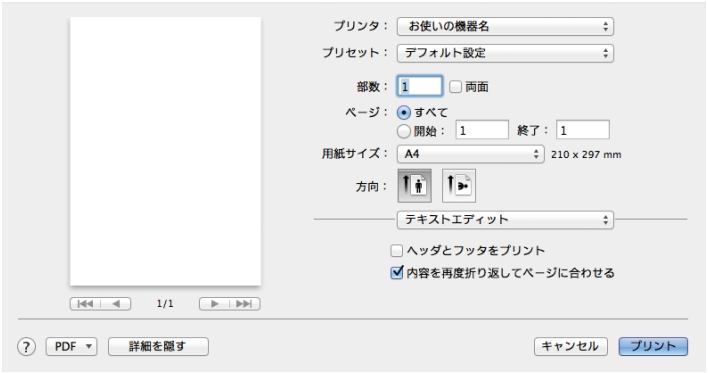
補足

- 用紙設定のダイアログは、使用するアプリケーションによって異なります。設定内容については Macintosh の使用説明書またはヘルプを参照してください。

印刷の設定を表示する

1. 印刷するファイルを開きます。
2. [ファイル] メニューから [プリント...] をクリックします。

3. [プリンタ：] で使用する機種を選択します。



4. 印刷するときは［プリント］をクリックします。

補足

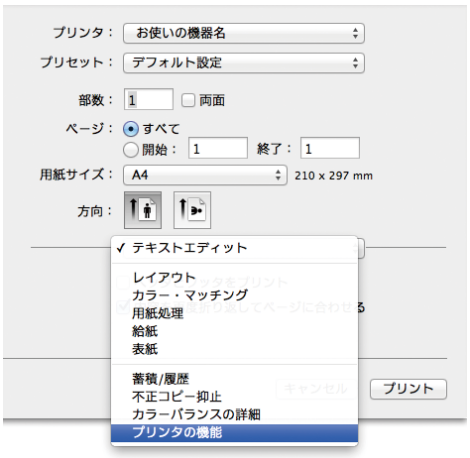
- 印刷設定のダイアログは、使用する機種やアプリケーションによって異なります。印刷に関する一般的な機能については、Macintosh の使用説明書またはヘルプを参照してください。

印刷の設定項目

重要

- **設定できる機能は使用する機種、オプションによって異なることがあります。オプションが必要な機能については、『本機をお使いになる方へ』「オプションが必要な機能一覧」を参照してください。**

印刷で設定するカテゴリーを、ポップアップメニューから選択します。印刷の設定項目のダイアログは、使用する機種やアプリケーションによって異なります。



機器固有の機能を使用して印刷するときは、主に以下のカテゴリーで設定値を変更します。

- [レイアウト]：集約印刷や両面印刷の設定をします。
- [蓄積/履歴]：蓄積文書印刷の設定をします。詳細は、P.141「蓄積文書を印刷する」を参照してください。
- [不正コピー抑止]：不正コピー抑止機能の設定をします。
- [プリンタの機能]：機器固有の設定項目が集約されています。

ここでは、[レイアウト]、[不正コピー抑止]、[プリンタの機能] について説明します。

補足

- 印刷に関する一般的な機能や設定内容については、Macintosh の使用説明書またはヘルプを参照してください。
- [給紙] で [すべてのページ：] を「自動選択」に設定したとき、ドライバーで指定した用紙サイズが本機にセットされていないと、本機側の設定に従って印刷されます。

レイアウト

ポップアップメニューで［レイアウト］を選択すると表示されます。



ページ数／枚：

1 枚の用紙に何ページ分のデータを印刷するかを指定します。

レイアウト方向：

複数ページをまとめて印刷するときのレイアウトを指定します。

境界線：

集約したページを仕切る線を印刷します。

両面：

用紙の両面に印刷するかどうかと、用紙のとじ方向を指定します。

不正コピー抑止

重要

- **不正コピー抑止は、必ずしも情報漏えいを防止するものではありません。**

ポップアップメニューで［不正コピー抑止］を選択すると表示されます。

まず、［不正コピー抑止の種類：］から抑止機能の種類を選択します。

- 不正コピー抑止地紋

  不正コピー抑止の文字列地紋や背景地紋を付けて印刷します。印刷した文書をコピーしたとき、読み取ったとき、ドキュメントボックスに蓄積したときに、地紋効果で文字列が浮き出るため、容易な不正コピーを抑止できます。

- 不正コピーガード

  この機能を使用して印刷した文書を、不正コピーガードモジュールが搭載された複写機または複合機でコピー、読み取り、またはドキュメントボックスに蓄積すると、画像を抹消しグレー地にします。

設定する項目に応じて、［抑止文字列］、［カラー/濃度］、［地紋］をクリックします。



抑止文字列

- 文字列の種類：

  不正コピー抑止文字として印字する文字列をポップアップメニューから選択します。

- 任意文字列の入力：

  ［文字列の種類：］で「任意の文字列」を選択したときは、印字する文字列を入力します。全角 21 文字/半角 64 文字まで入力できます。

  印字フォントとして欧文フォントを選択するときは、半角の英数記号で入力します。

- フォント：

  フォントの種類を選択します。選択できるフォントは TrueType フォントです。

- サイズ：

  フォントサイズを設定します。小さいフォントサイズを使用すると、地紋として効果的でないことがあります。

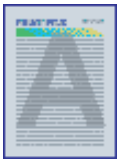
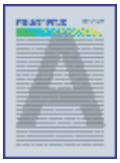
- 角度：

  文字列の回転する角度を指定します。数字を大きくすると、文字列の中央を基点に反時計回りに回転します。地紋として効果的な角度として、30～40 度をお勧めします。

- 文字列と背景の効果：

  印刷時やコピー時の効果を設定します。

不正コピー抑止地紋

	印刷時の効果	コピー時の効果
文字列・背景		
文字列地紋／背景地紋の入れ替え		
背景のみ		
文字列のみ		

不正コピーガード

	印刷時の効果	コピー時の効果（不正コピーガード非搭載機）	コピー時の効果（不正コピーガード搭載機）
文字列・背景			

	印刷時の効果	コピー時の効果（不正コピーガード非搭載機）	コピー時の効果（不正コピーガード搭載機）
背景のみ			

- 繰り返し印字：

  ページの左上を基点に文字列を縦横に並べて繰り返し印刷します。[位置:] の設定は無効になります。

- 行間隔：

  行間隔を設定します。

- 位置：

  不正コピー抑止文字列を挿入する位置をリストから選択します。

カラー/濃度

- カラー：

  不正コピー抑止地紋の色をリストから選択します。

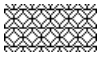
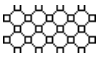
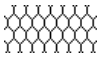
- 濃度：

  濃度を設定します。

地紋

- マスクパターン：

  背景地紋を付けて印刷します。使用する地紋の種類を選択します。

青海波（せいがいは） 	網目（あみめ） 	格子 1（こうし 1） 	格子 2（こうし 2） 	七宝（しっぽう） 
蜀江（しょっこう） 	松皮菱（まつかわびし） 	鱗（うろこ） 	檜垣（ひがき） 	亀甲（きっこう） 

補足

- 地紋効果は、コピーしたとき、読み取ったとき、ドキュメントボックスに蓄積したときの結果をすべて保証しているものではありません。また蓄積結果は、使用する機種とその設定条件により異なります。

- 地紋効果は、コピーするときの原稿種類設定により、画質の一部に濃淡が発生することがあります。そのようなときは、原稿の種類を［文字］または［写真］に切り替えてください。
- 不正コピーガードでは、［カラー/濃度］と［地紋］の設定はできません。
- 本機の不正コピー抑止設定が有効のとき、常に不正コピー抑止の地紋や文字列を付与して印刷できます。不正コピー抑止は Web Image Monitor または本機の操作部で設定できます。Web Image Monitor での設定については、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。操作部での設定については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「管理者用設定」を参照してください。

プリンタの機能

ポップアップメニューで［プリンタの機能］を選択すると表示されます。

［機能セット：］を切り替えることで、機能メニューが切り替わります。

基本メニュー



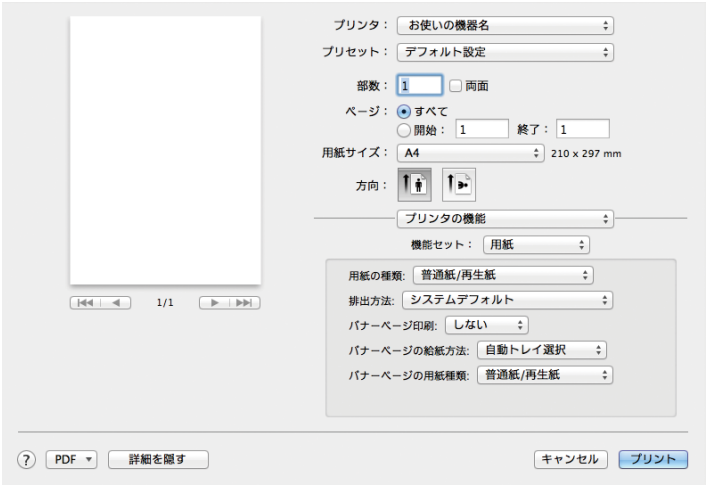
カラー選択：

カラーで印刷するかモノクロで印刷するかを選択します。

180 度回転：

画像を 180 度回転させて印刷するかどうかを設定します。

用紙メニュー



用紙の種類：

用紙種類を選択します。

排出方法：

印刷した文書を排出するトレイを指定します。

バナーページ印刷：

バナーページ印刷を有効にしたとき、印刷ジョブの最初にユーザー名、ジョブの印刷日時、ホスト名、ジョブ名が印刷されます。

バナーページの給紙方法：

給紙トレイを指定します。

バナーページの用紙種類：

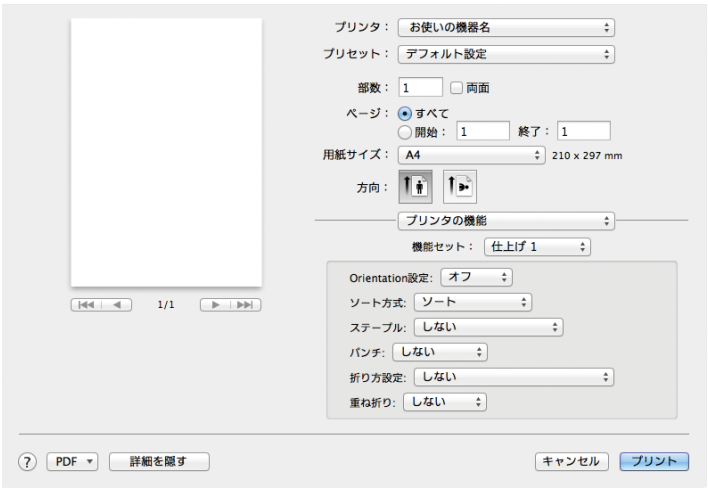
使用する用紙種類を指定します。

補足

- バナーページ印刷機能には以下の制約があります。
  - プリンタードライバーの「印刷方法：」で［通常印刷］を指定したときだけ有効です。
  - バナーページに印刷されるジョブの印刷日時は、ジョブ履歴の日時と差異が発生することがあります。また、エラーなどで印刷が中止され、再開までに時間があいたときも、バナーページに印刷される印刷日時と実際の印刷日時に差異が発生することがあります。
  - 印刷を中止するときは、バナーページと印刷ジョブそれぞれに印刷中止の操作をしてください。
  - 印刷後は、バナーページと印刷ジョブそれぞれのジョブ履歴が記録されます。

- 印刷の設定によっては、バナーページが印刷ジョブと異なる用紙サイズや用紙種類で印刷されることがあります。
- 印刷の設定によっては、バナーページが印刷ジョブと異なる排紙先に印刷されることがあります。
- バナーページの印刷文字列に半角英数字以外が使用されていると、文字化けすることがあります。
- 使用するアプリケーションによっては、複数部数を印刷するときに、部数分のバナーページが印刷されることがあります。
- 使用するアプリケーションによっては、1 つの印刷ジョブに向きやサイズの異なるページが混在するとき、向きやサイズが切り替わるページの前にバナーページが挿入されることがあります。
- 使用するアプリケーションによっては、1 つの印刷ジョブの中に複数のジョブがあると、ジョブごとにバナーページが挿入されることがあります。

仕上げ 1 メニュー



Orientation 設定：

印刷時に用紙方向を設定できないアプリケーションから印刷するときに設定します。データが意図しない方向に回転して印刷されるときは、この設定でデータの原稿方向を指定して印刷してください。

ソート方式：

ソート方式をソート、回転ソート、シフトソートから選択します。

ステープル：

印刷した用紙をステープルするかどうかを指定します。ステープルするときは、ステープル位置を選択します。

パンチ：

印刷した用紙をパンチするかどうかを指定します。パンチするときは、パンチ位置を選択します。

折り方設定：

印刷した用紙を折るかどうかを選択します。折り機能を有効にしたとき、以下の種類から選択します。

- 二つ折り-外側印字（フィニッシャー中とじトレイ）

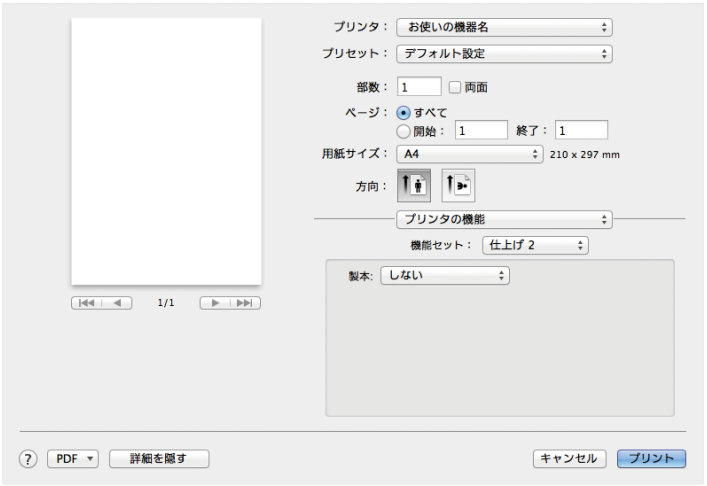
  用紙の印字面を外側にして半分に折り、フィニッシャー・中とじトレイに排紙します。

重ね折り：

[折り方設定：] を有効にしたとき、重ね折りをするかどうかを選択します。

[折り方設定：] で [二つ折り-外側印字（フィニッシャー中とじトレイ）] を選択したときに、5 枚まで重ねて折ることができます。

仕上げ 2 メニュー



製本：

2 ページの原稿を半分に縮小して、用紙を重ねたまま二つ折りできるように印刷します。たとえば、A4 サイズの原稿は A5 サイズに縮小し、A4 の用紙の左右にレイアウトして印刷されます。

製本印刷をするときは、ページの配列を「右開き/下開き」または「左開き/上開き」に指定します。

印刷品質 1 メニュー



解像度：

解像度を設定します。

画質：

印刷するときの画質を指定します。[解像度：] を［1200dpi］に設定したときは、［標準］と［2 階調］だけを選択できます。

- 標準

  2400×600dpi 相当の解像度で印刷されます。

- 2 階調

  600×600dpi 相当の解像度で印刷されます。

- 高画質

  9600×600dpi 相当の解像度で印刷されます。

印字モード：

トナーを節約して印刷するトナーセーブモードを有効にします。

- オフ

  トナーを節約しないで印刷します。

- トナーセーブ

  トナーを節約して印刷します。トナーの持ちはよくなりますが印刷結果は薄くなります。

イメージスムージング：

イメージスムージングの設定を選択します。

「自動」を選択すると、印刷処理時間が長くなることがあります。

マスクイメージにこの機能を適応するときは、思うような印刷結果が得られないことがあります。

- オフ

  イメージスムージング処理をしません。

- オン

  すべての画像にイメージスムージング処理をします。

- 自動

  本機のサポート解像度が 25%以下の画像は、自動的にイメージスムージング処理をします。

- 90ppi～300ppi 未満

  選択した解像度（ピクセル/インチ）以下の画像は、イメージスムージング処理をします。

画像モード：

印刷する画像にあわせてディザパターンを指定できます。

- 自動

  印刷する文書内の要素（文字やイメージグラフィックス）ごとに適したディザパターンを自動的に適応します。

- 写真

  写真に適したディザパターンを適用します。

- 文字

  文字に適したディザパターンを適用します。

- ユーザー設定

  ハーフトーンを設定できるアプリケーションからの印刷で、指定したハーフトーンを有効にします。

- 色抜け・かすれ低減

  グラフィックに適したディザパターンを使用します。

RGB 補正：

RGB データを CMYK データに変換するときの補正方法を指定します。

- しない

  補正しないで CMYK に変換します。

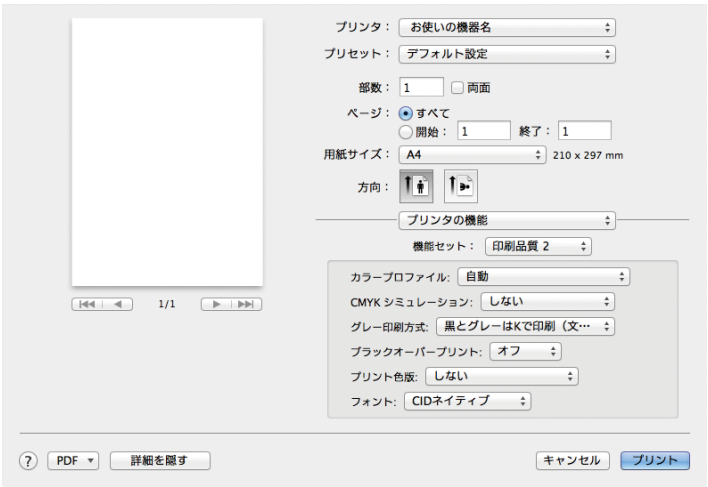
- 精密（普通）

  モニタガンマ 1.8 の設定を基準とし、カラープロファイルで選択したプロファイルを参照して CMYK に変換します。

- 精密（濃いめ）

モニタガンマ 2.2 の設定を基準とし、カラープロファイルで選択したプロファイルを参照して CMYK に変換します。

印刷品質 2 メニュー



カラープロファイル：

RGB から CMYK へカラーマッチングするときのプロファイルを指定できます。

［RGB 補正：］を［精密（普通）］または［精密（濃いめ）］に設定したときに参照されます。

- 自動

  印刷する文書内の各要素（文字やイメージグラフィックス）に適したプロファイルを自動的に適応します。

- フォト

  写真画像など階調性を重視して印刷するのに適しています。

- ビジネス

  文字やプレゼンテーション用のグラフィックスなどに適しています。

- ベタ

  グラフィックスやロゴなどで使用される原色の再現性を高めるのに適しています。

- POP 広告

  赤色をより鮮やかに印刷します。POP 広告に適した設定です。

- ユーザー設定

  印刷するデータに setcolorrendering オペレーターが含まれるとき、その CRD を有効にします。

- カラーバリエーション 1

  人物の印刷に適した色味で印刷します。

- カラーバリエーション 2

  人物や食べ物の印刷に適した色味で印刷します。
- カラーバリエーション 3

  青色を強調した色味で印刷します。風景の印刷などに適しています。
- カラーバリエーション 4

  全体的に濃い色調で印刷します。
- カラーバリエーション 5

  全体的に明るめの色調で印刷します。
- カラーバリエーション 6

  全体的に明るめでコントラストを付けた色調で印刷します。

CMYK シミュレーション：

CMYK データを印刷するときにシミュレートするインクプロファイルを指定できます。

- しない

  シミュレーションを実施しないで印刷します。
- Euroscale

  欧州のオフセット印刷の色基準をシミュレートします。
- JapanColor2001

  日本の印刷の色基準をシミュレートします。
- JMPA カラー Ver3.00 準拠

  雑誌広告の色基準をシミュレートします。
- 青み優先

  全体的に青みを強めにした色合いで印刷します。シャープな印象を与えるのに有効です。

グレー印刷方式：

黒色を印刷する方式を選択します。文字やグラフィックスデータに有効です。

- 黒とグレーは K で印刷（文字/図）

  黒色やグレーのテキストと画像を黒 1 色で印刷します。
- 黒は K で印刷

  黒色のテキストと画像を黒 1 色で印刷します。
- CMYK4 色で印刷

  CMYK（シアン、マゼンタ、イエロー、黒）4 色で印刷します。
- 黒とグレーは K で印刷（文字のみ）

  黒色やグレーのテキストだけを黒 1 色で印刷します。

- 黒は K で印刷（文字のみ）

  黒色のテキストだけを黒 1 色で印刷します。

- 黒とグレーは K で印刷

  モノクロ以外のページでも黒とグレーのオブジェクトはすべて黒 1 色で印刷します。

ブラックオーバープリント：

黒色をほかの色に重ねて印刷するかどうかを選択します。

オフを指定したとき、黒色が重なっているほかの色の部分は、分版すると白く抜けます。

プリント色版：

CMYK に色分解し、その中から特定の色を組み合わせて印刷します。

［カラー選択：］で［モノクロ］を選択しているときは指定できません。

フォント：

［CID ネイティブ］または［OCF 互換］を指定します。

印刷する

補足

- アプリケーションによっては印刷の設定が異なります。異なるときの設定については、それぞれのアプリケーションの使用説明書を参照してください。
- OS X の印刷手順は OS のバージョンによって異なることがあります。本書では OS X 10.7 を例に説明しています。

モノクロで印刷する

重要

- **白黒の画像をカラー印刷したとき、黒色やグレーの部分は CMY のトナーを使って印刷されることがあります。よりはっきりした黒色を再現するために、白黒の画像はモノクロで印刷することをお勧めします。**
- **アプリケーションでモノクロ印刷を指定したときは、必ず［プリンタの機能］の［カラー選択：］を［モノクロ］に設定してください。設定しないと、黒色の部分が CMY のトナーを使って印刷されることがあります。**

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューから［プリント...］をクリックします。
3. ［プリンタ：］から使用する機種を選択します。
4. ポップアップメニューから［プリンタの機能］をクリックします。
5. ［カラー選択：］を「モノクロ」に設定します。
6. 設定する項目の設定値を変更します。
7. 印刷を実行します。

補足

- 各調整項目については、P.127「プリンタの機能」を参照してください。

印刷品質を調整して印刷する

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューから［プリント...］をクリックします。
3. ［プリンタ：］から使用する機種を選択します。
4. ポップアップメニューから［プリンタの機能］をクリックします。
5. ［機能セット：］から［印刷品質 1］または［印刷品質 2］を選択します。

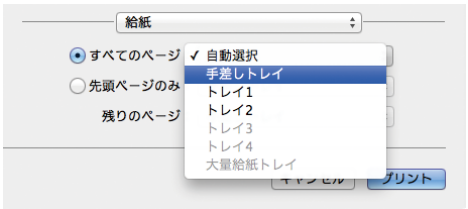
6. 設定する項目の設定値を変更します。
7. 印刷を実行します。

補足

- 各調整項目については、P.127「プリンタの機能」を参照してください。

特殊な用紙に印刷する

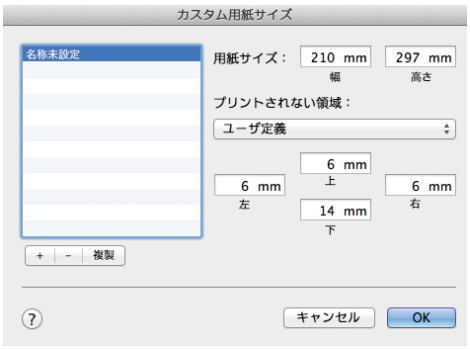
1. 印刷するファイルを開きます。
2. [ファイル] メニューから [プリント...] をクリックします。
3. [プリンタ：] から使用する機種を選択します。
4. ポップアップメニューから [プリンタの機能] をクリックします。
5. [機能セット：] から [用紙] を選択します。
6. [用紙の種類：] で使用する用紙種類を設定します。
7. ポップアップメニューから [給紙] をクリックします。
8. 給紙先のトレイを設定します。



9. 印刷を実行します。

不定形サイズの用紙に印刷する（カスタム用紙サイズ）

1. 印刷するファイルを開きます。
2. [ファイル] メニューから [プリント...] をクリックします。
3. [プリンタ：] から使用する機種を選択します。
4. [用紙サイズ：] から [カスタムサイズを管理...] を選択します。
5. [+] をクリックし、カスタム用紙サイズの登録名を入力します。
   既存の設定を変更するときは、登録名をクリックします。



6. [用紙サイズ：] に、任意のサイズを入力します。
7. 用紙の四辺から余白となる数値を入力します。

   通常は、[プリントされない領域：] ポップアップメニューから、使用する機種を選択します。使用する機種の設定値が反映されます。
8. [OK] をクリックします。
9. 印刷を実行します。

補足

- カスタム用紙サイズは複数登録できます。
- カスタム用紙サイズで印刷したときは、用紙サイズの計算誤差により、用紙サイズのミスマッチが発生することがあります。

部単位で印刷する（ソート）

1. 印刷するファイルを開きます。
2. [ファイル] メニューから [プリント...] をクリックします。
3. [プリンタ：] から使用する機種を選択します。
4. ポップアップメニューから [用紙処理] をクリックします。
5. 部数を設定し、[丁合い] チェックボックスにチェックを入れます。
6. ポップアップメニューから [プリンタの機能] をクリックします。
7. [機能セット：] から [仕上げ] または [仕上げ 1] を選択します。
8. [ソート方式：] からソート方式を選択します。
9. 印刷を実行します。

補足

- ソートするときは、アプリケーション側の部単位のチェックを外してください。
- 排紙先にシフト機能があるときは、シフトソートされます。

用紙の両面に印刷する

1. 印刷するファイルを開きます。
2. [ファイル] メニューから [プリント...] をクリックします。
3. [プリンタ：] から使用する機種を選択します。
4. ポップアップメニューから [レイアウト] をクリックします。
5. [両面：] から、[長辺とじ] または [短辺とじ] を選択します。
6. 印刷を実行します。

ステープルする

重要

- この機能を使用するために必要なオプションについては、『本機をお使いになる方へ』「オプションが必要な機能一覧」を参照してください。

1. 印刷するファイルを開きます。
2. [ファイル] メニューから [プリント...] をクリックします。
3. [プリンタ：] から使用する機種を選択します。
4. ポップアップメニューから [プリンタの機能] をクリックします。
5. [機能セット：] から [用紙] を選択します。
6. [排出方法：] で排紙先のトレイを設定します。
7. [機能セット：] から [仕上げ] または [仕上げ 1] を選択します。
8. [ステープル：] でステープル位置を設定します。
9. 印刷を実行します。

パンチする

重要

- この機能を使用するために必要なオプションについては、『本機をお使いになる方へ』「オプションが必要な機能一覧」を参照してください。

1. 印刷するファイルを開きます。
2. [ファイル] メニューから [プリント...] をクリックします。
3. [プリンタ：] から使用する機種を選択します。

4. ポップアップメニューから［プリンタの機能］をクリックします。
5. ［機能セット：］から［用紙］を選択します。
6. ［排出方法：］で排紙先のトレイを設定します。
7. ［機能セット：］から［仕上げ］または［仕上げ 1］を選択します。
8. ［パンチ：］でパンチ位置を設定します。
9. 印刷を実行します。

紙折りする（RICOH MP C6004/C5504/C4504/C3504/C3004 シリーズ）

重要

- この機能を使用するために必要なオプションについては、『本機をお使いになる方へ』「オプションが必要な機能一覧」を参照してください。

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューから［プリント...］をクリックします。
3. ［プリンタ：］から使用する機種を選択します。
4. ポップアップメニューから［プリンタの機能］をクリックします。
5. ［機能セット：］から［用紙］を選択します。
6. ［排出方法：］で排紙先のトレイを設定します。
7. ［機能セット：］から［仕上げ］または［仕上げ 1］を選択します。
8. ［折り方設定：］で折りの種類を設定します。
9. 重ね折りをするときは、［重ね折り：］を［する］に指定します。
10. 印刷を実行します。

蓄積文書を印刷する

本機に蓄積する文書の印刷方法を説明します。

重要

- **PageMaker など、独自のドライバーを使用するアプリケーションでは、この機能は使用できません。**

試し印刷

複数部数印刷するときなど、最初に 1 部だけ印刷し、その結果を確認したあとに操作部を使用して残り部数を印刷できます。いったん本機にデータを蓄積し、操作部を使用して蓄積したデータを印刷できます。内容や印刷の指定を間違えたときなどに大量のミスプリントを防止できます。

詳細は、P.142「試し印刷」を参照してください。

機密印刷

ネットワークでプリンターを共有していて、他人に見られたくない文書を印刷するときなどに有効です。機密印刷を使用すると、本機の操作部からパスワードを入力しないと印刷できなくなるので、他人に見られる心配がありません。

詳細は、P.142「機密印刷」を参照してください。

保留印刷

本機に文書を一時的に蓄積し、必要に応じて印刷できます。複数の文書をまとめて印刷するときなどに有効です。また、文書の印刷時刻を指定できます。指定した時刻になると、自動的に印刷されます。

詳細は、P.143「保留印刷」を参照してください。

保存文書

本機に文書を蓄積し、必要に応じて印刷できます。印刷終了後も文書が消去されないので、繰り返し印刷するときなどに有効です。

詳細は、P.144「プリンターに保存」または P.144「保存して印刷」を参照してください。

ドキュメントボックス

ドキュメントボックスを使用するとパソコンで作成した原稿を本機のハードディスクに蓄積し、本機の操作だけで必要なときに必要な条件で印刷できます。

詳細は、P.145「ドキュメントボックス」を参照してください。

補足

- 本機に蓄積できる文書数については、P.87「ハードディスクに文書を蓄積して印刷する」または P.104「ドキュメントボックスに文書を蓄積して印刷する」を参照してください。

試し印刷

まず 1 部だけ印刷し、その印刷結果を確認後、操作部または Web Image Monitor から任意の部数を設定して印刷できます。

1. 印刷するファイルを開きます。
2. [ファイル] メニューから [プリント...] をクリックします。
3. [プリンタ：] から使用する機種を選択します。
4. ポップアップメニューから [蓄積/履歴] をクリックします。
5. [印刷方法：] を「試し印刷」に設定します。
6. [ユーザー ID：] ボックスに、半角英数字 8 文字以内でユーザー ID を入力します。
7. 印刷部数を 2 部以上に設定して、印刷を実行します。

   まずデータが 1 部だけ印刷されます。
8. 本機の操作部で任意の部数を指定し、印刷を実行します。

補足

- 蓄積した文書は操作部を使用して印刷します。詳細は、P.88「2 部目以降を印刷する」を参照してください。

機密印刷

パスワードを設定して印刷できます。

1. 印刷するファイルを開きます。
2. [ファイル] メニューから [プリント...] をクリックします。
3. [プリンタ：] から使用する機種を選択します。
4. ポップアップメニューから [蓄積/履歴] をクリックします。
5. [印刷方法：] を「機密印刷」に設定します。
6. [ユーザー ID：] ボックスに、半角英数字 8 文字以内でユーザー ID を入力します。
7. [パスワード：] ボックスに、パスワードを入力します。

   パスワードは、半角数字 4〜8 文字で設定してください。
8. 印刷を実行します。

   ここでは印刷されず、印刷データは本機の内部に蓄積されます。

9. 本機の操作部でパスワードを入力し、印刷を実行します。

補足

- 蓄積した文書は操作部を使用して印刷します。詳細は、P.91「操作部を使用して機密印刷文書を印刷する」を参照してください。

保留印刷

印刷する文書を一時的に蓄積し、あとから操作部または Web Image Monitor で印刷できます。

1. 印刷するファイルを開きます。

2. [ファイル] メニューから [プリント...] をクリックします。

3. [プリンタ：] から使用する機種を選択します。

4. ポップアップメニューから [蓄積/履歴] をクリックします。

5. [印刷方法：] を「保留印刷」に設定します。

6. [ユーザー ID：] ボックスに、半角英数字 8 文字以内でユーザー ID を入力します。

蓄積する文書に、半角英数字 16 文字以内で任意の文書名を設定できます。

7. 文書の印刷時刻を指定するときは、[印刷時刻を指定する] チェックボックスにチェックを付け、時刻を指定します。

指定できる印刷時刻は 24 時間制です。

8. 印刷を実行します。

ここでは印刷されず、印刷データは本機の内部に蓄積されます。

9. 本機の操作部で印刷を実行します。

補足

- 蓄積した文書は操作部を使用して印刷します。詳細は、P.94「操作部を使用して保留印刷文書を印刷する」を参照してください。
- 指定した印刷時刻と本機のシステム時計の時刻とに数分の差しかないときは、すぐに印刷されることがあります。
- 本機の主電源スイッチが切れているときは、指定した時刻に文書が印刷されません。指定時刻を過ぎた文書を印刷するときは、あらかじめ操作部の [プリンター初期設定] にある [主電源 Off 時の未処理文書] を [主電源 On で印刷する] に設定してください。詳細は、P.153「システム設定」を参照してください。

プリンターに保存

印刷する文書を本機に蓄積し、必要なときに操作部または Web Image Monitor で印刷できます。

1. 印刷するファイルを開きます。
2. [ファイル] メニューから [プリント...] をクリックします。
3. [プリンタ：] から使用する機種を選択します。
4. ポップアップメニューから [蓄積/履歴] をクリックします。
5. [印刷方法：] を「プリンターに保存」に設定します。
6. [ユーザー ID：] ボックスに、半角英数字 8 文字以内でユーザー ID を入力します。

   蓄積する文書に、半角英数字 16 文字以内で任意の文書名を設定できます。

   蓄積する文書に、半角数字 4〜8 文字で任意のパスワードを設定できます。
7. 印刷を実行します。

   ここでは印刷されず、印刷データは本機の内部に蓄積されます。
8. 本機の操作部で印刷を実行します。

補足

- 蓄積した文書は操作部を使用して印刷します。詳細は、P.97「操作部を使用して保存文書を印刷する」を参照してください。

保存して印刷

文書を印刷しながら同時に本機に蓄積し、必要なときに操作部または Web Image Monitor から印刷できます。

1. 印刷するファイルを開きます。
2. [ファイル] メニューから [プリント...] をクリックします。
3. [プリンタ：] から使用する機種を選択します。
4. ポップアップメニューから [蓄積/履歴] をクリックします。
5. [印刷方法：] を「保存して印刷」に設定します。
6. [ユーザー ID：] ボックスに、半角英数字 8 文字以内でユーザー ID を入力します。

   蓄積する文書に、半角英数字 16 文字以内で任意の文書名を設定できます。

   蓄積する文書に、半角数字 4〜8 文字で任意のパスワードを設定できます。

7. 印刷を実行します。

1 部目がすぐに印刷され、印刷データは本機の内部に蓄積されます。

8. 本機の操作部で印刷を実行します。

補足

- 蓄積した文書は操作部を使用して印刷します。詳細は、P.97「操作部を使用して保存文書を印刷する」を参照してください。

ドキュメントボックス

ドキュメントボックスとは、印刷する文書などを本機のハードディスクに蓄積しておき、あとから文書の組み合わせや加工の指定をして印刷する機能です。

ここでは、印刷データをパソコンからドキュメントボックスへ蓄積する方法を説明します。

1. 印刷するファイルを開きます。

2. [ファイル] メニューから [プリント...] をクリックします。

3. [プリンタ：] から使用する機種を選択します。

4. ポップアップメニューから [蓄積/履歴] をクリックします。

5. [印刷方法：] を「ドキュメントボックス」に設定します。

6. [ユーザー ID：] ボックスに、半角英数字 8 文字以内でユーザー ID を入力します。

ここで入力したユーザー ID は、本機の操作部に「ユーザー名」として表示されます。

蓄積する文書に、半角英数字 16 文字以内で任意の文書名を設定できます。

蓄積する文書に、半角数字 4～8 文字以内で任意のパスワードを設定できます。

7. 「フォルダー番号：」ボックスで文書を蓄積するフォルダーの番号を指定します。

フォルダーの番号は 0～200 の範囲で指定できます。0 を指定したときは、共有フォルダーに保存されます。

8. フォルダーにパスワードが設定されているときは、「フォルダーパスワード：」ボックスにパスワードを入力します。

フォルダーのパスワードは 4～8 文字の範囲で入力できます。

9. 印刷を実行します。

補足

- ドキュメントボックスに蓄積した文書は操作部を使用して印刷します。詳細は、『コピー/ドキュメントボックス』「蓄積した文書を印刷する」を参照してください。

8. プリンター初期設定

本機で設定できる「プリンター初期設定」の各種項目について説明します。

テスト印刷

本機の使用環境や印刷に関する設定を変更したとき、またはプログラムを登録したときは、設定状況の一覧表を印刷して確認することをお勧めします。

印字できるすべての文字やフォントの種類も印刷して確認できます。

一括リスト印刷

システム設定リストとエラー履歴を印刷します。

システム設定リスト

プリンター初期設定の設定値を印刷します。

エラー履歴

印刷時に発生したエラー情報を、エラー履歴として印刷します。オートジョブキャンセルや、操作部からのジョブキャンセル情報も印刷されます。

エラー履歴には最新の 30 件が蓄積されます。すでに 30 件蓄積されているときに新たなエラーが加わると、最も古い履歴が消去されます。ただし最も古い履歴が試し印刷、機密印刷、保留印刷、保存印刷のときは消去されずに蓄積エラー履歴として 30 件別に蓄積されます。

印刷条件リスト

印刷条件の設定値を印刷します。エミュレーションで［RPDL］、［R98］、［R16］、［R55］、［RPGL］、［RTIFF］を選択しているときに印刷できます。

登録フォームリスト

本機に登録されているフォームの一覧を印刷します。エミュレーションで［RPDL］、［R55］を選択しているときに印刷できます。フォーム未登録のときは画面に約 2 秒間メッセージを表示するだけで、フォームリストは印刷されません。

カラーサンプル

カラーサンプルを印刷します。エミュレーションで［RPGL］を選択しているときに印刷できます。

全文字印刷

印刷できるすべての文字を印刷します。エミュレーションで［RPDL］、［R98］、［R16］、［R55］を選択しているときに印刷できます。

フォントリスト

印刷できるすべてのフォントを印刷します。エミュレーションで［RPDL］、［R98］、［R16］、［R55］を選択しているときに印刷できます。

PCL 情報リスト

PCL の設定情報と PCL が使用できるフォントリストを印刷します。エミュレーションで［PCL］を選択しているときに印刷できます。

PS 情報リスト

PostScript の設定情報と PostScript が使用できるフォントリストを印刷します。エミュレーションで［PS3］を選択しているときに印刷できます。

PDF 情報リスト

PDF の設定情報と PDF が使用できるフォントリストを印刷します。エミュレーションで［PDF］を選択しているときに印刷できます。

ヘキサダンプ

ヘキサダンプモードのときに印刷できます。印刷不良の原因を調べるために、パソコンから送られてきたデータを 16 進数で印刷します。

補足

- 給紙トレイの中から A4（または $8^1/_2 \times 11$）サイズの普通紙または再生紙がセットされているトレイを自動で選択します。もし、どの給紙トレイにも A4（または $8^1/_2 \times 11$）サイズの普通紙または再生紙がセットされていないときは、優先給紙トレイを選択します。優先給紙トレイにセットされている用紙サイズが A4（または $8^1/_2 \times 11$）サイズより小さいと、端が切れることがあります。逆に優先給紙トレイにセットされている用紙サイズが A4（または $8^1/_2 \times 11$）サイズより大きいと、余白が大きくなることがあります。
- テスト印刷で印刷されるシステム設定リストとエラー履歴は、レイアウトが A4（または $8^1/_2 \times 11$）サイズに固定されます。したがって給紙トレイのいずれかに、A4（または $8^1/_2 \times 11$）サイズの普通紙または再生紙をセットすることをお勧めします。
- 印刷条件リスト、登録フォームリスト、全文字印刷、フォントリスト、PS 情報リスト、PDF 情報リストは優先給紙トレイから印刷されます。優先給紙トレイに A4 より大きいサイズの用紙があるときは、それぞれの用紙サイズに合わせて拡大して印刷されます。

テスト印刷する

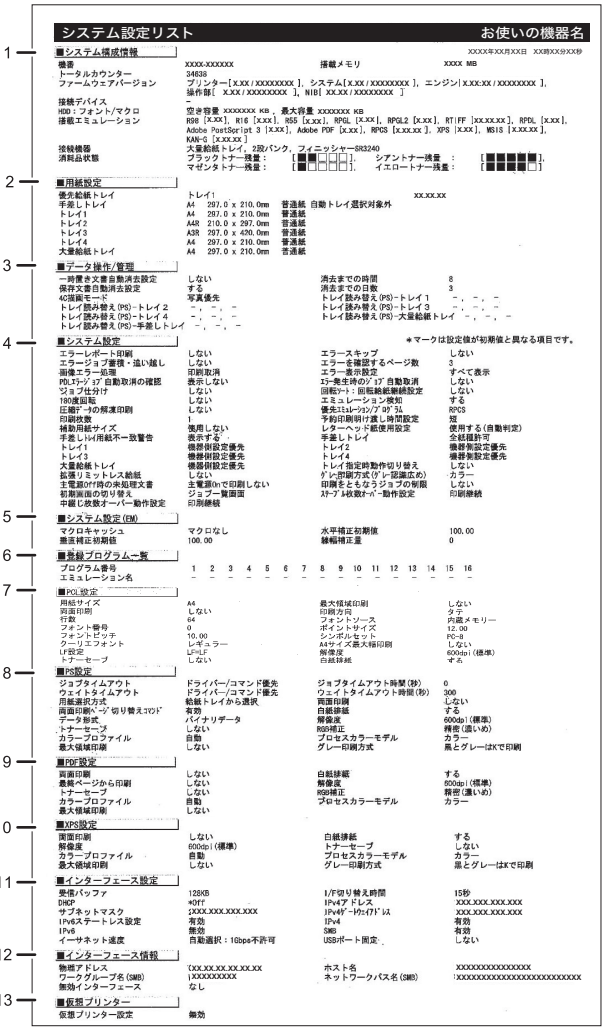
1. **画面中央下の［ホーム］（ ）を押します。**
2. **左にフリックし、［初期設定］アイコン（ ）を押します。**
3. **［本体初期設定］を押します。**
4. **［プリンター初期設定］を押します。**
5. **［テスト印刷］タブから印刷する項目を押します。**

［ヘキサダンプ］を選んだときは、ここでは何も印刷されません。

6. 画面右上の［初期設定］（⚙）を押します。
7. 画面中央下の［ホーム］（🏠）を押します。

システム設定リストの見かた

システム設定リストの印刷例です。



システム設定リスト　お使いの機器名

XXXX年XX月XX日　XX時XX分XX秒

1 ■システム構成情報

機番　XXXX-XXXXXX　搭載メモリ　XXXX MB
トータルカウンター　34838
ファームウェアバージョン　プリンター[X.XX / XXXXXXXX]、システム[X.XX / XXXXXXXX]、エンジン[X.XX.XX / XXXXXXXX]、操作部[X.XX / XXXXXXXX]、NIB[XX.XX / XXXXXXXX]
接続デバイス　－
HDD：フォント/マクロ　空き容量 XXXXXXX KB 、最大容量 XXXXXXX KB
搭載エミュレーション　R98 [X.XX]、R16 [X.XX]、R55 [X.XX]、RPGL [X.XX]、RPGL2 [X.XX]、RTIFF [XX.XX.XX]、RPDL [X.XX]、Adobe PostScript 3 [X.XX]、Adobe PDF [X.XX]、RPGS [X.XX.XX]、XPS [X.XX]、MSIS [X.XX.XX]、KAN-G [X.XX.XX]
接続機器　大量給紙トレイ、2段バンク、フィニッシャーSR3240
消耗品状態　ブラックトナー残量：[■■□□□□]、シアントナー残量：[■■■■■■]、マゼンタトナー残量：[■□□□□□]、イエロートナー残量：[■■■■□□]

2 ■用紙設定

優先給紙トレイ　トレイ1　XX.XX.XX
手差しトレイ　A4　297.0 x 210.0mm　普通紙　自動トレイ選択対象外
トレイ1　A4　297.0 x 210.0mm　普通紙
トレイ2　A4R　210.0 x 297.0mm　普通紙
トレイ3　A3R　297.0 x 420.0mm　普通紙
トレイ4　A4　297.0 x 210.0mm　普通紙
大量給紙トレイ　A4　297.0 x 210.0mm　普通紙

3 ■データ操作/管理

一時書き文書自動消去設定　しない　消去までの時間　8
保存文書自動消去設定　する　消去までの日数　3
4G節約モード　写真優先　トレイ読み替え(PS)-トレイ1　－, －, －
トレイ読み替え(PS)-トレイ2　－, －, －　トレイ読み替え(PS)-トレイ3　－, －, －
トレイ読み替え(PS)-トレイ4　－, －, －　トレイ読み替え(PS)-大量給紙トレイ　－, －, －
トレイ読み替え(PS)-手差しトレイ　－, －, －

4 ■システム設定

＊マークは設定値が初期値と異なる項目です。

エラーレポート印刷　しない　エラースキップ　しない
エラージョブ蓄積・追い越し　しない　エラーを確認するページ数　3
画像エラー処理　印刷取消　エラー表示設定　すべて表示
PDLストップ自動取消の確認　表示しない　ｴﾗｰ発生時のｼﾞｮﾌﾞ自動取消　しない
ジョブ仕分け　しない　回転ソート：回転給紙継続設定　しない
180度回転　しない　エミュレーション検知　する
圧縮データの解凍印刷　しない　優先エミュレーションプログラム　RPCS
印刷枚数　1　予約印刷/明け渡し時間設定　短
補助用紙サイズ　強制しない　レターヘッド紙使用設定　使用する(自動判定)
手差しトレイ用紙ボード設置告　表示する　手差しトレイ　全銘柄許可
トレイ1　機器側設定優先　トレイ2　機器側設定優先
トレイ3　機器側設定優先　トレイ4　機器側設定優先
大量給紙トレイ　機器側設定優先　トレイ指定時動作切り替え　しない
拡張リミットレス給紙　しない　ｶﾗｰ印刷方式(ｶﾗｰ認識広め)　カラー
主電源Off時の未処理文書　主電源Onで印刷しない　印刷をともなうジョブの制限　しない
初期画面の切り替え　ジョブ一覧画面　ｽﾃｰﾌﾟﾙ枚数ｵｰﾊﾞｰ動作設定　印刷継続
中綴じ枚数オーバー動作設定　印刷継続

5 ■システム設定(EM)

マクロキャッシュ　マクロなし　水平補正初期値　100.00
垂直補正初期値　100.00　縫幅補正量　0

6 ■登録プログラム一覧

プログラム番号　1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16
エミュレーション名　－ － － － － － － － － － － － － － －

7 ■PCL設定

用紙サイズ　A4　最大領域印刷　しない
両面印刷　しない　印刷方向　タテ
行数　64　フォントソース　内蔵メモリー
フォント番号　0　ポイントサイズ　12.00
フォントピッチ　10.00　シンボルセット　PC-8
クーリエフォント　レギュラー　A4サイズ最大幅印刷　しない
LF設定　LF=LF　解像度　600dpi（標準）
トナーセーブ　しない　自紙節紙　オン

8 ■PS設定

ジョブタイムアウト　ドライバー/コマンド優先　ジョブタイムアウト時間(秒)　0
ウェイトタイムアウト　ドライバー/コマンド優先　ウェイトタイムアウト時間(秒)　300
用紙選択方式　給紙トレイから選択　両面印刷　しない
両面印刷ページ切り替えコマンド　有効　自紙節紙　する
データ形式　バイナリデータ　解像度　600dpi（標準）
トナーセーブ　しない　RGB補正　精密（濃いめ）
カラープロファイル　自動　プロセスカラーモデル　カラー
最大領域印刷　しない　グレー印刷方式　黒とグレーはKで印刷

9 ■PDF設定

両面印刷　しない　自紙節紙　する
最前ページから印刷　しない　解像度　600dpi（標準）
トナーセーブ　しない　RGB補正　精密（濃いめ）
カラープロファイル　自動　プロセスカラーモデル　カラー
最大領域印刷　しない

10 ■XPS設定

両面印刷　しない　白紙節紙　する
解像度　600dpi（標準）　トナーセーブ　しない
カラープロファイル　自動　プロセスカラーモデル　カラー
最大領域印刷　しない　グレー印刷方式　黒とグレーはKで印刷

11 ■インターフェース設定

受信バッファ　128KB　I/F切り替え時間　15秒
DHCP　ｷｮﾘﾔ　IPv4アドレス　XXX.XXX.XXX.XXX
サブネットマスク　XXX.XXX.XXX.XXX　IPv4ゲートウェイアドレス　XXX.XXX.XXX.XXX
IPv6ステートレス設定　有効　IPv4　有効
IPv6　無効　SNS　有効
イーサネット速度　自動選択：1Gbps不許可　USBポート固定　しない

12 ■インターフェース情報

物理アドレス　XX.XX.XX.XX.XX.XX　ホスト名　XXXXXXXXXXXX
ワークグループ名(SMB)　XXXXXXXX　ネットワークパス名(SMB)　\\XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
無効インターフェース　なし

13 ■仮想プリンター

仮想プリンター設定　無効

DMJ001

1. システム構成情報

本機やシステムのバージョン、カウンター情報、メモリー容量、取り付けた外部オプションの名称などの情報、トナーの消耗状態です。

2. 用紙設定

トレイの用紙サイズと用紙種類が表示されます。用紙サイズは本機の操作部で設定した値です。

「不定形サイズ」と記載されているときは、フリーサイズに設定されています。

用紙サイズで「R」と記載されているときは、用紙方向が⊐に設定されています。

3. データ操作/管理

プリンター初期設定の［データ操作/管理］タブにある項目と設定値です。*印が付いている項目は、工場出荷時の設定から変更されています。

4. システム設定

プリンター初期設定の［システム設定］タブにある項目と設定値です。*印が付いている項目は、工場出荷時の設定から変更されています。

5. システム設定（EM）

プリンター初期設定の［システム設定（EM）］タブにある項目と設定値です。*印が付いている項目は、工場出荷時の設定から変更されています。

6. 登録プログラム一覧

登録されているプログラムのエミュレーションが表示されます。

7. PCL 設定

プリンター初期設定の［PCL 設定］タブにある項目と設定値です。*印が付いている項目は、工場出荷時の設定から変更されています。

8. PS 設定

プリンター初期設定の［PS 設定］タブにある項目と設定値です。*印が付いている項目は、工場出荷時の設定から変更されています。

9. PDF 設定

プリンター初期設定の［PDF 設定］タブにある項目と設定値です。*印が付いている項目は、工場出荷時の設定から変更されています。

10. XPS 設定

プリンター初期設定の［XPS 設定］タブにある項目と設定値です。*印が付いている項目は、工場出荷時の設定から変更されています。

11. インターフェース設定

システム初期設定またはプリンター初期設定の、インターフェース設定の項目と設定値です。

12. インターフェース情報

動作モードやプリンター名など、インターフェース設定の情報です。

13. 仮想プリンター

仮想プリンターが有効か無効かが表示されます。

補足

- ［PCL 設定］、［PS 設定］、［XPS 設定］は、エミュレーションが追加されたときに表示されます。

データ操作/管理

メニュープロテクト

管理者以外のユーザーでも設定を変更できる機能に、ユーザーのアクセス権のレベルを設定します。メニュープロテクトの設定によっては、管理者以外のユーザーが設定できる機能が制限されています。

メニュープロテクトについては、『セキュリティーガイド』「メニュープロテクトを設定する」を参照してください。

テスト印刷禁止

［する］に設定すると、テスト印刷を禁止します。

［テスト印刷禁止］の操作権限については、『セキュリティーガイド』「プリンター初期設定」を参照してください。

一時置き文書全消去

本機に一時的に蓄積されている試し印刷文書、機密印刷文書、保留印刷文書をすべて消去します。

保存文書全消去

本機に蓄積されている保存文書をすべて消去します。

一時置き文書自動消去設定

本機に一時的に蓄積されている試し印刷文書、機密印刷文書、保留印刷文書を自動で消去するかしないかを設定します。

印刷指定時刻が有効な保留印刷文書は、自動で消去できません。

- する

  1～200 時間（1 時間単位）の範囲で自動消去する時間をテンキーで入力します。

  ［する］を選択したときの工場出荷時の設定は、8 時間に設定されています。

- しない

工場出荷時の設定：**しない**

保存文書自動消去設定

本機に蓄積されている保存文書を自動で消去するかしないかを設定します。

- する

  1～180 日（1 日単位）の範囲で自動消去する時間をテンキーで入力します。

  ［する］を選択したときの工場出荷時の設定は、3 日に設定されています。

- しない

工場出荷時の設定：**する**

4C 描画モード

印刷時の CMYK トナーを重ね合わせる量を、文字優先または写真優先に設定します。

- 文字優先
- 写真優先

工場出荷時の設定：**写真優先**

トレイ読み替え

プリンターを別のメーカーのものから交換したときは、置き換え前のトレイパラメーターを使用してください。トレイパラメーターは、3 つまで設定できます。異なる給紙トレイに同じトレイパラメーターは設定できません。

- トレイ読み替え（PCL）

  PCL で印刷するときの給紙トレイパラメーターの読み替えを設定します。接続されているトレイと自動トレイ選択が設定できます。

- トレイ読み替え（PS）

  PostScript で印刷するときの給紙トレイパラメーターの読み替えを設定します。接続されているトレイだけが設定できます。

針なし/針ありステープル表示

［針なしのみ選択可］に設定すると、ドライバーでの設定にかかわらず、左上または右上の針なしステープルで印刷します。

以下の条件のとき、この設定が有効になります。

- 1000 枚フィニッシャーを装着しているとき
- ［管理者認証］を［する］に設定しているとき

  ［管理者認証］については、『セキュリティー』「管理者認証を設定する」を参照してください。

工場出荷時の設定：**針なし/針あり選択可**

補足

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。

システム設定

エラーレポート印刷

印刷処理中に、文法エラーやメモリー不足などにより正常に印刷できなかったとき、エラーレポートを印刷するかしないかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

エラースキップ

プリンタードライバーから指示した用紙サイズや用紙種類の条件に合うトレイがないときの本機の動作を設定します。この機能の設定については、P.83「エラージョブを自動的に強制印刷する」を参照してください。

- しない

  ジョブリセットするのか印刷を続けるのかを選択する画面が表示されます。ジョブリセットするときは［印刷取消］を押します。条件に合わなくても印刷するときは、給紙するトレイを選択し、［実行］を押します。

  選択したトレイに用紙がセットされていないときは、用紙が補給されるまで印刷しません。

- 即時、1 分、5 分、10 分、15 分

  設定した時間が経過すると、用紙がセットされているトレイを優先給紙トレイから順番に探して自動的に強制印刷します。強制印刷できない機能を指定して印刷したときは、印刷を中止します。

  この設定は、エラーの発生したジョブから本機を解放するための機能です。用紙サイズや用紙種類の異なる用紙で代替するため、印刷結果は保証されません。

工場出荷時の設定：**しない**

エラージョブ蓄積・追い越し

エラーで印刷が中止された文書を自動的に本機に蓄積します。エラーが発生したときに、そのまま次の文書の印刷を継続できます。通常印刷文書、試し印刷文書、保存文書でこの機能を使用できます。それぞれプリンタードライバーの「印刷方法：」メニューから指定できます。詳細は、P.87「ハードディスクに文書を蓄積して印刷する」を参照してください。

本機に蓄積された文書は、操作部を使用して印刷を再開できます。詳細は、P.99「エラーで蓄積された文書を印刷する」を参照してください。

指定した文書の種類によって蓄積の方法が異なります。詳細は、P.84「エラージョブを自動的に蓄積する」を参照してください。

- する

本機がエラーを検知するページ数を 1〜999 ページ（1 ページ単位）の範囲で指定できます。[する] を選択したときの工場出荷時の設定は、3 ページに設定されています。

エラーを検知するページ数が 2 ページ以上のときは、1 ページ目の印刷速度が遅くなることがあります。

- しない

工場出荷時の設定：**しない**

画像エラー処理

送信されたデータサイズが大きく、プリンター内部でデータを処理できないときのプリンターの動作を設定します。

- 印刷取消

  エラーが発生したページでジョブをキャンセルします。キャンセルされたページ以降は印刷されません。

- エラーシート印刷

  エラーが発生したページは、エラーが発生した個所まで印刷されます。エラーが発生したページ以降は通常どおり印刷され、最後にエラーシートが印刷されます。ただし、ステープルとソートは解除されます。

工場出荷時の設定：**印刷取消**

エラー表示設定

プリンター内部でのデータ処理中に発生したエラーをディスプレイに表示するかしないかを設定します。

- 簡易表示
- すべて表示

工場出荷時の設定：**すべて表示**

PDL エラージョブ自動取消の確認画面

使用するプリンター言語、オプション、セキュリティーなどの制約によって印刷エラーが発生したとき、印刷を中止して確認画面を表示するかしないかを設定します。

- 表示する
- 表示しない

工場出荷時の設定：**表示しない**

エラー発生時のジョブ自動取消

印刷エラーが発生したときに、印刷エラーが発生したジョブと、エラーが発生する前に本機が受信していたジョブの印刷を自動的に中止するかしないかを設定します。この機能の設定については、P.83「エラージョブの印刷を自動的にキャンセルする」を参照してください。

- する

- しない

工場出荷時の設定：**しない**

ジョブ仕分け

ジョブ単位ごとに排紙位置を振り分けて交互に排紙するか選択します。複数のジョブを大量印刷したときに、自動的に仕分けることができます。フィニッシャーまたはシフトトレイを装着しているときに有効な機能です。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

回転ソート：回転給紙継続設定

回転ソートを設定している場合、給紙トレイにセットした縦方向または横方向の用紙がなくなったときに、印刷を継続するかしないかを設定します。

- する

  給紙トレイに用紙がなくなったときは、用紙方向が異なる給紙トレイから給紙し、印刷を継続します。

- しない

  給紙トレイに用紙がなくなったときは、印刷を中止し、本機の操作部に警告画面を表示します。給紙して印刷を継続するか、印刷を中止するかを選択できます。

工場出荷時の設定：**しない**

180 度回転

用紙の向きに対し、画像の向きを 180 度回転して印刷するかしないかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

エミュレーション検知

プリンターに送られたデータを自動的に判断して、使用するエミュレーションを決定します。R16、R55、RP-GL/GL2、RTIFF、PS3、PDF、XPS が対象です。それ以外のエミュレーションは、［優先エミュレーション/プログラム］で設定されているエミュレーションが対象です。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**する**

［エミュレーション検知］を［する］に設定しても、エミュレーション切り替えコマンドを受信したときは、エミュレーション切り替えコマンドが優先されます。［する］のときの各エミュレーションの動作については、各エミュレーションの使用説明書を参照してください。

転送されたデータの種類によっては、正しいエミュレーションに切り替わらないことがあります。

連続してデータを送信するとき、［エミュレーション検知］が機能しないことがあります。そのときはデータを送信する間隔をあけてください。

圧縮データの解凍印刷

圧縮データの解凍印刷をするかしないかを設定します。GZIP 形式で圧縮されたデータが対象です。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

優先エミュレーション/プログラム

主電源スイッチを「On」にしたときに自動的に呼び出されるエミュレーションまたは登録されているプログラムを設定します。

- RPCS
- RPDL
- R98
- R16
- R55
- RPGL
- RTIFF
- PCL
- PCLXL
- PS3
- PDF
- XPS
- PictBridge
- プログラム 01〜16

工場出荷時の設定：**RPCS**

［プログラム 01］〜［プログラム 16］に設定すると、その数字と同じ登録番号のプログラムが呼び出されてプリンターが起動します。プログラムは本機の操作部で設定した印刷条件を登録したものです。プログラム登録は MS-DOS または UNIX で印刷するときに使用します。

印刷枚数

PCL カードまたはマルチエミュレーションカードを装着しているときのメニュー項目です。印刷枚数を設定します。

プリンタードライバーで印刷部数を指定したときは、プリンタードライバーの設定が適用されます。

1〜999 枚（1 枚単位）の範囲で枚数をテンキーで入力します。

工場出荷時の設定：**1 枚**

予約印刷明け渡し時間設定

プリンターのページ作成が間に合わず印刷待ちとなったとき、コピー機能やスキャナー機能など、ほかの機能にいったん印刷権を明け渡すまでの時間を設定します。

- 長
- 中
- 短
- 明け渡ししない

工場出荷時の設定：**短**

補助用紙サイズ

A4 と $8^{1}/_{2}$×11 の切り替えをするかしないかを設定します。

- 自動
- 使用しない

工場出荷時の設定：**使用しない**

レターヘッド紙使用設定

レターヘッド紙など、天地の向きや表裏がある用紙に印刷するときに設定します。

詳細は、『本機をお使いになる方へ』「天地の向き・表裏のある用紙（レターヘッド紙）」を参照してください。

- 使用しない

  レターヘッド紙印刷を使用しません。
- 使用する（自動判定）

  レターヘッド紙が 1 ページ目に指定されたときに、レターヘッド紙印刷を使用します。
- 使用する（常時）

  常にレターヘッド紙印刷を使用します。

工場出荷時の設定：**使用する（自動判定）**

両面印刷禁止に設定してあるトレイから給紙したとき、両面印刷は解除されます。

印刷の途中で片面印刷から両面印刷になったとき、ソートの 2 部目以降はすべて両面印刷になります。2 部目以降も片面で印刷するときは、両面印刷を禁止しているトレイから給紙してください。

トレイ設定選択

本機に印刷データを送信したときに、プリンタードライバーやコマンドの設定を優先させるか、操作部の設定を優先させるか給紙トレイごとに指定できます。装着している給紙トレイだけを表示します。この機能の設定については、P.81「プリンタードライバーやコマンドの設定で印刷する」を参照してください。

- 手差しトレイ用紙確認画面

  手差しトレイから給紙するときに、用紙サイズ、用紙種類、用紙方向を操作部に表示するかしないかを設定します。[表示する]を選択すると、手差しトレイの印刷設定を確認してから印刷できます。

  [手差しトレイ]を[ドライバー/コマンド優先]に設定しているときだけ設定できます。

  - 表示する
  - 表示しない

  工場出荷時の設定：**表示しない**

- 手差しトレイ用紙不一致警告画面

  手差しトレイを指定して印刷している場合に、指定した用紙サイズや用紙種類と一致しない用紙が給紙されたとき、または用紙がなくなったときに警告画面を操作部に表示するかしないかを設定します。

  [手差しトレイ]を[機器側設定優先]または[機器優先（全紙種許可）]に設定しているときだけ設定できます。

  - 表示する
  - 表示しない

  工場出荷時の設定：**表示する**

- 手差しトレイ

  - ドライバー/コマンド優先

    トレイを指定して印刷するとき、本体の[用紙設定]の設定にかかわらず、プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙サイズ、用紙種類、用紙方向を適用して印刷します。

    手差しトレイで[ドライバー/コマンド優先]を選択したときは、本体の[用紙設定]で設定した用紙方向が適用されます。[用紙設定]で[自動検知]を選択するか、[用紙設定]で指定した用紙方向と手差しトレイの用紙セット方向を合わせてください。プリンタードライバーまたはコマンドで不定形サイズを指定したときは、プリンタードライバーまたはコマンドで指定した用紙方向が適用されます。

  - 機器側設定優先

    本機に設定されている用紙設定で印刷します。プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙設定と本機の用紙設定が一致しないときは、エラーになります。

- 機器優先（全紙種許可）

  本機で設定した用紙サイズと、プリンタードライバーやコマンドで設定した用紙サイズが一致しているとき、プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙種類を適用して印刷します。

  この機能を使用するには、以下の設定が必要です。

  - プリンタードライバーで給紙トレイを［手差し］に指定します。
  - 本機の［用紙設定］と、プリンタードライバーやコマンドで同じ用紙サイズを設定します。

工場出荷時の設定：**機器優先（全紙種許可）**

- トレイ 1～4、大量給紙トレイ
  - ドライバー/コマンド優先
  - 機器側設定優先

工場出荷時の設定：**機器側設定優先**

トレイ指定時動作切り替え

プリンタードライバーで指定した用紙サイズと用紙種類が、指定した給紙トレイにセットされている用紙の条件と一致しないときに、自動用紙選択をするかしないかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

拡張リミットレス給紙

給紙トレイを指定したときにリミットレス給紙をするかしないかを設定します。

- する

  ［する］を選択したときは、プリンタードライバーや印刷条件の「リミットレス給紙」の設定に関係なく、リミットレス給紙機能を有効にします。

- しない

工場出荷時の設定：**しない**

グレー印刷方式（グレー認識広め）

モノクロのように見える画像を、モノクロで印刷するかしないかを設定します。

- 黒 1 色
- カラー

工場出荷時の設定：**カラー**

以下の条件のとき、この設定が無効になります。

- プリンタードライバーの［印刷品質：標準］メニューで、［グレー印刷方式：］から［黒 1 色（グレー認識範囲を広げる）］を選択していないとき

- プリンタードライバーの［印刷品質：応用］メニューで、［カラーユニバーサルデザイン対応印刷：］から［する］を選択しているとき

主電源 Off 時の未処理文書

本機の主電源スイッチを入れたときに、印刷指定時刻を過ぎた保留印刷文書を印刷するかしないかを設定します。

- 主電源 On で印刷する

  本機の主電源スイッチを入れた場合に、印刷指定時刻を過ぎた保留印刷文書があるときは、自動ですべて印刷します。

- 主電源 On で印刷しない

  本機の主電源スイッチを入れた場合に、印刷指定時刻を過ぎた保留印刷文書があるときは、印刷指定時刻が無効になり、［一時置き文書自動消去設定］の対象になります。［一時置き文書自動消去設定］については、P.151「データ操作/管理」を参照してください。

工場出荷時の設定：**主電源 On で印刷しない**

印刷をともなうジョブの制限

印刷をともなう文書を送信したときに、印刷をしないで本機に強制的に自動蓄積するか印刷を取り消すかを設定します。本機に自動蓄積したときは、文書の種類にかかわらず操作部から印刷するので、文書の取り忘れや取り違いを防止できます。

印刷をともなう文書には、通常印刷文書、試し印刷文書、保存文書があります。それぞれプリンタードライバーの「印刷方法：」メニューから指定できます。詳細は、P.87「ハードディスクに文書を蓄積して印刷する」を参照してください。

［自動蓄積］を選択したときは、指定した文書の種類によって蓄積の方法が異なります。詳細は、P.82「文書の取り忘れや取り違いを防止する」を参照してください。

- しない
- 自動蓄積

  文書を印刷しないで本機に強制的に自動蓄積します。

- 印刷取消

  文書の印刷を強制的に取り消します。

工場出荷時の設定：**しない**

初期画面の切り替え

ホーム画面から［プリンター］を押したときに表示される画面を設定します。

- ジョブ一覧画面

  ジョブの一覧を表示します。

- 文書印刷画面

  本機に蓄積されている文書とユーザー ID の一覧を表示します。

工場出荷時の設定：**ジョブ一覧画面**

キーカード残度数 0/引抜時ジョブ自動取消

キーカードが挿入されているとき、印刷開始前に確認画面を表示するかしないか設定します。

- する

  挿入されているキーカードを使用するか確認します。印刷中にキーカードを引き抜いたときは、ジョブリセットします。

- しない

工場出荷時の設定：**しない**

以下の条件のとき、この設定を選択できます。

- キーカードが装着されているとき
- 管理者認証が［する］に設定されているとき

  管理者認証の設定については、『セキュリティーガイド』「管理者認証を設定する」を参照してください。

ステープル枚数オーバー動作設定

印刷物のページ数がステープルできる枚数を超えているときの動作を設定します。中とじステープルは対象外です。

- 印刷継続

  ステープルを解除して印刷します。

- 印刷中止

  印刷を中止します。

- 印刷一時停止（警告画面表示）

  印刷を停止して、印刷を継続するか中止するか選択します。継続するときは、ステープルを解除して印刷します。

工場出荷時の設定：**印刷継続**

中綴じ枚数オーバー動作設定

印刷物のページ数がステープルできる枚数を超えているときの動作を設定します。中とじステープルだけ対象です。

- 印刷継続

  ステープルを解除して印刷します。

- 印刷中止

  印刷を中止します。

- 印刷一時停止（警告画面表示）

  印刷を停止して、印刷を継続するか中止するか選択します。継続するときは、中とじステープルを解除して印刷します。

工場出荷時の設定：**印刷継続**

補足

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。

システム設定（EM）

［システム設定（EM）］タブは、エミュレーションで RPDL、R16、R55、R98、RPGL、RTIFF を選択しているときに表示されます。R16、R55、R98、RPGL、RTIFF を選択するにはエミュレーションカードまたはマルチエミュレーションカードが必要です。

白紙排紙

排紙コマンドを受信したときに印刷するデータがなく白紙の状態のときに、排紙するかしないかを設定します。エミュレーションで RPDL、R16、R55、R98、RPGL を選択しているときに表示されます。

- する

  白紙でも排紙します。

- スペース

  排紙コマンドの前にスペースコード（20H、A0H、8140H）があるときは排紙します。それ以外のコードがあるときは排紙しません。

- しない

  白紙を排紙しません。

工場出荷時の設定：**しない**

自動排紙時間

一定時間、パソコンからデータが送信されてこないとき、プリンター内に残ったデータを強制的に印刷するかしないかを設定します。エミュレーションで RPDL、R16、R55、R98、RPGL を選択しているときに表示されます。

たとえば、改ページコードがなく強制印刷しないと印刷できないようなデータが自動的に印刷されるように設定できます。自動的に印刷するときは、印刷を開始するまでの時間を設定します。

たとえば［10 秒］に設定すると、10 秒間データが送信されてこないときに、強制的に印刷します。設定時間が経過すると自動的に排紙されるので、同一ページ内のデータであっても、設定時間を超えて送信されてきたデータは、次のページに印刷されます。

- 自動排紙しない
- 10 秒、15 秒、20 秒、25 秒、60 秒、300 秒

工場出荷時の設定：**自動排紙しない**

マクロキャッシュ

マクロキャッシュの値は、RPDL を選択しているときに有効です。

フォームオーバーレイ印刷するためのフォームデータをキャッシュするために使用するメモリー容量を設定します。ここで設定した容量によって、キャッシュできるフォーム数が変わります。

- マクロなし

- マクロ 2.1MB
- マクロ 4.3MB
- マクロ 8.4MB

工場出荷時の設定：**マクロなし**

印刷データを展開するためのメモリーが確保できなくなるような設定はできません。メモリーが十分でないとき、設定が無効になることがあります。

水平補正初期値

エミュレーションの RP-GL/GL2 が搭載されているときに設定できます。

印刷時の給紙方向に対し、垂直方向の長さの補正値を 99.00～101.00%（0.01%単位）の範囲で設定できます。

ここで設定した値が RP-GL、RP-GL/2 の印刷条件「21.水平補正」の初期値になります。すでに登録したプログラムには反映されません。詳細については、『エミュレーション』「RP-GL/2 エミュレーション」を参照してください。

工場出荷時の設定：**100.00%**

垂直補正初期値

エミュレーションの RP-GL/GL2 が搭載されているときに設定できます。

印刷時の給紙方向に対し、水平方向の長さの補正値を 99.00～101.00%（0.01%単位）の範囲で設定できます。

ここで設定した値が RP-GL、RP-GL/2 の印刷条件「22.垂直補正」の初期値となります。すでに登録したプログラムには反映されません。詳細については、『エミュレーション』「RP-GL/2 エミュレーション」を参照してください。

工場出荷時の設定：**100.00%**

線幅補正量

エミュレーションの RP-GL/GL2 が搭載されているときに設定できます。

線幅の補正量を-2～6 ドット（1 ドット単位）の範囲で設定できます。

線幅が太すぎたり細く掠れたりしたときにこの値を調整すると、図面内のすべての線に適用されます。ただし、RP-GL、RP-GL/2 の印刷条件「30.文字描画」の設定が「ストローク」のときに文字描画すると、文字には適用されません。

工場出荷時の設定：**0dot（s）**

補足

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。

PCL 設定

[PCL 設定] タブは、エミュレーションで PCL または PCLXL を選択しているときに表示されます。PCL または PCLXL を選択するには PCL カードが必要です。

用紙サイズ

用紙サイズを設定します。

- 設定できる用紙サイズ

  A3、B4、A4、B5、A5、B6、A6、SRA3、SRA4、12×18、11×17、$8^1/_2$×14、$8^1/_2$×$13^2/_5$、$8^1/_2$×11、$7^1/_4$×$10^1/_2$、$5^1/_2$×$8^1/_2$、郵便ハガキ、往復ハガキ、角形 2 号封筒、長形 3 号封筒、長形 4 号封筒、洋形 2 号封筒、洋形 4 号封筒、洋長 3 号封筒、不定形

工場出荷時の設定：**A4**

最大領域印刷

この機能は本機では使用できません。

両面印刷

両面印刷の実行の有無または方向を設定します。

- しない
- 長辺
- 短辺

工場出荷時の設定：**しない**

印刷方向

用紙の印刷方向を設定します。

- タテ
- ヨコ

工場出荷時の設定：**タテ**

行数

1 ページあたりの行数を設定します。

5〜128 行（1 行単位）の範囲で行数をテンキーで入力します。

工場出荷時の設定：**64**

フォントソース

使用するフォントが記録されている場所を設定します。

本機にフォントをダウンロードしているときだけ、[RAM]、[HDD]、[SD] が選択できます。

- 内蔵メモリー
- RAM

- HDD
- SD

工場出荷時の設定：**内蔵メモリー**

フォント番号

使用するフォント番号を設定します。

- ［フォントソース］で［内蔵メモリー］を選択しているとき

  0～63 の範囲でフォント番号をテンキーで入力します。

  工場出荷時の設定：**0**

- ［フォントソース］で［RAM］、［HDD］または［SD］のいずれかを選択しているとき

  フォント番号は、本機に設定されているフォントの数まで設定できます。

  工場出荷時の設定：**1**

ポイントサイズ

使用するフォントのポイントサイズを設定します。

4.00～999.75 ポイント（0.25 ポイント単位）の範囲でポイントサイズをテンキーで入力します。この設定はプロポーショナルフォントのときに有効です。

工場出荷時の設定：**12.00**

フォントピッチ

使用するフォントのピッチを設定します。

0.44～99.99 ピッチ（0.01 ピッチ単位）の範囲でフォントピッチをテンキーで入力します。この設定は等幅フォントのときに有効です。

工場出荷時の設定：**10.00**

シンボルセット

使用するシンボルセットを設定します。

- 設定できるシンボルセット

  Roman-8、Roman-9、ISO L1、ISO L2、ISO L5、ISO L6、ISO L9、PC-775、PC-8、PC-8 D/N、PC-850、PC-852、PC-858、PC8-TK、PC-1004、Win L1、Win L2、Win L5、Win Baltic、Desktop、PS Text、MS Publ、Math-8、PS Math、Pifont、Legal、ISO 4、ISO 6、ISO 11、ISO 15、ISO 17、ISO 21、ISO 60、ISO 69、Win 3.0、MC Text、UCS-2、PC-864、Arabic-8、Win Arabic、PC-866、PC-866U、ISO Cyrillic、Win Cyrillic、PC-851、Greek-8、ISO Greek、PC-8 Greek、Win Greek、PC-862、Hebrew-7、Hebrew-8、ISO Hebrew

工場出荷時の設定：**PC-8**

クーリエフォント

クーリエフォントの種類を設定します。

- レギュラー

- ダーク

工場出荷時の設定：**レギュラー**

A4 サイズ最大幅印刷

A4 サイズの用紙に印刷するときに、印刷できる用紙幅の最大領域に印刷するかどうかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

LF 設定

CR（復帰）、LF（改行）、FF（改ページ）コードを受信したときの本機の動作を設定します。

- LF=CR+LF
- LF=LF

工場出荷時の設定：**LF=LF**

［LF=CR+LF］に設定したときは次の動作をします。

- CR

  そのまま（CR=CR）処理します。
- LF

  改行コードを変換（LF=CR+LF）して処理します。
- FF

  改ページコードを変換（FF=CR+FF）して処理します。

［LF=LF］に設定したときは、CR=CR、LF=LF、FF=FF として処理します。

解像度

解像度を設定します。

- 300dpi
- 600dpi（2 階調）
- 600dpi（標準）
- 600dpi（高画質）

工場出荷時の設定：**600dpi（標準）**

トナーセーブ

トナーを節約するかしないかを設定します。［する］に設定すると薄く印刷されます。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

白紙排紙

排紙コマンドを受信したときに印刷するデータがなく白紙の状態であるときに、排紙するかしないかを設定します。

- する

  白紙でも排紙します。

- しない

  白紙を排紙しません。

工場出荷時の設定：**する**

補足

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。

PS 設定

[PS 設定] タブは、エミュレーションで PS3 を選択しているときに表示されます。マルチエミュレーションカードまたは PS3 カードが必要です。

ジョブタイムアウト

ジョブが中断したときに、現在のジョブを中止するまでの本機の待機時間を秒単位で設定します。

- ドライバー/コマンド優先

  プリンタードライバーまたはコマンドによるジョブタイムアウトの設定が、本機の操作部による設定より優先されます。

- 機器側設定優先

  本機の操作部によるジョブタイムアウトの設定が、プリンタードライバーまたはコマンドによる設定より優先されます。

  [機器側設定優先] を選択したときは、0〜999 秒（1 秒単位）の範囲で秒数をテンキーで入力します。

工場出荷時の設定：**ドライバー/コマンド優先**

ウェイトタイムアウト

本機がジョブ終了を検知できないときに、ジョブ受信を中止するまでの本機の待機時間を設定します。

- ドライバー/コマンド優先

  プリンタードライバーまたはコマンドによるウェイトタイムアウトの設定が、本機の操作部による設定より優先されます。

- 機器側設定優先

  本機の操作部によるウェイトタイムアウトの設定が、プリンタードライバーまたはコマンドによる設定より優先されます。

  [機器側設定優先] を選択したときは、0〜999 秒（1 秒単位）の範囲で秒数をテンキーで入力します。

工場出荷時の設定：**ドライバー/コマンド優先**

用紙選択方式

PostScript の DeferredMediaSelection の初期値を指定し、給紙トレイ選択方法を設定します。

- 自動選択

  DeferredMediaSelection の初期値を true にします。ジョブで指定した用紙設定と一致する給紙トレイが選択されます。

- 給紙トレイから選択

DeferredMediaSelection の初期値を false にします。PostScript Language Reference の媒体選択に従って給紙トレイが選択されます。

工場出荷時の設定：**給紙トレイから選択**

両面印刷

両面印刷の実行の有無または方向を設定します。

- しない
- 長辺
- 短辺

工場出荷時の設定：**しない**

両面印刷ページ切り替えコマンド

PS コマンドで両面印刷するとき、setpagedevice コマンドのあとのページをどちらの面に印刷するかを指定します。

- 有効

  両面印刷を解除し、setpagedevice コマンドのあとのページを用紙の表面に印刷します。

- 無効

  両面印刷を解除しないで、setpagedevice コマンドのあとのページを用紙の裏面に印刷します。

工場出荷時の設定：**有効**

白紙排紙

排紙コマンドを受信したときに印刷するデータがなく白紙の状態のときに、排紙するかしないかを設定します。

- する

  白紙でも排紙します。

- しない

  白紙を排紙しません。

工場出荷時の設定：**する**

データ形式

データ形式を設定します。

- バイナリーデータ
- TBCP

工場出荷時の設定：**バイナリーデータ**

この設定は、パラレル接続以外のときに有効です。

パラレル接続で、プリンタードライバーからバイナリーデータを送ると印刷ジョブがキャンセルされます。

イーサネット接続で以下の条件のときに、印刷ジョブがキャンセルされます。

- バイナリーデータを設定時に、プリンタードライバーから送られてきたデータの形式が TBCP のとき
- TBCP を設定時に、プリンタードライバーから送られてきたデータの形式がバイナリーデータのとき

解像度

解像度を設定します。

- 600dpi（2 階調）
- 600dpi（標準）
- 600dpi（高画質）
- 1200dpi（1bit）
- 1200dpi（2bit）

工場出荷時の設定：**600dpi（標準）**

トナーセーブ

トナーを節約するかしないかを設定します。［する］に設定すると薄く印刷されます。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

RGB 補正

RGB 設定を補正します。

- しない
- 精密（普通）
- 精密（濃いめ）

工場出荷時の設定：**精密（濃いめ）**

カラープロファイル

カラープロファイルを設定します。

- 自動
- ビジネス
- ベタ
- フォト
- ユーザー設定

工場出荷時の設定：**自動**

プロセスカラーモデル

プロセスカラーモデルを設定します。

- カラー
- 白黒

工場出荷時の設定：**カラー**

最大領域印刷

この機能は本機では使用できません。

グレー印刷方式

黒またはグレー部分の印刷方法を指定します。

- 黒とグレーは K で印刷
- 黒は K で印刷
- CMYK4 色で印刷
- 黒とグレーは K（文字のみ）
- 黒は K（文字のみ）
- 黒とグレーは K（高墨処理）

工場出荷時の設定：**黒とグレーは K で印刷**

補足

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。

PDF 設定

［PDF 設定］タブは、エミュレーションで PDF を選択しているときに表示されます。

PDF パスワード変更

印刷する PDF ファイルに設定されたパスワードを本機に設定したり、変更したりします。

PDF グループパスワード

この機能は本機では使用できません。

両面印刷

両面印刷の実行の有無または方向を設定します。

- しない
- 長辺
- 短辺

工場出荷時の設定：**しない**

白紙排紙

排紙コマンドを受信したときに印刷するデータがなく白紙の状態であるときに、排紙するかしないかを設定します。

- する

  白紙でも排紙します。
- しない

  白紙を排紙しません。

工場出荷時の設定：**する**

最終ページから印刷

最終ページから印刷するかどうかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

解像度

解像度を設定します。

- 600dpi（2 階調）
- 600dpi（標準）
- 600dpi（高画質）
- 1200dpi（1bit）
- 1200dpi（2bit）

工場出荷時の設定：**600dpi（標準）**

トナーセーブ

トナーを節約するかしないかを設定します。［する］に設定すると薄く印刷されます。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

RGB 補正

RGB 設定を補正します。

- しない
- 精密（普通）
- 精密（濃いめ）

工場出荷時の設定：**精密（濃いめ）**

カラープロファイル

カラープロファイルを設定します。

- 自動
- ビジネス
- ベタ
- フォト
- ユーザー設定

工場出荷時の設定：**自動**

プロセスカラーモデル

プロセスカラーモデルを設定します。

- カラー
- 白黒

工場出荷時の設定：**カラー**

最大領域印刷

この機能は本機では使用できません。

補足

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。

XPS 設定

［XPS 設定］タブは、エミュレーションで XPS を選択しているときに表示されます。XPS カードが必要です。

両面印刷

両面印刷の実行の有無または方向を設定します。

- しない
- 長辺
- 短辺

工場出荷時の設定：**しない**

白紙排紙

排紙コマンドを受信したときに印刷するデータがなく白紙の状態であるときに、排紙するかしないかを設定します。

- する

  白紙でも排紙します。

- しない

  白紙を排紙しません。

工場出荷時の設定：**する**

解像度

解像度を設定します。

- 600dpi（2 階調）
- 600dpi（標準）
- 600dpi（高画質）

工場出荷時の設定：**600dpi（標準）**

トナーセーブ

トナーを節約するかしないかを設定します。［する］に設定すると薄く印刷されます。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

カラープロファイル

カラープロファイルを設定します。

- 自動
- 文字
- 写真

- グラフィックス

工場出荷時の設定：**自動**

プロセスカラーモデル

プロセスカラーモデルを設定します。

- カラー
- 白黒

工場出荷時の設定：**カラー**

最大領域印刷

この機能は本機では使用できません。

グレー印刷方式

黒またはグレー部分の印刷方法を指定します。

- 黒とグレーは K で印刷
- 黒は K で印刷
- CMYK4 色で印刷
- 黒とグレーは K（文字のみ）
- 黒は K（文字のみ）

工場出荷時の設定：**黒とグレーは K で印刷**

補足

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。

インターフェース設定

受信バッファ

受信バッファのメモリーサイズを設定します。通常は変更する必要はありません。

- 128KB
- 256KB

工場出荷時の設定：**128KB**

インターフェース切替時間

パラレルインターフェースまたは USB2.0 インターフェースで、データの送信が終了してから、そのインターフェースを有効にしておく時間を設定します。ここで設定した時間を超えると、ほかのインターフェースからデータの受信ができます。

- 10 秒
- 15 秒
- 20 秒
- 25 秒
- 60 秒

工場出荷時の設定：**15 秒**

設定時間が短すぎると、データの送信中にタイムアウトすることがあります。その結果、ほかのインターフェースからのデータが割り込んで印刷されたり、データの途中からエミュレーション検知が働いて、ほかのエミュレーションに切り替わったりします。

補足

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。

9. 他のアプリを使用する

この章では、プリンター機能で活用できる便利なアプリについて説明しています。

プリンター情報確認でプリンターの状況を確認する

本機には、プリンター機能の一部がひとつの画面で操作できるかんたんアプリが搭載されています。プリンター情報確認機能では、パソコンから送信したジョブの状況を確認できます。送信したジョブがエラーで停止しているときは、ダイアログの表示に従って簡単にエラーを解除できます。また、エラーの原因を詳細に確認できます。

1. 画面中央下の［ホーム］（）を押します。
2. 左にフリックし、［プリンター情報確認］アイコンを押します。
3. 印刷ジョブの状況や本機の状態を確認します。
4. エラーが発生しているときは、ダイアログの表示に従ってエラーを解除します。

かんたん文書印刷を使用する

本機には、プリンター機能の一部がひとつの画面で操作できるかんたんアプリが搭載されています。かんたん文書印刷機能では、本機に蓄積した文書の一覧を確認できます。文書一覧から任意の文書を選択し、その場で印刷できます。また、文書の印刷設定や印刷指定時刻の変更もできます。

1. **画面中央下の［ホーム］（ ）を押します。**
2. **左にフリックし、［かんたん文書印刷］アイコンを押します。**
3. **必要に応じてユーザーを選択します。**
4. **必要に応じて文書のパスワードを入力します。**

   入力したパスワードに一致するパスワード付きの文書と、パスワードなしの文書が表示されます。



5. **文書を選択します。**

   複数の文書を同時に選択できます。

   選択した文書に以下の操作を実行できます。

   - 削除

     文書を削除します。
   - プレビュー

     文書の 1 ページ目をプレビュー表示します。

     複数の文書を選択しているときは、プレビューを表示できません。
   - 設定変更

     文書の印刷設定を変更します。
   - 文書管理

     文書の印刷時刻指定やパスワードを変更します。

     複数の文書を選択しているときは変更できません。
6. **［印刷］を押します。**

補足

- かんたん文書印刷機能を使用中に、Web Image Monitor などの外部のアプリケーションから［管理者認証管理］または［文書保護強化］の設定を変更すると、かんたん文書印刷機能は自動的に終了します。

外部メディアからファイルを印刷する

⚠注意



- SD カード、USB メモリーは、子供の手に触れないようにしてください。もし子供が誤って SD カード、USB メモリーを飲み込んだときは、直ちに医師の診断を受けてください。

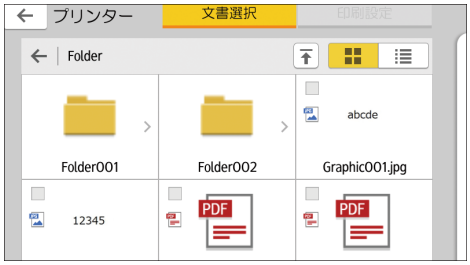
メディアプリント＆スキャン機能では、本機に差し込んだ外部メディア（SD カード、USB メモリー）からファイルを読み込んで印刷できます。また、スキャンしたデータを外部メディアに保存できます。スキャンしたデータを外部メディアに保存する方法は、『スキャナー』「スキャンしたデータを外部メディアに保存する」を参照してください。

メディアプリント＆スキャン機能で印刷できるファイル形式は、JPEG、TIFF、PDF、XPS です。

外部メディアのファイルを印刷する

1. **画面中央下の［ホーム］（ ）を押します。**
2. **左にフリックし、［メディアプリント＆スキャン］アイコンを押します。**
3. **［プリント］を押します。**
4. **外部メディアをメディアスロットに差し込みます。**

   外部メディアの取り付け方法は、『本機をお使いになる方へ』「外部メディアを取り付ける/取り外す」を参照してください。
5. **メディアの種類に応じて［USB］または［SD カード］を押します。**
6. **印刷する文書を選択します。**



選択したファイルに以下の操作を実行できます。

- プレビュー

  ファイルの 1 ページ目をプレビュー表示します。
- 選択数:

  選択した文書の一覧を表示します。

7. **必要に応じて［印刷設定］を押し、部数や両面などの設定を変更します。**

8. [スタート] を押します。

補足

- すべての USB メモリーや SD カードで動作を保証するものではありません。

MEMO

JA JP 2016年2月 D241-7032A © 2015,2016 Ricoh Co., Ltd